つながりで、救う。

特定非営利活動法人

愛知ネット 活動記録 2017

Aichi Net

つながりで、救う。

愛知ネットは、ホームページでボランティアへ呼びかけるとともに、
被災状況など必要な情報を逐次流してきました。
そこで痛感したのは、日ごろからの人と人の「つながり」と 、
いざとなったときの「情報システム」の構築の必要性。
「防災・災害救援」、「社会教育」、「まちづくり」、「市民活動支援」の4つからなる活動は 、
被災地で愛知ネットが活動した時の「教訓」が生きています 。

■防災・災害救援

Active in disaster & Preparedness

東日本大震災の発生、南海トラフ巨大地震の被害想定報告をうけて、愛知ネットに対する地域からの防災活動に関するニーズが、一層増えてきました。

この状況に際して愛知ネットは、これまで行ってきた各種の啓発・訓練を統合し、地域に有用であり実効性のある事業を実施しました。

具体的には防災事業実施や会議への参画や啓発イベント、安否確認システムの普及のための活動、愛知ネットスタッフの防災意識向上とスキル強化のための会議がそれにあたります。

●防災活動

1. 啓蒙・啓発活動

Ⅰ. 実施概要

１．愛知県内外の市町村並びに、各団体・組織が主催する訓練・会議・委員会などに参画する。そして情報交換、意見交換を行いながら、地域防災力の向上に寄与する。

Ⅱ. 目標・計画と実績

防災訓練・会議・委員会に参画し、他団体や地域とのネットワークを広げ、災害時の支援体制を強化することを目標とする

●従業員の人数
3 名(天野、南里、内藤)

●受益対象者の範囲および人数
愛知県・熊本県など 15 万人

■第一四半期

Ⅲ. 実施したイベント

１．知立市における活動

①知立ライオンズ例会講演

②知立市南陽区におけるマニュアル策定サポート

③知立市自主防災活動サポート事業

日　時：①2017 年 5 月 10 日（水）12:00 ～13:00
②2017 年 5 月～
③2017 年 6 月 6 日（火）14:00～16:00
2017 年 6 月 23 日（金）18:30～20:00

場　所：①知立商工会議所
②知立市南陽公民館 等
③知立市中央公民館

担当者：①③南里
②内藤

内　容：①熊本地震被災地の様子や問題となったこと、地域住民の動きを伝え、日頃の自助や現実的な人的ネットワークの構築の必要性について講演した。

②南陽区では 6 月 11 日に水防訓練を実施するにあたり、水害時における避難所マニュアル内容についての相談があり、その策定をサポートした。

②4 年目となるサポート事業内容についての検討（6 月 6 日 自主防災会連絡協議会幹事会）と、説明（6 月 23 日 同総会）をし、市総合防災訓練会場の体育館を使用した訓練や近隣市との交流等を行うことが決定した。

２．豊田市における活動

とよた防災フェスタ実行委員会

日　時：2017 年 5 月 30 日（火）　14:00 ～15:00
　　2016 年 6 月 30 日（金）　14:00 ～15:00
場　所：豊田市役所
担当者：南里・内藤
内　容：今年度はイベント形式をとらず、中日サバイバルキャンプでの啓発を行うことや、豊田市が抱える防災上の課題を解決することに着眼した取り組みを行うべく、内容検討している。

３．稲沢市における活動

稲沢市松下自主防災会役員研修会

日　時：2017 年 6 月 18 日（日）13:30～15:00
場　所：稲沢市松下公民館
担当者：内藤
内　容：過去の災害時における課題や、災害時における自治会組織の重要性を説明した。

４．刈谷市における活動

①平成 29 年度 刈谷市防災リーダー養成講座

②刈谷市自主防災推進会議での講演

日　時：①2017 年 6 月 24 日（土）10:30 ～12:00
　　②2016 年 6 月 27 日（水）14:00 ～15:45
場　所：①刈谷市民ボランティア活動センター
　　②刈谷市役所
担当者：南里
内 容：①熊本地震被災地の様子や課題となったことで刈谷市での起こり得ることについて説明した後、個人ワークショップ「一日の行動とそなえ」およ

びその共有を行った。

②地域防災に関するアンケート結果の振り返りおよび傾向について話しながら、自助の必要性を個人ワークショップにより、参加者自身が感じるようプログラムした。

５．１億総レスキュー会議
日　時：2017 年 5 月 12 日(金) 10:00 ～12:00
2017 年 6 月　9 日(金) 10:00 ～12:00
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：上田・小島・内藤・西谷・村松
内　容：熊本被災地支援活動情報共有の他、各センターの防災イベント、防災事業の情報共有、防災意識啓発ツールの手順習得等行った。

■第二四半期
Ⅲ.実施したイベント

１．豊田市における活動
①平成 29 年度 豊田市防災リーダー養成講座
②とよた防災フェスタ実行委員会
③災害についてしゃべらナイト（梅坪台地域会議）
日　時：①2017 年 7 月 8 日(土)14:00 ～16:00
②2017 年 7 月 27 日(木)10:30 ～11:30
2017 年 8 月 28 日(月)13:30 ～14:30
③2017 年 8 月 19 日(土)15:00 ～17:00
場　所：①豊田市消防本部
②豊田市災害対策本部室
③梅坪台中学校 体育館
担当者：①③南里
②南里・内藤
内　容：①自主防災リーダー養成のため、国立研究開発法人 防災科学技術研究所より講師招聘すると同時に、安城市城南町内会自主防災会・知立市自主防災会連絡協議会より地域自主防災の先進事例を発表頂いた。愛知ネットは、「熊本地震から学ぶこと」として被災地の状況や支援活動について説明した。九州北部豪雨における福岡県朝倉市の状況も説明した。
②今後のとよた防災フェス実行委員会のあり方を検討すると共に、中日サバイバルキャンプ（実行委員会が共催）への参加内容について検討した。
③梅坪地域会議が主催する避難所体験ナイト

▲災害についてしゃべらナイトでの講演の様子

行事において、梅坪台中学生を対象に、被災地の状況説明や「一日の行動ワークショップ」を実施。また、各自が自分達で備える事と、大人に望みたい備えを考えた。

２．知立市における活動

①知立市自主防災会連絡協議会 幹事会・臨時会

②知立市防災会議

③知立市新任者研修

④知立市総合防災訓練

日　時：①2017 年 8 月 1 日(火)15:00～17:00[幹事会]
2017 年 8 月 8 日(火)18:30～20:00[臨時会]
2017 年 10 月 16 日(金)15:00～17:00[幹事会]
②2017 年 8 月 3 日(木)14:00～15:00
③2017 年 8 月 4 日(金)15:00～16:00
④2017 年 9 月 3 日(日) 9:00～12:00

場　所：①市役所 現業棟 会議室・中央公民館
②③中央公民館
④来迎寺小学校

担当者：①②南里
③内藤・西谷
④内藤、尾島、加藤（智）、加藤(賀)、小島、鈴木、南里、西谷、松原

内 容：①知立よいとこ祭り・知立市民大運動会での「シェイクアウト訓練」や「防災バケツリレー」等の内容、総合防災訓練内容、防災リーダー養成講座内容・講師について協議した。
②総合防災訓練等、市防災事業についての検討と承認をした。
③市内小中学校新入職員の方を対象に、「なまずの学校」を利用した研修を実施した。
④避難所運営各班にわかれ、参加者主体で防災倉庫内の備品を確認・使用しながら、訓練を実施。また、避難所運営上の課題や、必要な資機材、事前に準備すべき事について協議した。

▲幹事会の様子

▲研修会にて「なまずの学校」を実施している様子

▲避難所運営本部の様子

▲避難所運営の役割に応じてビブスを着用

３．刈谷市における活動

①中部地区 HUG 研修

②桜区 DIG 研修

日　時：①2017 年 8 月 20 日（日）18:00 ～19:30

②2017 年 10 月 1 日（日）13:00 ～14:30
場　所：①刈谷市中部公民館
②刈谷市桜市民館
担当者：①②内藤、西谷
内　容：①備えることの重要性、南海トラフ巨大地震の被害想定を説明後、HUG(避難所運営ゲーム)を実施し、避難所について理解・共有した。
②DIG（災害図上訓練）を実施。災害時に桜区で発生しうるマチの様相を、図上でイメージし、課題について共有した。

▲ワークショップ前に被害想定などを説明

４．安城市における活動
①第 6 回高齢者教室
②安城中央ライオンズクラブにおける講演
日　時：①2017 年 9 月　1 日（金）9:30 ～11:30
②2017 年 10 月 26 日（木）18:30 ～19:30
場　所：①安城市中部公民館
②西尾信用金庫 安城支店 2 階
担当者：①②南里
内　容：①安城市中部公民館が開催する高齢者教室において、被災地からの学びを説明すると同時に、「一日の行動ワークショップ」をとおして、自助や共助の必要性を伝えた。
②被災地の状況や避難所運営だけではなく、事業再開や雇用創出が地域の復興にかかせないとの視点に立つ講演を行った。

５．愛知県域における活動
①平成 29 年度 愛知県総合防災訓練 広域ボランティア支援本部訓練
②東日本大震災犠牲者追悼式 実行委員会
日　時：①2017 年 8 月 20 日(日) 9:00 ～12:00
②2017 年 9 月 8 日(金) 19:00 ～21:00
2017 年 10 月 6 日(金) 19:00～21:00
場　所：①愛知県東大手庁舎
②東別院、レスキューストックヤード事務所
担当者：①②南里
内　容：①災害時の実動のあり方の検討と共に、東大手庁舎地下倉庫の確認、無線受発信訓練、備品資機材を使用した訓練へ参加した。
②2018 年 3 月 11 日に開催予定の追悼式の場所や内容、広報について検討した。

▲広域ボランティア支援本部訓練にて発電機を起動させている様子

６．1 億総レスキュー会議
日　時：2017 年 8 月 8 日(火) 10:00 ～12:00
2016 年 9 月 8 日(金) 10:00 ～12:00

2016 年 10 月 13 日(金)10:00 ～12:00
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：上田・小島・内藤・南里・西谷・村松
内　容：福岡被災地支援活動情報共有の他、知立市総合防災訓練内容の確認、各センターの防災イベント、防災事業の情報共有、防災意識啓発ツールの手順習得等行った。

■第三四半期

Ⅲ.実施したイベント

１．豊田市における活動

①とよた防災フェスタ実行委員会・中日サバイバルキャンプ

②豊田市藤岡地区防災講演会

③とよた消防フェスタ実行委員会・消防フェスタ

日　時：①2017 年 10 月 28 日(土) ～29 日(日)
2017 年 12 月 12 日(火)13:30 ～14:30
②2017 年 11 月 12 日(日)　9:00 ～12:00
③2017 年 11 月 28 日(火)15:30 ～16:30
2018 年　1 月 13 日(土) 9:00 ～14:00

場　所：①豊田市災害対策本部室・鞍ヶ池公園
②豊田市 藤岡交流館
③豊田市消防本部・豊田スタジアム

担当者：①南里・内藤・西谷
②内藤
③南里

内　容：①今後のとよた防災フェスタ実行委員会のあり方を検討すると共に、中日サバイバルキャンプ(実行委員会が共催)への参加内容について検討、参加した。当団体は、非常持ち出し品ゲームを実施し、小学生から中学生迄の子どもとその保護者(市内参加者:14 組 30 名)へ啓発した。
②熊本県益城町より、町役場職員 内村氏、消防団那須氏を講師としてお招きし、パネルディスカッション形式での防災講演会を実施した。熊本地震発災直後の話、避難所の話などをお話いただいた。
③消防出初式と同時開催するはじめての消防フェスタの内容を検討し、来場者 3,500 人に対して実施した。

▲中日サバイバルキャンプでのブース出展の様子

▲藤岡地区防災講演会でのパネルディスカッション

２．知立市における活動

知立市自主防災会連絡協議会幹事会・リーダー研修

日　時：2017 年 11 月 21 日(火)16:00～17:00[幹事会]
2017 年 12 月 9 日(土)10:00～15:00[研修]

場　所：市役所 現業棟 会議室・中央公民館

担当者：南里

内 容：平成 29 年度知立市自主防災組織リーダー研修の講師について、協議会にてアンケート調査を行った結果をふまえ、幹事会にて検討した。その結果、講師として、陸上自衛隊、知立市消防団、知立市社会福祉協議会を招聘した講義を実施し、大塚ウェルネスベンディング、知立市健康増進課から情報提供を頂いた。また、HUG（避難所運営ゲーム）を実施した。

▲防災リーダー研修での講義

▲HUG（避難所運営ゲーム）

３．刈谷市における活動

刈谷市ボランティア連絡協議会 防災研修

日　時：2017 年 11 月 25 日（土）10:00 ～12:00

場　所：刈谷市民ボランティア活動センター

担当者：内藤

内　容：刈谷市ボランティア連絡協議会の方を対象に防災研修を実施した。被災地の話、備えの重要性、災害時のボランティアについて共有した。

▲講義の様子

４．守山区における活動

守山区避難所リーダー養成講座

日　時：2017 年 12 月 9 日（土）9:00 ～12:30
2017 年 12 月 16 日（土）9:00 ～12:30

場　所：守山区役所 講堂

担当者：内藤・横山・朝倉㈢・南里・上田・西谷・小島

内　容：男女平等参画による避難所運営についての講義のほか、HUG、リアル HUG(HUG の実施内容を検証するプログラム)を実施した。

▲講義の様子

５．みよし市における活動

みよし市防災リーダー養成講座（基礎編）

日　時：2018 年 1 月 21 日（日）10:00 ～16:30

場　所：みよし市役所

担当者：内藤・南里

内　容：みよし市役所による防災資機材や避難所運営マニュアルの説明の後、被災地および避難所についての状況説明、南海トラフ地震における被害想定

▲HUG の様子

の説明をした。その後、参加者の一日の行動から備えを見直すワークショップやHUGを実施した。

６．愛知県域における活動
①東日本大震災犠牲者追悼式 実行委員会
②防災人材育成のためのあり方検討会
③NPOと行政のテーマ別意見交換会
日　時：①2017年11月13日(月) 19:00 ～21:00
2017年12月 6日(水) 18:00 ～19:30
②2017年11月30日(木) 10:00 ～12:00
③2018年　1月10日(水) 13:30 ～15:30
場　所：①東別院、矢場公園
②愛知県災害対策本部室
③あいちNPO交流プラザ
担当者：南里
内　容：①2018年3月11日に開催予定の追悼式の場所について矢場公園で実施することを決定し、現地確認やタイムスケジュールを検討した。
②あいち･なごや強靭化共創センターにおける人材育成事業との整理統合等による、平成30 年度防災・減災カレッジの見直しについて検討した。若年層が参加する防災人材交流シンポジウムつなぎ舎の実施報告もあった。
③大規模災害時における NPO 等の活動の場及び体制について、県防災危機管理課からの課題提起と、レスキューストックヤードからの災害現場におけるNPO等の事例紹介の後、意見交換をおこなった。

６．1億総レスキュー会議
日　時：2017年11月10日(金)10:00 ～12:00
2017年 12月 8日(金)10:00 ～12:00
2018年　1月12日(金)10:00 ～12:00
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：朝倉(三)・上田・小島・内藤・西谷
内　容：各センターでの防災講座の情報等を共有した。

■第四四半期
Ⅲ.実施したイベント

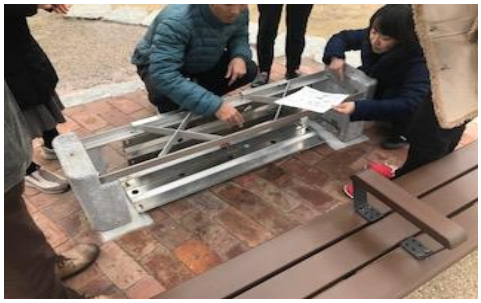
１．安城市における活動
①安城市防災会議
②防災たいけん in アンフォーレにおける減災シミュレーション

日　時：①2018年1月31日(水)14:00 ～15:00
②2018年2月22日(木) 15:00 ～17:30[打合せ]
2018年3月11日(日)10:00 ～15:00[体験]
場　所：①②アンフォーレ
担当者：①天野（南里代理出席）
②南里・久保田・兵藤・松原・横山

協力：石原由紀氏・松原みなみ氏

内　容：①安城市地域防災計画・水防計画の修正について協議し、承認した。

②災害時に帰宅困難者等で、一時避難所になる可能性があることから、HUG(避難所運営ゲーム)およびリアル HUG を実施した。また家族連れの来館者も多いことから、非常持ち出し袋の内容を考え、その重さを体験する非常持ち出し袋体験を実施した。



▲打合せではアンフォーレ資機材の確認もなされた

２．知立市における活動

①知立市防災会議

②知立市・豊田市自主防災会交流会

③ナスもルの祭典

④知立市自主防災会連絡協議会 報告会

日　時：①2018 年 2 月 1 日(木)14:00 ～15:00
②2018 年 2 月 14 日(水)14:00 ～16:00
③2018 年 3 月 24 日(土)18:00 ～20:00
④2018 年 3 月 27 日(火)18:30 ～20:00

場　所：①④中央公民館
②豊田市上郷交流館
③知立南小学校

担当者：①③④南里
②南里・内藤・西谷・松原

内 容：①知立市地域防災計画・水防計画の修正について協議し、承認した。

②知立市自主防災会サポート事業の一環として実施。上郷大成自主防災会長谷澤氏と上郷中学校長伊藤氏から、中学校や地元企業、消防団等と連携して実施した避難所開設訓練の事例紹介を頂いた後、意見交換を行った。36 名の参加があった。

③様々な体験活動を通じ科学する心の醸成を行う行事において、身近なものでつくる防災グッズの進行を補助した。小学生とその保護者を中心に、新聞紙でつくる座布団や牛乳パックでつくる笛など体験された。

④知立市・豊田市自主防災会交流会の結果、市内各自主防災会の活動についてたずねたアンケート結果について報告した。

▲知立市・豊田市自主防災会交流会での事例紹介

▲同交流会での意見交換の様子

３．豊田市における活動

①豊田市防災リーダー養成講座(フォローアップ講座)

②とよた消防フェスタ実行委員会

③豊田市自主防災会連絡協議会 講演会

日　時：①2018 年 2 月 10 日（土）13:30 ～16:30

②2018 年 3 月 22 日（木）14:00 ～15:00

③2018 年 3 月 15 日（木）10:00 ～11:30

場　所：①豊田市立竜神中学校

②豊田市消防本部

③豊田市産業文化センター

担当者：①内藤・上田・加藤・西谷・松原

協力：高桑理事

②南里

③内藤

内　容：①平成 29 年度豊田市防災リーダー養成講座の受講者を対象に「何も用意しない避難所運営訓練」を実施した。参加者同士で知恵や力を出し合い、避難所運営についての理解を深めることを目的に、豊田市避難所運営マニュアルをもとに、６班（総務班、連絡・広報班、食料・物資、保健・衛生班、要配慮者支援班、施設管理班）に分かれて内容や防災倉庫内の確認、事前に準備が必要な項目について協議、全体で共有した。

②1 月 13 日(日)に豊田スタジアムで開催された「とよた消防フェスタ」の実績報告、来場者・出展者アンケート結果報告、収支報告およびフェスタ決算報告、次年度の実施検討がされた。消防フェスタは 3,500 人の来場であった。

③豊田市自主防災会連絡協議会講演会の講師として、岩手県大船渡市赤崎町の吉田忠雄氏（前赤崎町公民館長）をお招きした。震災発生時の様子、避難所運営リーダーとしての経験談、震災前の地域防災とその後の地域防災についてお話いただいた。

▲訓練の様子

▲吉田氏(大船渡市赤崎町)による講演の様子

４．みよし市における活動

みよし市防災リーダー養成講座（養成編）

日　時：2018 年 2 月 17 日（土）9:30 ～17:00
場　所：みよし市役所
担当者：南里・内藤・西谷
内　容：これからの地域防災を考えるワークショップ（参加者が、地域の長所・短所をふまえた防災活動について考えるワークショップ）と、リアル HUG（机上の避難所運営ゲームを実地で体験するプログラム）を実施した。リーダーのフォローアップ講座を兼ねて実施。

▲避難所運営側と避難者側にわかれ実地体験する

５．刈谷市における活動

①重原の災害を考える会

②乳幼児親子のための地震防災絵本プロジェクト

日　時：2018 年 2 月 18 日（日）9:00 ～12:30
2018 年 3 月 9 日（金）10:30 ～12:00
場　所：①重原地区公民館
②刈谷市民ボランティア活動センター 等
担当者：①南里・伊藤・尾島・米山
②米山・南里
内　容：①区長の野村氏による防災ミニ講話（台風 21 号が来た際の情報収集や対応から重原の防災を考える）の後、HUG(避難所運営ゲーム)を実施。

②0 歳から 3 歳を対象にした、子どもへの地震に関する絵本読み聞かせ、普段から目に入る防災のきっかけづくりのために、「防災ママかきつばた」が絵本作成を発案。作成までの企画会議に参加した。絵本は、市民ボランティア活動センターにて開催する「まなぼうさい」ブース出展時やキャンドルナイトにてＰＲされた。

▲重原では、小学生もご年配の方も一緒になって HUG を実施

６．愛知県域・県外における活動

①東日本大震災犠牲者追悼式 実行委員会・追悼式
②すみた大好き大使情報交換会
③平成 29 年度災害時における協力等に関する協定締結事業者連絡会議
④NPO と行政のテーマ別意見交換会
⑤平成 29 年度 第 3 回防災のための愛知県ボランティア連絡会

⑥第４回 愛知県避難所運営マニュアル等の見直しに係る検討会議

日　時:①2018 年２月 ９日(金) 19:00 ～21:00[委員会]
2018 年３月 ６日(火) 19:00 ～20:00[委員会]
2018 年３月 11 日(日)14:00 ～18:00[追悼式]
②2018 年２月 10 日(土)17:00 ～20:00
③2018 年２月 20 日(火)10:30 ～12:00
④2018 年３月５日 (月)13:30 ～14:30
⑤2018 年３月 15 日(木)13:30 ～15:00
⑥2018 年３月 23 日(金)13:00 ～15:00

場　所：①東別院、矢場公園
②ホテルラングウッド日暮里
③愛知県自治センター12 階 E 会議室
④あいちＮＰＯ交流プラザ
⑤愛知県自治センター6 階 災害対策本部室
⑥愛知県自治センター地下２階 入札室

担当者：①南里・濱口
②天野・南里
③④⑤⑥南里

内　容：①2018 年３月 11 日に開催予定の当日スケジュール、役割分担について確認した。3 月 11 日に矢場公園にて、献花やキャンドル点灯等により追悼した。キャンドル点灯の着火用品は、豊橋市や碧南市、美浜町の方々を中心に、156 本分の寄付を頂くことができ、購入に充て当日使用した。
②大使として、住田町の現状報告や情報プラットフォームについての説明をうけ、大使へ期待する活動を聞いた後、情報交換をした。すみた大好き大使の他、ふるさと住田会・町関係者等 44 名の参加があった。
③愛知県からの被災地派遣職員の方による 平成 28 年度熊本地震等の課題検証報告の後、名古屋地方気象台による 南海トラフ地震に関する情報や、中部経済産業局による 災害時の燃料供給円滑化にむけた取り組みについて等の説明があった。
④大規模災害時における NPO 等の活動の場及び体制について、熊本地震の事例から考える連携システム構築について、被災地派遣職員の方から話題提供があった。その後、熊本地震時における愛知ネットの連携内容について、話題提供した。2 つの話題提供をふまえ、意見交換をした。県庁各部局、県内各市町村および NPO 等から、24 名の参加があった。
⑤30 年度の年間スケジュールの確認後、広域ボランティア支援本部の機能強化についての説明をうけた。第 50 回東海ハムの祭典の後援を承認した。緊急通行車両等の手続き、トヨタ自動車株式会社による車中泊キットを含む災害復旧支援について説明をうけた。

⑥車中泊への対応、災害時要援護者や多文化共生の視点からの内容加筆、在宅避難者等支援施設についての検討等を行い、愛知県避難所運営マニュアルの改訂が行われた。

６．１億総レスキュー会議
日　時：毎月１回実施
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：朝倉(三)・上田・小島・内藤・西谷
内　容：各センターでの防災講座の情報等を共有した。

2. 情報支援事業

2－1. あんぴメール、安全・安心メール

Ⅰ. 実施概要

１．災害時に携帯電話のメールシステムを使い安否の確認をするとともに、安否の確認を家族に知らせるシステム。また、そのシステムを流用し、平常時は不審者情報や火災情報などを配信する安全・安心システムの運用。

Ⅱ. 目標・計画と実績

１. 目標：　安否確認システム利用者３万人。安全・安心システム利用者１万人。
計画：安否確認システムで５千人、安全・安心システムも含め１万３千人を計画。
実績：利用者数は、安否確認システムは１千人。安全・安心システムは１万３千人となった。

●従業員の人数
１名(天野)
●受益対象者の範囲および人数
１万４千人

■第一四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

あんぴ・安全安心メールの今後の方向性について、ユーザーにヒアリングを行った。老朽化した現システムは現状維持ですらコストがかかりすぎる為、他社への業務委託も含めた方向転換の可能性を検討した。また、セキュリティソフトのバージョンアップの為のシステム改修の方法とスケジュールを検討し、決定した。

Ⅳ. 今後の計画・課題

今後の計画：本システムは開発から 10 年以上が経過しているが、ユーザーが望む限りは応えることを念頭に、サーバ等の周辺機器をメンテナンスし現状維持できるよう対応する。あんぴメールは、同サービスを行う他社への委託を視野にいれ、システムの運用についてさらにユーザーにヒアリングを行い、今後の方針を検討していく必要がある。安全安心システムは、既存のメールサービスから、スマートフォン向け地図アプリを導入したシステムへの移行を視野にいれ、さらなるシステム改修について検討してく必要がある。
今後の課題：他社への委託を含めたシステム運用の計画についての意見や要望をヒアリングし、具体的なスケジュールや移行計画について方針を協議していく。

■第二四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

安否確認システムは運用を継続させ、安全・安心システムは今後の方向性について、ユーザーにヒアリングを行った。現在のメールによる情報だけでなく、スマートフォン向け地図情報アプリの導入をすすめるべく、ユーザー関係者との調整、システム開発を行っている。

Ⅳ. 今後の計画・課題

安全・安心システムについては、既存のメールサービスから、スマートフォン向け地図アプリを導入したシステムへの移行を検討している。年明けから試行し、年度はじめから実運用するスケジュール予定とする。

■第三四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

安否確認システムは運用を継続させ、安全・安心システムは今後の方向性について、ユーザーにヒアリングを行った。現在のメールによる情報だけでなく、スマートフォン向け地図情報アプリの導入をすすめるべく、ユーザー関係者との調整、システム開発を行っている。

Ⅳ. 今後の計画・課題

安全・安心システムについては、既存のメールサービスから、スマートフォン向け地図アプリを導入したシステムへの移行を検討している。年明けから試行し、年度はじめから実運用するスケジュール予定とする。

■第四四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

ユーザーからの問合せ対応、システム利用意向のヒアリング等を行った。

Ⅳ. 今後の計画・課題

2018 年 3 月末をもって、あんぴメールの利用については、愛知ネット会員の方々がユーザーである状況。また、安全・安心メールの利用も、2019 年 3 月末をもって、一定の目途が付く見込みとなった。このため、新たなシステムの内容や運用について、2018 年度において検討する。

●災害救援

1-1. 被災者支援センター

Ⅰ. 実施概要

1．2011 年 6 月より愛知県が設置し、当団体含む愛知県内の 3 つの NPO が運営していた。2017 年より 2 つの NPO が運営し、当団体は相談役として 1 名を派遣する。東日本大震災を被災し、愛知県へ避難されている方の、一人ひとりのいのちや暮らしに焦点をあてた支援活動を実施している。

Ⅱ. 目標・計画と実績

東日本大震災発生から 5 年が経過した現状において、避難先の市町村や地域コミュニティ等の理解と協力を得て、支援活動を実施する。

●従業員の人数
1 名(南里)

●受益対象者の範囲および人数
愛知県へ避難されている 975 名(2017 年 6 月 20 日現在)

■第一四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

① 6 月 11 日、甲状腺エコー健診での相談交流会を実施した。30 世帯 70 名の参加。
② 6 月 16 日、平成 29 年度東日本大震災受入被災者支援市町村等担当者会議を開催した。
③ 地域住民と避難者とが参加する各地での交流会、定期便発送を継続実施した。
④ 要支援者の絞り込みや、個別支援計画の策定を実施中。

1-2. 平成 28 年 熊本地震 被災地への災害救援活動

熊本地震被災地は地域連携のフェーズである。8 月上旬に小峯(おみね)地区で実施される夏祭りや、秋に実施予定の広安愛児園での紅葉祭りへの招待を受けており、参加する。また愛フェス等での交流についても検討実施する。

1-3. 九州北部における豪雨災害 被災地への災害救援活動

九州北部（福岡県朝倉市や東峰村(とうほうむら)等）と大分県日田市(ひたし)等で発生した大雨により、河川氾濫や家屋浸水等の被害が拡大している豪雨災害の災害救援活動を行う。現地や協力団体等と連絡をとりあい、情報収集を行いながら、7 月 9 日に先遣隊 1 名を派遣し、状況確認や今後の活動内容の検討を行う。

■第二四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

1-1. 被災者支援センター

特に状況確認や支援が必要とされる方をしぼり、市町村訪問にて支援内容について検討した。
愛知ネットは、三河地域を中心に訪問している。

【訪問先市町村と日程】豊田市（8/24）、碧南市（8/31）、豊川市（9/5）、蒲郡市（9/5）、西尾市（9/6）、幸田町（9/7）、安城市（9/13）

1-2. 平成 28 年 熊本地震 被災地への災害救援活動

熊本地震被災地は地域連携のフェーズであることから、愛知と熊本とをつなぐ活動を定期的に実施

している。小峯地区夏祭りは、台風の影響により延期となり、参加が叶わなかったが、11 月 8 日豊田市藤岡地区で開催予定のシンポジウムのアテンドや、広安愛児園（避難所となった児童養護施設。物資を届けたり炊き出しを実施。）がご作成すすめる熊本地震報告書への寄稿等、準備をすすめている。

1-3. 九州北部豪雨 被災地への災害救援活動

7 月 9 日（日）より福岡県入りし、県内各地でまちづくりをすすめるグラウンドワーク福岡や、東日本大震災時に連携活動した原健吾氏、熊本地震時に一緒に連携活動した八女北洌（ほくぜい）学園 PTA、朝倉市立石（たていし）女性の会等と連絡調整をして、朝倉市多々連地区（たたれちく）や杷木町（はきまち）において、浸水した家屋からの泥や土砂のかきだし、炊き出し活動のサポートを行った。

また、株式会社安城電機様より、7 月 15 日から貸与頂いた災害用浄水器の設置場所や、耕し人・まちなかアグリ様からご提供頂いた無農薬野菜のお渡し先をマッチングした。

九州北部豪雨 被災地（写真は、2017年7月に撮影）

朝倉市 杷木町（はきまち） 松末（ますえ）地区

朝倉市 多々連（たたれ）地区

朝倉市 林田地区

朝倉市 黒川地区

■第三四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

1-1. 被災者支援センター

特に状況確認や支援が必要とされる方をしぼり、市役所や協力組織と共に、個別訪問を実施した（2017 年 11 月 12 日）。個別支援のための研修会において、シンポジウムパネリスト登壇とテーブルファシリテータを担った（2017 年 11 月 30 日・12 月 13 日）。

1-2. 平成 28 年 熊本地震 被災地への支援活動

熊本地震被災地は復興支援のフェーズであり、愛知においても熊本の被災地から学びたいとの要望がでてきており、今期は、11 月 12 日豊田市藤岡地区で開催したシンポジウムのアテンドおよびシンポジウムコーディネートを実施した。

1-3. 九州北部豪雨 被災地への支援活動

九州北部豪雨被災地は復興支援のフェースであるが、住まいの再建がようやくできたという状況の方もいる。活動を実施した、朝倉市杷木町のお宅訪問と状況ヒアリング、活動協力者や協力団体への訪問を実施した。

1-4. 九州北部豪雨 被災地への支援活動

岩手県住田町における小水力発電事業実施のため、準備をすすめている。

■第四四半期

Ⅲ. 実施した事業内容

1-1. 被災者支援センター

今期において、従業員 1 名が個別訪問をしたり、行事等へ参加することは行っていない。相談役として、三河地域の受入被災者を中心に、特に支援を必要とされる方々がおかれている現況や情報、支援内容をセンタースタッフと共有した。運営会議において県全体の受入被災者に関する情報を把握する等した。

■ 社 会 教 育
Social education

社会教育とは、学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーション活動を含む）をいうとされています。

美浜少年自然の家は青少年及び成人が、規則正しい集団宿泊生活をしながら、研修活動、野外教育活動、レクリエーション活動などを通して、協同・友愛・奉仕の精神を養い、より良い社会人としての資質を身につけるための社会教育施設です。

愛知ネットは、愛知県美浜少年自然の家が公の施設であることを認識し、公平公正な運営を厳守し、すべての県民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実生活に即した教養を高められるように、愛知県美浜少年自然の家として、環境を整えた社会教育の場を提供します。

● 愛知県美浜少年自然の家

センター概　要

場　　所：愛知県知多郡美浜町大字小野浦宇宮後1番地の1
電　　話：0569-88-5577
ファクス：0569-88-5385
Ｅ－ｍａｉｌ：info@sizennoie-mihama.jp
ＵＲＬ：http://sizennoie-mihama.jp
開館時間：
8時30分～17時30分(宿泊客無し)
8時30分～22時　　(宿泊客有り)
休館日：年末･年始6日間及び9月下旬から3月中旬まで原則月曜日

敷 地 面 積 ：208,837.42 ㎡

建物延面積 ： 10,695.21 ㎡

宿 泊 定 員 ：500 人

構造・規模 ： 本 館 棟　SRC 造 6 階建　8,450.33 ㎡
体 育 館　RC 造 1 階建　1,284.64 ㎡
ｷｬﾝﾌﾟ管理棟　RC 造 1 階建　63.42 ㎡
ﾃﾆｽｸﾗﾌﾞﾊｳｽ　RC 造 1 階建　63.54 ㎡
付 属 棟　プロパン庫、汚水処理施設、野外便所 2 棟、渡り廊下、野外施設 （詳細は下記参照）

主 な 施 設 ：

屋外施設…つどいの広場、ロマンの広場、ふれあい広場、チャレンジ広場、臨海広場、屋根付野外炊飯場 2 箇所、営火場 2 箇所、テニスコート 4 面、ハイキングコース、展望台、野外ステージ、あずまや 2 カ所、駐車場 3 カ所など

本　　館…宿泊室 48 室(1 室 10 人)、本部室 3 室、リーダー室 9 室、研修室 10 室(1 室 50 人)、講堂(500 人)、食堂(250 人)、大浴場(70 人)、中浴場(50 人)、コミュニティーホール、事務室

体 育 館…バスケットボール(2 面)、更衣室(2 室)

主 な 設 備 ：

身障者専用駐車場、車椅子用出入口（自動ドア）、車椅子用スロープ（各所）、点字付公衆電話、エレベーター（音声案内・点字版）、車椅子専用トイレ（2 階、3 階）、AED（自動体外式除細動器）、車椅子(2)

利用料金

宿泊料	小 中 学 生	700 円	高 校 生 以 上 大 人	1，400円
食 事	朝食　570円	昼食　720円	夕食　945円	合計　2，235円

施　　設		午 前	午 後	夜 間		午 前	午 後	夜 間
体 育 館	宿泊	1，950円	2，600円	1，950円	日帰り	3，900円	5，200円	3，900円
講 堂		2，500円	3，400円	2，500円		5，000円	6，800円	5，000円
研修室 1～9		1，850円	2，550円	1，850円		3，700円	5，100円	3，700円
研修室 10		2，450円	3，300円	2，450円		4，900円	6，600円	4，900円
テニスコート4面	2時間	600円	4時間	1，200円	8時間	1，800円		
午 前　9:00～正午		午 後　13:00～17:00		夜 間　18:00～21:00				

Ⅰ　特定非営利活動法人愛知ネットの役割と任務

１．委託業務名・目的

（１）業　務　名：愛知県美浜少年自然の家指定管理業務

（２）事業の目的 ： 美浜少年自然の家は、豊かな自然の中で、規則正しい集団生活をしながら各種の講義・スポーツ活動・レクレーション・創作活動・野外活動などの研修を通して、健全な少年やよりよい社会人を育成することを目的としてつくられた社会教育施設です。

愛知ネットは、この設置目的に沿い、美浜少年自然の家の管理運営を行い、青少年が『創造力』『生きる力』『和（役立ち合い）の精神』を培い成長することを支援すると同時に、青少年と大人が共に育ち合う社会づくりに貢献します。

（３）実 施 期 間 ： 平成 28 年 4 月 1 日～平成 33年 3 月 31 日の 5 年間

２．愛知県美浜少年自然の家の業務内容

(1)業　　務

① 美浜少年自然の家の利用を許可すること
② 美浜少年自然の家の利用の許可に条件を付けること
③ 美浜少年自然の家の利用の中止を承認すること
④ 美浜少年自然の家の利用に係る指示をすること
⑤ 美浜少年自然の家の利用の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずること
⑥ その他美浜少年自然の家の施設を維持管理し、運営すること

(2)運 営 業 務

美浜少年自然の家利用者への便宜供与、利用促進及び安全管理等、別に定める愛知県美浜少年自然の家管理要領に基づき運営を行う。

① 利用申し込み・受付・許可に関する業務　② 館内案内、利用案内、接遇業務
③ 少年自然の家利用者ニーズの把握とサービス向上に関する業務　④ 利用促進に関する業務
⑤ 少年自然の家の情報提供、広報、広告に関する業務　⑥ 利用料金の収受業務
⑦ 地元自治体、各種団体、地域住民、公共機関等との連絡調整業務
⑧ 県民やボランティア等との協働事業の推進
⑨ 迷子、拾得物及び遺失物の対応に関する業務　⑩ 各施設、ゲートの開錠、施錠の管理業務
⑪ 緊急・救急対応に関する業務　⑫ 警備に関する業務
⑬ 館内巡視及び利用指導に関する業務　⑭ 主催事業に関する業務
⑮ 加盟協議会・協会に関することを適切に行う業務
⑯ その他運営に関し必要な事項に関する業務

(3)施設管理業務

業務の対象は、敷地、建築物、電気設備、機械設備、建築物付属備品、工作物等とする。
業務の実施に当たっては、適用を受ける関係法令等を遵守する。

建築物、電気設備、機械設備、建築物付属備品、工作物管理業務

①点検業務　②保守業務　③建築物等清掃業務　④異常発見時の処置　⑤境界の見回り

Ⅱ　平成 29 年度の目標

1　愛知ネットが、愛知県美浜少年自然の家が公の施設であることを認識し、公平公正な運営をする。

2　社会教育の場として美浜少年自然の家を提供し、「青少年の『創造力』『生きる力』『和（役立合い）の精神』の教養・向上に寄与し、より良い社会人への成長を促す」社会教育施設を目指す。

3　職員一人ひとりが、愛知県美浜少年自然の家の業務遂行能力を身に付ける。
職員一人ひとりのよさを生かし、適材適所に配置し、その人を伸ばし、組織力を高める。

4　職員が青少年をはじめ利用者の成長に喜びを感じ、分かち合い、「チームみはま」で美浜少年自然の家を愛される施設にする。

5　平成 28 年 4 月から 33 年 3 月の指定管理期間 5 年間の宿泊利用者目標数 260,000 人とし、29 年度は 50,500 人を目指す。

Ⅲ　目標と実績

宿泊利用者数

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
本年度目標	23,000 人	16,500 人	5,000 人	6,000 人	50,500 人
実　　績	23,316 人	17,485 人	4,917 人	6,600 人	52,318 人
目標との差異	316	985 人	－83 人	600 人	達成率 103.8%

Ⅳ　主催事業・共催事業・自主事業

1　主催事業1　家族で地引網　伊勢湾の魚をとろう!

日　程：7 月 8 日(土)～7 月 9 日(日)
対　象：小学生以上とその家族
参加費：大人 5,500 円、中学生以下 4,800 円
場　所：愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸
　　・ビーチランド
内　容：地引網体験、魚捌き体験、野外炊飯、
　　ビーチランド入園　海の生き物とのふれあい体験
指導者　美浜少年自然の家職員 10 名
　　・キャンプカウンセラー4 名・地引網漁師 5 名
参加者　40 家族 147 名（大人 68 名・子供 79 名）

2　主催事業２　防災キャンプ・野外活動指導者宿泊研修

主　催　愛知県教育委員会・愛知県美浜少年自然の家
日　時　平成 29 年 8 月 21 日(月)9:30～22 日(火)15:30
場　所　愛知県美浜少年自然の家
参加費　6,000 円 10 名、3500 円 6 名
参加者　16 名＋愛知県教委 1 名・美浜少年自然の家 2 名
指導者　日本福祉大学スポーツ科学部山根真紀准教授
　　愛知県キャンプ協会理事藤井美弥子さん、
　　愛知ネット職員　　内藤　瑶　さん他 3 名、

愛知ネット事務局　南里　幸　さん
内容　開・閉講式　講義
愛知県生涯学習課･美浜少年自然の家挨拶
講義１　求められる野外活動　２　野外炊飯に一工夫
３　リアルHUG（理論編）
実習１アイスブレイクゲーム２非常食づくり
３リアルHUG（実技編）４非常持ち出し品ゲーム

３　共催事業１　みはまブルーツーリズム
魚つかみ体験＆野外炊飯
＆海のキャンドル作り＆宝さがしの日帰り体験

主　催　美浜町都市農村交流協議会・愛知ネット
日　時　平成29年8月26日(土)　9時30～15時30分
場　所　愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸
参加者　21家族　84名
指導者・美浜町役場職員・美浜少年自然の家職員
・学生ボランティア12名
内　容・ジェルキャンドル作り・野外カレーライス作り・
宝さがし・海遊び・魚つかみ

４　自主事業１
わくわく農業体験　オリジナルファームをつくろう

主　催　愛知ネット
日　時　①　平成29年8月19日(土)
②　平成29年8月27日(土)
場　所　愛知県美浜少年自然の家・小野浦地区個人農地
参加費　一人1,000円
参加者　8月19日6家族14名＋2名･27日3家族7名
指導者　４名×2日
内　容　開会式　美浜少年自然の家、ＪＴあいさつ
荒地から畑まで　・ジャガイモの植え方・育て方
・自分の畑　看板作り　・自分の畑を耕そう
・ジャガイモ種芋を植えよう　看板を立てよう

５　主催事業３　親子投げ釣り教室

日　時　平成29年9月9日(土)　12：30受付～
10日(日)11：30　解散
場　所　愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸
参加費　大人5,600円、子ども4900円
参加者　６家族14名(大人８名・子ども６名)
指導者　・美浜少年自然の家職員９名

・愛知県釣りインストラクター師 10 名等

内　容　初日・釣りの基礎基本･投げ方練習･投げ釣り実習･釣りワンポイントアドバイス、　2 日目 6:30 ･投げ釣り･海岸ゴミ拾い・終わりの集い

６　主催事業４　防災チャレンジキャンプ

日　時　平成 29 年 9 月 16 日(土) 13：30 受付～
18 日(月)11:45　解散

場　所　愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸

参加費　中学生以下　4,500 円

参加者　13 名(小学生 12 名、中学生 1 名)

指導者　美浜少年自然の家職員 7 名

内　容　16 日（土）･開会式　入所オリエンテーション
･避難訓練(もしも海岸差案作中地震が発生したら)
･避難所炊き出し訓練･避難所で寝床を作ろう

17 日（日）･避難所生活を快適に（テント･トイレ作り）
・避難所炊出し体験･防災グッズを作ろう・夜間ハイク

18 日（月）・朝ごはんをつくろう・避難所の片付け
・閉会式･振り返り

自主事業１－２　わくわく農業体験　収穫祭

主　催	愛知ネット	日　時	と参加者
①29 年 11 月 11 日(土)		9 時 45 分	5 家族 18 名
②	18 日(土)	々	1 団体 1 家族　9 名
③	23 日(土)	々	1 家族　5 名
④	12 月 2 日(土)	々	1 家族　5 名
日帰り４日間		9 家族 1 団体	計３７名

場所　愛知県美浜少年自然の家・小野浦地区個人農地

参加費　1,000 円（昼食会参加家族）

指導者　２名×４日

内　容

・自分の畑のジャガイモと共有はたけのニンジン掘り
・自分の育てたジャガイモを食材にして
ピザ釜ピザを焼こう＆ポテトチップスを作ろう
・カレーライスを食べよう
・・収穫したジャガイモをどっさり持ち帰ろう

美浜町産業まつり

日時　平成 29 年 11 月 12 日（日）

場所　美浜町総合体育館第３駐車場

内容　美浜町関係団体・商店が出店し、売ったり、買ったり、見たり、参加したり、食べたりして、楽しむ。

美浜少年自然の家も１店舗参加し,盛況に終わる

輪投げ、ナインターゲット→参加賞(自作)鉛筆立て・メモスタンド・松ぼっくりクリスマスツリー・自作の火おこし機・なべしき等

主催事業６　知多の自然を満喫！

～干物づくりとみかん狩り～

日時　平成 29 年 12 月 9 日（土）13:00 受付

10 日（日）11:30 解散

場所　愛知県美浜少年自然の家

＆田中農園内海フルーツ村

参加費　大人 5,600 円、子ども 4900 円

参加者　１家族･1 グループ９名(大人３名・子ども６名)

指導者　美浜少年自然の家職員３名・天体観測講師１名

干物作り教室３名・ミカン狩り農園案内１名

内　容　　9 日･干物つくり･野外炊飯カレーライス・天体観測 10 日・みかん・キウイ狩利（田中農園）

主催事業７　海苔すき体験と恵方巻き作り

日時　平成 30 年 1 月 13 日（土）13:00 受付

14 日（日）11:30 解散

場所　愛知県美浜少年自然の家

参加費　大人 5,600 円、子ども 4,900 円

参加者　７家族（大人 20 名・子ども 15 名）

指導者　美浜少年自然の家職員３名

海苔すき講師１名

内　容　　13 日･海苔すき　14 日・恵方巻き作り

Ⅴ　まとめ

１　第１四半期　成果と課題

（1）　利用者アンケート(研修評価票)は 4 点満点で 3.64で同時期前年比 0.03上回った。

（2）　第 1 四半期宿泊目標利用客数 23,000 人を 215 人上回った。

（3）第１四半期４月１日～6 月 30 日は、休館日なしの連続営業である。組織(14 名事務分掌、40h×８＝320　32ｈ×3＝96　24×1　20h×1　8ｈ×1　総計468ｈ,内男性10人、女性４人である。男性職員は宿直勤務があり、日々1 人、通常８時 30 分～翌日９時 30 分、16 時間勤務の配置が必要である。諸々の勤務条件を踏まえてシフトを組むが、日々7 人から 9 人の体制が精一杯であった。

2　第２四半期　成果と課題

(1) 平成 28 年度愛知県美浜少年自然の家指定管理者モニタリング調査（29 年 7 月 1 日付）

①　愛知県教育委員会生涯学習課の総合評価　A

当該施設の管理を受けた初年度であるにも関わらず、地元行政や地域と連携し、事業を実施しており、今後に大変期待が持てる。また、利用者数が平成 20 年度以来の 50,000 人超えを達成しており、また閑散期の取組みについても、過去５年間の平均値を超えており、大いに評価できる。施設物品の適正な管理等については、改善の余地があると思われるので、今後より適正な管理をしていってほしい。

②　愛知県教育委員会生涯学習課の点数評価　87.8 点／100 点　A

評価５段階（S 県の期待以上／A期待どおり／B 普通／C 期待以下／D特に悪い）

ア　基本５項目　　８点／10 点　５項目A(B以下なし)

イ　施設の適正な管理 13 項目　24.5 点／28 点　5 項目Ｓ、8 項目Ａ

ウ　サービスの維持向上９項目　34.4 点／37 点　7 項目Ｓ、２項目Ａ

エ　運営等の安全性　10 項目　20.8 点／25 点　2 項目Ｓ、8 項目Ａ

(2) 第２四半期の成果

① 利用者アンケート(研修評価票)は４点満点で3．66。同時期前年比 0.05 上回った。

② 第2四半期宿泊目標利用客数 17,550 人で目標数 16,500 人を 1,050 人上回った。

③ 第2四半期収入実績 40,289,071 円、支出は 35,085,294 円で 5,203,777 円の黒字。

(3) 平成 30 監査年度（平成 28 年度対象）で愛知県美浜少年自然の家が監査を受ける。

① 28 年度監査の対象・・県は、平成 28 年度において、公の施設（愛知県美浜少年自然の家）の管理を行わせ、指定管理料 75,000,000 円を支出すると共に、利用料金 59,039,450 円を収受させているので,これらに係る出納その他の事務の執行について監査を実施する。

②指定管理団体の監査において以下の着眼点、【ア　指定の内容は確実に履行されているか、イ　施設の管理及び運営は適正になされているか、ウ　指定管理料の使途及び会計処理は適正になされているか、エ　利用料金の徴収は適正になされているか、】をおさえ、関係所帳簿、証拠書類、裏づけ書類、物品等を揃え、中身を精査し、万全の準備態勢をとる。

④ 結論　監査委員２名による６時間の監査、指導を受けるも、問題となる指摘･指導事項はなく、つつがなく終了し、愛知県２月の愛知県公報掲載の監査公表を待つ。

３　第３四半期　成果と課題

(1) 第３四半期の成果

① 利用者アンケート(研修評価票)は 4 点満点で3．55 であった。

② 体調を崩して帰宅をした者が 3 泊、4 泊の連泊者の中で数人いるが、報告するような事件、事故はなく、安全な食管理、生活管理・宿泊研修ができた。

③ 第3四半期宿泊目標利用客数 4,917 人、昨年比 192 人微増。閑散期の利用客増も引き続き段階的に増加するように努力を続けたい。

④ 第3四半期収入実績 29,516,600 円、支出は 27,335,294 円で 2,181,306 円の黒字。

⑤ 30 年度予約数 153 団体、33,728 人。31 年度予約数 165 団体 23,957 人を獲得した。

(2)課題

① 知多郡に居住する近距離通勤者が5人、大府、名古屋、碧南、安城、岡崎各1人、西尾4人の1時間から1時30分かかる遠距離通勤者が9人いる。知多郡に関係する通勤時間が1時間以内の優秀な人材を採用したい。

４　第４四半期　成果と課題

(1) 第４四半期の成果

① 利用者アンケート(研修評価表)は 4 点満点で3．84点であった。

② 第4四半期宿泊客数は 6,600 人、昨年より 225 人増。

③ 年間宿泊客数は 52,318 人、昨年より 1,931 人増となった。宿泊団体数は 534 団体昨年より 63 団体増加し、この数字は平成元年の開所以降、過去最高の数字である。

(2)課題

① 日常の設備、建物の点検や法定点検である消防設備点検、建築設備定期点検の結果、設備の老朽化による指摘事項が散見された。緊急性、安全性を考慮し、優先順位をつけ県に整備要望を出すとともに、指定管理費を利用した修繕計画を作成し、緊急性の高いものに関しては自前での修繕も随時おこなっていく。

② 学校における働き方改革に関する総合的な方策の影響から、次年度の学校関係の利用キャンセルの申し出が既に 2 件あった。今後もこの様なキャンセルが増えていくと考えられる。一方で今まで他施設を利用していた地域の学校の予約が入っている。
今後はキャンセルのあった地域の学校に対して引率の先生が他の負担の少ない野外活動の在り方を提案したり、今まで他施設を利用していた市町村の学校に当施設の利用を提案し、新規の学校をとりこんでいく必要がある。

● 豊橋市青少年センター

センター概要

場　所:豊橋市牟呂町字東里 26 番地
電　話:(0532)46－8925
E－mail:info@toyohashi-yc.jp
U R L:http://toyohashi-yc.jp
開館時間:午前9時～午後10時
休 館 日:毎週月曜日
(月曜日が国民の祝日または
休日のときはその次の平日)
年末年始:12月29日～1月3日

構造・規模〈建物延べ面積〉

中央棟 :RC造3階建 1，982㎡
研修棟 :RC造4階建 890㎡
宿泊棟 :RC造4階建 935㎡
屋外施設 :運動広場 3，844㎡

主な施設

・中央棟

・音楽室・図書談話室・喫茶室
・多目的広場(遊戯室・学習室)
・大研修室(100)人
・体 育 室
ソフトバレーボール3面
バドミントン 3 面
卓球台7台
・豊橋西部地域総合型クラブ KOZOTTE 事務局

・研修棟

・豊橋市子ども会連絡協議会事務局
・少年団体リーダーズクラブ事務局
・豊橋市少年愛護センター
・麦笛ひろば西
・とよはし若者サポートステーション
・豊橋市青年団協議会事務局
・展示室
・資料室
・ユースレクリーダー室
・第1研修室(48 人)・第2研修室(12 人)・第3研修室(36 人)

利用料金

団体利用

〈施設名〉	午前 9:00～12:00	午後 13:00～16:00	夜間 17:00～22:00
第1研修室	360円	360円	620円
第2研修室	180円	180円	300円
第3研修室	360円	360円	620円
大研修室	1,150円	1,150円	1,880円
音楽室	930円	930円	1,560円
体育室（スポーツ利用の場合）	930円	930円	1,560円
運動広場（夜間利用は21時まで）	無料	無料	1,460円

※運動広場の夜間利用は 4 月から 11 月までです。
※市外の団体のご利用料金および、体育室（スポーツ以外の利用）は、上記の 2 倍となります。

宿泊(1人1泊につき)

小・中学校	青年(30歳未満)	一般(30歳以上)
70円	180円	300円

※市外の方のご利用料金は上記の 2 倍となります。
※食事、その他宿泊に必要な物は各自でご用意ください。
調理には、宿泊棟の厨房がご利用いただけます。

個人利用(体育室のみ)　午前 9:00～12:00　午後 1:00～4:00

団体利用のない場合にご利用いただけます。

〈区分〉	現金	回数券（11枚綴り）
小・中学生(※)	20円	200円
青年(30歳未満)	40円	400円
一般(30歳以上)	60円	600円

※ほの国こども パスポートが 利用できます。

・団体とは、5 人以上のグループやサークルで利用する人達の事をいいます。
・団体は、センター内の施設を予約にて専有利用する事が出来ます。
・営利又は商業宣伝等の企業活動、政治活動又は宗教活動を目的とする利用は出来ません。

・宿泊棟

・宿泊室12室　56人(4人用和室8室・6人用洋室4室　)

・入所　午後１時～午後5時

・退所　午前9時30分

・食堂1・浴室 2・厨房1

・談話室3・管理人室1

・第1・第2研修室

・屋外施設

・運動広場(ソフトボール1面ナイター照明有り)

Ⅰ．センターの役割と任務

1．委託業務名・目的

（1）　業務名：豊橋市青少年センター指定管理業務

（2）　事業の目的：豊橋市が掲げる「青少年センター運営方針」に基づき、豊橋市青少年センターを社会教育活動拠点と位置づけ、青少年が学習や話し合いを進め、仲間づくりや各種の催しに参加し、趣味を育て、教養を高めるとともに、青少年団体に自主的な活動の場を提供しています。

市内の子ども会、ボーイスカウト、青年団などの利用を優先的に認め、青少年団体の使用に支障のない範囲で一般団体の使用を認めています。

　また、豊橋市青少年センターの、併設施設である、「豊橋市子ども会連絡協議会」「豊橋市青年団協議会」「少年団体リーダーズクラブ」「豊橋市少年愛護センター」「とよはし若者サポートステーション」「麦笛ひろば西」など青少年の健全育成を目的として活動する団体と良好な関係を築いていきます。

（3） 実施期間： 平成28年4月1日～平成33年3月31日

2. 豊橋市青少年センターの業務内容

（1） 自主事業の実施、施設の広報に関する業務

① 自主事業の企画、実施に係る業務

・ 青少年のための研修会、講習会等の開催
・ 青少年のためのレクリエーション活動の実施
・ 青少年の団体活動の支援

② 情報提供、広報に関する業務

・「広報とよはし」や教育委員会への情報提供
・ 施設のパンフレット、広報誌「ヤングウエーブ」の作成・配布
・ 事業・行事等のポスターやチラシの配布並びにメディア利用の広報活動
・ ホームページの開設
・ 利用者交流情報誌「交流タイムズ」の作成・配布
・ Facebook などの SNS 機能を使った情報発信

（2） 運営に係る業務

① 施設の使用承認等運営業務
② 施設使用料の徴収及び払込事務

（3）施設の維持管理業務

① 施設管理に関する業務

Ⅱ. 平成 29 年度の目標

1. 指定管理2期目の二年目として、申請時に掲げた事業計画5か年の目標達成に向け、豊橋市教育委員会が行ってきた業務を継続的に堅実に受け継ぎ、協定書や設置目的の理解と遂行、先進的青少年センターの運営を心掛け、全職員が計画と役割を理解しスタートする。
2. 利用者目標人数 54,000 名とし、青少年センター、研修棟、宿泊棟宿泊利用者へのサービス向上に努める。
3. 青少年が学習や話し合いを進め、仲間づくりや各種の催し、趣味を育て、教養を高めるとともに青少年団体に自主的な活動の場を提供する。
4. 青少年の日常活動に則して、交友と研鑽の場を提供し、スポーツ、レクリエーション、青少年の研修、団体活動等の支援をする。
5. 青少年に対し、防災減災に関する知識を学び、意識を向上させる啓発事業を開発し実施していく。

Ⅲ. 実施したイベント

1. 学生ボランティアスクール開講説明会

目的と概要

福祉・保育・スポーツ・社会教育・市民活動等の現場で、ボランティア活動を通じ、人間形成・異世代交流・地域課題解決などを学びながら、学生視点で参画することにより、自立した青少年として社会に貢献することを目的とする。

日 時：平成 29 年 5 月 13 日（土）参加者： 6 名

平成 29 年 5 月 20 日(土)参加者:　9 名
平成 29 年 5 月 27 日(土)参加者: 14 名
10 時～12 時
場　所:青少年センター喫茶室
内　容:設立趣旨と活動内容の説明を行った。
30 名の登録があった。

2. レクリエーション・インストラクター養成講座

目的と概要

毎年多くの受講者が、公認インストラクターを目指して受講する。

日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター試験受験資格の対象となるため、熱心な受講生が多い。

日　時:平成 29 年 5 月 14 日～10 月 8 日(全 34 回)
第二・第四日曜日
9 時 15 分～16 時
場　所:豊橋市青少年センター
※9 月 3 日のみ岩田運動公園
参加者:10 月 8 日終了
延べ 282 名

内　容:レクリエーション・インストラクターに必要な実技・理論等を様々な活動で身に付ける
講　師:日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーデイネーター
その他:日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター試験受験資格の対象となる

回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
日付	5/14	5/14	5/14	5/28	5/28	6/11	6/11	6/11	6/11	6/25
参加者	10	10	9	8	8	8	8	9	10	10
回	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
日付	6/25	6/25	6/25	7/2	7/2	7/2	7/2	7/23	7/23	7/23
参加者	8	9	9	9	8	8	8	7	7	7
回	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
日付	7/23	8/27	8/27	8/27	9/3	9/3	9/3	9/24	9/24	9/24
参加者	7	7	10	8	7	7	7	8	8	9
回	㉛	㉜	㉝	㉞						
日付	9/24	10/8	10/8	10/8						
参加者	10	7	7	10						

合計	282 人

3. 青年講座(前期)5 月～7 月　週 1 回　全 8 回 4 講座

概要と目的

例年開催している、青少年センター主催の青年向けスポーツ講座で、豊橋市内の青年に対し、定期的運動の場の提供と、スポーツの啓発、また同世代の青年との交流を通じて、青年の健全育成に寄与することを目的に実施している。

(1) ソフトバレーボール

日　時:5 月 9 日(火)から 6 月 27 日(火)までの毎週火曜日(全 8 回)
19 時～21 時

場　所:青少年センター　体育室

(2) ヨガ＆スモールボール

日　時:5 月 10 日(水)から 6 月 28 日(水)までの毎週水曜日(全 8 回)
19 時 30 分～21 時

場　所:青少年センター　大研修室

(3) ヒップホップダンス

日　時:5 月 11 日(木)から 6 月 29 日(木)までの毎週木曜日
(6/30 除く全 8 回)　20 時～21 時 30 分

場　所:青少年センター　体育室

(4) ジャズダンス

日　時:5 月 12 日(金)から 7 月 28 日(金)までの毎週金曜日(全 8 回)
(5/19･6/16･7/7･7/21 除く)　19 時 30 分～21 時

場　所:青少年センター　体育室

青年講座(前期)参加人数

		1	2	3	4	5	6	7	8	計
ソフトバレーボール	日付	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	75 人
	参加者	11 人	10 人	8 人	9 人	10 人	10 人	8 人	9 人	
ヨガ＆スモールボール	日付	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	44 人
	参加者	3 人	7 人	5 人	3 人	7 人	6 人	6 人	7 人	
ヒップホップ	日付	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	94 人
	参加者	12 人	13 人	12 人	12 人	13 人	12 人	10 人	10 人	
ジャズダンス	日付	5/12	5/26	6/2	6/9	6/23	6/30	7/14	7/28	92 人
	参加者	13 人	10 人	9 人	18 人	12 人	9 人	10 人	11 人	

総計	305 人

4. 青年講座(後期)9月～11 月　週 1 回　全 8 回 4 講座

(1) ソフトバレーボール

日　時:9 月 5 日(火)から 11 月 7 日(火)までの毎週火曜日(全 8 回)

※9 月 19 日、10 月 10 日を除く 19 時～21 時

場　所:青少年センター　体育室

(2) ヨガ＆スモールボール

日　時:9 月 6 日(水)から 10 月 25 日(水)までの毎週水曜日(全 8 回)

19 時 30 分～21 時

場　所:青少年センター　大研修室

(3) ヒップホップダンス

日　時:9 月 7 日(木)から 10 月 26 日(木)までの毎週木曜日(全 8 回)

20 時～21 時 30 分

場　所:青少年センター　体育室

(4) ジャズダンス

日　時:9 月 8 日(金)から 11月 10 日(金)までの毎週金曜日(全 7 回)

＊10 月 13,20 日、11 月 3 日を除く　(日程の都合上　7 回で終了)

19 時 30 分～21 時

場　所:青少年センター　体育室

青年講座(後期)参加人数

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	計
ソフトバレーボール	日付	9/5	9/12	9/26	10/3	10/17	10/24	10/31	11/7	74
	参加者	9	9	5	8	10	10	10	13	
ヨガ＆スモールボール	日付	9/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	78
	参加者	11	6	9	8	9	14	10	11	
ヒップホップダンス	日付	9/7	9/14	9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	74
	参加者	10	10	11	5	10	10	7	11	
ジャズダンス	日付	9/8	9/15	9/22	9/29	10/6	10/27	11/10		53
	参加者	10	9	9	10	10	9	10		

総合計	279 人

5. 四季の行事教室

概要と目的

四季の行事教室は、「親子が一緒に楽しむひと時」を提供することを目的とし、またレクリエーション指導の実技研修の場にもなっている。

レクリエーション・インストラクター養成講座受講生並びに中部福祉保育医療専門学校生を研修生として受け入れており、小学生と保護者向けの、レクリエーション指導教室で、年 4 回開催している。

(1) 七夕のつどい

日　時:平成 29 年 7 月 1 日(土)の午後 1 時～午後 3 時
場　所:豊橋市青少年センター　大研修室
参加人数:　一般参加者:15 組　32 名
　　研修生　:　12 名
　　合計　44 名

(2) お月見のつどい

日　時:平成 29 年 9 月 30 日(土)午後 1 時～午後 3 時
場　所:豊橋市青少年センター　大研修室
参加人数:一般参加者:保護者　11 名小学生・幼児 15 名　計 26 名
　　研修生　:　9 名
　　合計　35 名

(3) クリスマスのつどい

日　時:平成 29 年 12 月 3 日(日)午後 1 時～午後 3 時
場　所:　豊橋市青少年センター　大研修室
参加人数:　一般参加者　:　11 組 28 名
　　研修生　　:　17 名
　　合計　45 名

(4) ひなまつりのつどい

日　時:平成 30 年 2 月 25 日(日)午後 1 時～午後 3 時
場　所:　豊橋市青少年センター　大研修室
参加人数:　一般参加者　:8 組　27 名
　　研修生　　:16 名
　　合計　43 名

6. わくわく体験講座

(1) 楽しく覚える津軽三味線　前期

概要と目的

津軽三味線に親しみ、日本古来の音楽を基礎から学ぶ、初心者向けの全 4 回講座
今年度から、夏休み前で終了するように日程設定を行なう。

日　時:平成 29 年 5 月　24 日(水)・　6 月 14 日(水)・28 日(水)
　　7 月 12 日(水)・午前 10 時～11 時 30 分　　≪全4回≫
場　所:豊橋市青少年センター　音楽室

参加人数:5 月 12 日(水)11 名　　6 月 14 日(水)8 名
6 月 28 日(水)9 名　　7 月 12 日(水)9 名
延べ 37 名

⑵ 楽しく覚える津軽三味線 後期

日 時:平成 29 年 9 月 13 日(水)・27 日(水)
10 月 11 日(水)・25 日(水) 11 月 8 日(水) 午前 10 時～11 時 30 分 ≪全 5 回≫

場 所:豊橋市青少年センター 音楽室

参加人数:9 月 13 日(水) 7 名　9 月 27 日(水)7名　10 月 11 日(水)5 名　10 月 25 日(水) 5 名
11 月 8 日(水)　6 名　　延べ 30 名

(3) 自立型人間養成講座(目標達成するためのタイムマネージメントを学ぶ)

概要と目的

学生ボランティアスクール登録者を対象に、「目標達成するためのポイントは、時間の使い方」であることを学び、成功事例やツールを使った具体的な技術を学び、自立型人間になることの大切さを学んだ。

日 時:平成 29 年 11 月 11 日(土)　午前 10 時～正午

場 所:豊橋市青少年センター 大研修室

講 師:井坂 直人

参加者:11 名

(4) 学生ボランティアスクール認証式

概要と目的

平成29年度「学生ボランティアスクール」の終了に伴い、「学生ボランティアスクール認証」の授与式を行った。登録33名に対し、認証授与の対象になるボランティア活動回数をクリアした学生は、25名になり初年度として効果があった。認証授与式への参加者は 5 名であったが、授与式後には活動実績に基づき感想や報告会を兼ねた親睦会を行った。

日 時:平成 30 年 3 月 24 日(土)　午前 10 時～正午

場 所:豊橋市青少年センター 喫茶室

参加者:5 名

7. わくわく体験クラブ

(1) 親子ポスター教室

概要と目的

美術講師の指導により、ポスターにおける人を惹きつける表現方法は何かを考え学び、ポスター制作の技能を高める。

親子がいっしょに作業学習をすることでふれあいを高め、より良い人間関係の形成を図る。

日 時:平成 29 年 7 月 27 日(木)、28 日(金)の午前 10 時～正午
全 2 日

1 日目:講師による構図、表現方法の指導、下書きの作成。

2 日目:下書きへの色塗りの指導、ポスター仕上げ。

場　所:豊橋市青少年センター　大研修室

参加人数:1 日目　15 組　35 名

2 日目　13 組　32 名

計　67 名

(2) ちびっこ科学スクール「太陽光を活かして」実施内容

概要と目的

光電池・モーターを使い、発電することを活かしたメリーゴーランドをペットボトルで作り、太陽による光を電気に換える仕みを学んだ。保護者と共に組み立て、光と電気を学び、家族のきずなを深めることができました。

日　時:平成 29 年 10 月 15 日(日)10;00～12:00

場　所:豊橋市青少年センター　第一研修室

参加人数:一般参加者:　3 組　8 名

(3) はじめての絵画教室」実施内容

概要と目的

豊橋市造形推進委員の指導により、水彩絵を基本から学べる絵画教室を開催し本格的な水彩絵の手法を学ぶ。

※3～4 回全てに参加できる方を対象に募る。

日　時:平成 29 年 11 月 11 日(土)・12 日(日)19 日(日)・25 日(土)

午前 10 時～正午

場　所:豊橋市青少年センター　第一研修室

参加者:　6 人　延べ 21 名

8. ジュニアチャレンジ講座

(1) バドミントン

概要と目的

ジュニアチャレンジ講座は、小学生向けスポーツ教室で、夏休み期間中の体力増進とスポーツ振興を図ることを目的とする。

日　時:平成 29 年 7 月 22 日(土)、7 月 23 日(日)、7 月 29 日(土)

7 月 30 日(日)、8 月 6 日(日)

AM:午前 10 時～午前 11 時 30 分

PM:午後　0 時 15 分～午後 1 時 45 分

場　所:豊橋市青少年センター　体育室

参加人数:7 月 22 日:　22 名　7 月 23 日:　19 名　7 月　29 日:　16 名

7 月 30 日:　20 名　8 月　6 日 AM:18 名　8 月　6 日 PM:18 名　　計:113 名

(2) 卓球

概要と目的

ジュニアチャレンジ講座は、小学生向けスポーツ教室で、冬休み期間中の体力増進とスポーツ振興を図ることを目的とする。

今年度の種目も卓球とし、豊橋卓球協会に協力を頂き、実施した。

日　時:平成 29 年 12 月 23 日(土)・24 日(日)・27 日(水)・28 日(木)
　　午前 10 時～午前 11 時 30 分
場　所:豊橋市青少年センター　体育室
参加人数:12 月 23 日:20 名　12 月 24 日:16 名
　　12 月 27 日:21 名　12 月 28 日:19 名　計:76 名

9. わくわく体験塾

(1) くろしおサマーキャンプ

概要と目的

地震が発生し、避難した先で窮屈、不自由が当たり前の環境を参加した小学生がチームで力を合わせキャンプカウンセラーの力を借りながら、課題を解決していくことをテーマに、2 泊 3 日の防災キャンプを体験し、災害時、自分の命は自分で守り、自らも誰かの役に立つ側になれるよう、このキャンプから学んでもらう。

日　時:平成 29 年 8 月 24 日(木)　午後 13 時～26 日(土)　正午まで 2 泊 3 日
場　所:豊橋市野外教育センター(伊古部町)

実施内容

・1 日目:オリエンテーション・身近なもので防災グッズ作り。
　　灯りのない夜に星座観察。避難所体験として間仕切りを作って体育館で宿泊体験
・2 日目:砂浜大運動会・居場所作りのテント設営・竹とんぼ作り・ドキドキ肝試し
・3 日目:救援物資受け取り体験・キャンプの振り返り・まとめと発表
　　参加人数　　小学生　　32 名
　　(学生ボランティア　8 名・インターンシップ　2 名一般ボランティア　1 名)

10. 施設開放事業

(1) 青年フェスティバル

概要と目的

青年フェスティバルは、出店や盆踊りなどを楽しんでもらうお祭りであり、青年団や青少年センターと、地域住民との交流の場として実施するものである。

日　時:平成 29 年 9 月 2 日(土)17:00～20:30
場　所:豊橋市青少年センター　運動広場
参加者数:　500 人
協力団体:NPO法人いまから/ラ・バルカ

(2) センターフェスティバル＆KOZOTTE 感謝祭

概要と目的

施設開放事業として、より多くの方々に利用していただくために全館及び運動広場を開放し、それぞれの会場において、文化・スポーツ体験会を実施。自由に参加、自由に楽しむフェスティバルとして豊橋市青少年センターを拠点とする総合型地域スポーツクラブ KOZOTTE と協働し開催。

日　時:平成 29 年 11 月 18・19 日(土・日)午前 10 時～午後 12 時

場　所:豊橋市青少年センター

参加者:11 月 18 日　59 名　　11 月 19 日　49 名　延べ 108 名

(3) 子ども体験遊びリンピック「スポーツ鬼ごっこ大会」開催

概要と目的

「体験の風をおこそう」推進月間事業としてスポーツ鬼ごっこ大会を開催し、上位チームに金・銀・銅のメダルを贈呈。

日　時:平成 29 年 11 月 18 日(土)　午前 9 時～午後1時

場　所:豊橋市青少年センター　体育室

参加チーム:未就学児童　　1 チーム

小学 4 年生～6 年生　2 チーム　　参加人数　25 人

(4) 避難所運営体験講座

概要と目的

当センターは大きな災害が発生した時、第二指定避難所であり、備えられた資機材や食糧があることを地域の方に知っていただく事。展示物を参考にして、家庭での備えを再確認していただきたいことを目的に、今年で 4 回目の開催になりました。

日　時:平成 30 年 1 月 25 日(20)　午前 9 時～午後 12 時

場　所:豊橋市青少年センター　大研修室他

参加人数 65 人

11. 防災啓発出前授業「みんなで学防災」～どう動く・どう守る・自分の命

概要と目的

豊橋市内の小・中学生を対象に知識「自助・共助・公助」を伝え日頃の備えの重要性を学び、災害時にどのように行動して自分の命を守るかを学校教育の中で指導しています。

(1)豊橋市立二川南小学校＜PTA 研修会＞

日　時:平成 29 年 5 月 26 日(木)　午前 10 時～午後 12 時

場　所:二川南小学校

参加者:PTA 役員 27 名

内　容:お母さん先生の為の研修会(笛作り・防災ダック)

(2)豊橋市立高根小学校

日　時:平成 29年 6 月 2 日(金)　午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分

場　所:少年自然の家体育館

参加者:5 年生　37 名

内　容:防災スライドショーで災害を学び、非常持ち出し品選択ゲームを行った。

(3)豊橋市立二川南小学校　＜校区防災訓練を交えた学校公開日＞

日　時:平成 29 年 6 月 3 日(土)午前 8 時 30 分～午後 12 時 40 分

場　所:二川南小学校

参加者:全学年 560 名　保護者 180 名　地元住民 100 名(総計 840 名)

内　容:全学年別に「学防災」を行った。

(4)豊橋市立西郷小学校

日　時:平成 29 年 6 月 17日(土)　午前 8 時 30 分～9 時 45 分

場　所:西郷小学校体育館

参加者:全学年 112 名　保護者 70 名　地元住民 182 名

内　容:防災スライドショー・新聞紙活用グッズ作り

(5)豊橋市立つつじが丘小学校＜PTA 研修会＞

日　時:平成 29 年 6 月 28 日(木)　午後 2 時～午後 4 時

場　所:つつじが丘小学校

参加者:PTA 役員 14 名

内　容:お母さん先生の為の研修会(笛作り・防災ダック)

(6)豊橋市立つつじが丘小学校＜つつじふれ愛の日＞

日　時:平成 29年7月3日(日)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:つつじが丘小学校

参加者:全学年 680 名　保護者 200 名　地元住民 180 名

内　容:防災スライドショーといのちを守る笛つくりなどのワークショップ

(7)豊橋市立花田小学校＜総合学習＞

日　時:平成 29 年 9 月 28 日(木)　午後1時 15 分～午後2時 00 分

場　所:花田小学校

参加者:6 年生 2 クラス 65 名

内　容:防災スライドショー

(8)豊橋市立豊城中学校＜現職研修＞

日　時:平成 29 年 10 月 19 日(木)　午後 3 時 30 分～午後 5 時 15 分

場　所:豊城中学校

参加者:教諭 23 名＋市職員他 3 名＋学生ボランティア 3 名　計 29 名

内　容:避難所運営ゲーム(HUG)体験実習

(9)豊橋市立花田小学校＜PTA 教養部会・親子講座＞

日　時:平成 29 年 12 月 3 日(日)　午前 8 時 30 分～午前 10 時

場　所:花田小学校体育館

参加者:児童＋保護者＋PTA 役員　計 170 名

内　容:防災スライドショーと防災グッズづくり　　「学防災」受益対象者合計:　2,606 名

12.「スポーツのまち」づくり課協働事業　出前講座:スポーツ鬼ごっこ体験会

目的と概要

スポーツ鬼ごっこは、楽しみながら仲間と仲良くなれる要素が詰まっています。体力の向上・運動量の確保・チーム対決によるチームワークとチームリーダーの育成に優れ専門スポーツに移行する前の体の動き方など、基本動作が身につきます。

(1)豊橋市立岩田小学校校区体験会

日　時:平成 29 年 4 月 16 日(日)　午前 8 時 00 分～午後 12 時 30 分

場　所:岩田小学校運動場・体育館

参加者:300 人

(2)豊橋市立岩西小学校

日　時:平成 29 年 4 月 25 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:岩西小学校体育館

参加者:2 年生 3 クラス 85 名

(3)豊橋市立豊南小学校

日　時:平成 29 年 4 月 27 日(木)　午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分

場　所:豊南小学校体育館

参加者:3 年 28 名

(4)豊橋市立高根小学校

日　時:平成 29 年 4 月 27 日(木)　午前 10 時 50 分～午後 12 時 30 分

場　所:高根小学校体育館

参加者:3 年生 2 クラス 47 名

(5)豊橋市立芦原小学校

日　時:平成 29 年 5 月 2 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:芦原小学校体育館

参加者:4 年生 3 クラス 89 名

(6)豊橋市立谷川小学校

日　時:平成 29 年 5 月 8 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:谷川小学校体育館

参加者:全学年 78 名

(7)豊橋市立汐田小学校

日　時:平成 29 年 5 月 11 日(木)　午前 9 時 30～午後 12 時 30 分

場　所:汐田小学校体育館

参加者:2 年生 3 クラス 85 名

(8)豊橋市立加茂小学校

日　時:平成 29 年 5 月 30 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:加茂小学校体育館

参加者:1 年生～3 年生 34 名

(9)豊橋市立向山小学校

日　時:平成 29 年 5 月 30 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:向山小学校体育館

参加者:1年生 3 クラス 69 名

(10)豊橋市立岩田小学校校区大会

日　時:平成 29 年 6 月 4 日(金)　午前 8 時 00 分～午後 12 時 30 分

場　所:岩田小学校体育館

参加者:31チーム 300 人

(11)豊橋市立二川小学校校区体験会

日　時:平成 29 年 6 月 24 日(金)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:二川小学校体育館

参加者:150 人

(12)豊橋市立新川小学校

日　時:平成 29 年 9 月 14 日(金)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:新川小学校体育館

参加者:2 年生 2 クラス 3 年生 1 クラス 98 名

(13)豊橋市立野依小学校

日　時:平成 29 年 9 月 19 日(火)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:野依小学校体育館

参加者:2 年生 3 クラス 81 人

(14)豊橋市立鷹丘小学校

日　時:平成 29 年 9 月 26 日(火)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:鷹丘小学校体育館

参加者:3 年生 4 クラス 136 名

(15)豊橋市立吉田方小学校

日　時:平成 29 年 10 月 3 日(火)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:吉田方小学校体育館

参加者:2 年生 4 クラス 140 人

(16)豊橋市立豊小学校

日　時:平成 29 年 10 月 24 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:豊小学校体育館

参加者:1 年生 2 クラス 63 名

(17)豊橋市立つつじが丘小学校

日　時:平成 29 年 10 月 26 日(木)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:つつじが丘小学校体育館

参加者:1 年生 3 クラス 96 人

(18)とよはしキッズジャム

日　時:平成 29 年 11 月 5 日(日)　午前 9 時～午後 12 時

場　所:のんほいパーク(豊橋市動植物園)広場

参加者:子ども会児童 200 人

(19)豊橋市立小学校教諭指導会

日　時:平成 29 年 11 月 14 日(火)　午後 5 時～午後 6 時 30 分

場　所:豊橋市総合体育館

参加者:小学校教諭＋市職員　計 10 人

(20)豊橋市立高師小学校

日　時:平成 29 年 11 月 16 日(木)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分

場　所:高師小学校体育館

参加者:2 年生 4 クラス 116 名

(21)豊橋市立芦原小学校

日　時:平成 29 年 11 月 21 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 11 時 30 分

場　所:芦原小学校体育館

参加者:1 年生 2 クラス 74 人

(22)豊橋市立富士見小学校

日　時:平成 29 年 11 月 28 日(火)　午前 9 時 30 分～午後 11 時 30 分

場　所:富士見小学校体育館

参加者:2 年生 2 クラス 77 名

「スポーツ鬼ごっこ」受益対象者合計:2,356 名

スポーツ鬼ごっこで体力向上

豊橋市が小学校の授業導入

普及団体代表ら市役所で魅力紹介

子どもたちの体力向上の一環として、豊橋市は、市内でも広がりつつある「スポーツ鬼ごっこ」を市立小学校授業への導入を決めた。29日には、普及などに取り組む鬼ごっこ協会の羽崎泰男代表理事(68)らが市役所を訪れ、山西正泰教育長に改めて魅力などを語った。

愛知県の体力テスト結果(小学5年生)は、3年連続で全国最下位。こうした結果も踏まえ、市はスポーツ鬼ごっこなど、子どもたちが日頃からできる体力向上支援事業をスポーツ庁に提案、採択された。

市役所を訪問した協会の羽崎代表理事と羽崎貴雄理事(33)は、鬼ごっこをベースにしたスポーツ鬼ごっこについて「単純明快なルールで運動が苦手な子でも誰でもできる。動きながら考える戦略性の要素もあり、体力だけでなく、考える力もつく」と魅力を紹介した。

以前に見学している山西教育長も「子どもたちが本気で走り回っている。運動量を増やすことができる」と話した。

東海地区では、まだなじみがないが、豊橋市内ではすでに3年前から市職員が"出前授業"として小学校、地域などに出向き、スポーツ鬼ごっこを紹介、子ども、市民ら約5000人が体験し、好評という。昨年からは市民らが豊橋スポーツ鬼ごっこサークルを立ち上げ、手伝っている。

(中村晋也)

山西教育長㊧にスポーツ鬼ごっこの魅力を紹介した羽崎代表理事(左から2人目)＝豊橋市役所で

平成 29 年年 6 月 30 日　中日新聞／東愛知新聞

スポーツ鬼ごっこPR

協会理事　豊橋市教育長と面会

豊橋市が小学校の体育の授業に取り入れる「スポーツ鬼ごっこ」の普及に取り組む一般社団法人鬼ごっこ協会(東京都世田谷区)の羽崎泰男代表理事(六八)と羽崎貴雄理事(三三)が二十九日、市役所を訪れ、山西正泰教育長と面会した。貴雄さんは「豊橋には鬼まつりもある。豊橋にスポーツ鬼ごっこの聖地ができれば」と呼び掛けた。

スポーツ鬼ごっこは約三十年前、国立総合児童センター「こどもの城」(東京都渋谷区)＝現在は閉館＝に勤めていた泰男さんが、子どもの肥満解消に鬼ごっこを取り入れたのを機に生まれた。

縦十五～二十㍍、横二十五～三十㍍の長方形のコートで行われる七人制の競技。チーム内で攻撃と守りに分かれ、中央線を挟んだ互いの陣地の「トレジャー」と呼ばれるバトンを取り合う。

豊橋市は三年前にスポーツ鬼ごっこの出前授業を小学校で始め、これまでに市民を含む五千人以上を指導してきた。授業に取り入れるため、今秋には小学校五十二校に、トレジャーとそれを支える「ホーム」と呼ばれる土台を一組ずつ配る。

二年前に「豊橋スポーツ鬼ごっこサークル」を立ち上げ、審判三級の資格を持つ白井康雄さん(六〇)は「市内でリーグ戦ができるくらいチームが増えてくれたら」と語った。市内で審判資格を持つ人は約五十人いるという。

豊橋市が提案した子どもの体力向上に向けた事業が六月、スポーツ庁の「体育・スポーツ資質向上モデル事業」に内定し、事業の一環でスポーツ鬼ごっこの導入を決めた。

(板倉陽佑)

スポーツ鬼ごっこをPRする羽崎泰男さん(左から2人目)と羽崎貴雄さん(同3人目)。手前はトレジャー＝豊橋市役所で

茶南山園 製造元

13. 広報誌 (ヤングウエーブ・交流タイムズ)

毎月初旬　月1回発行　発行部数3, 150部

フェイスブック　ホームページの随時更新

Ⅳ.　青少年センター並びに関連団体施設利用者数

（単位：人）

目標（年間）	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累積	他施設利用	合計	進捗率	※学防災 ※鬼ごっこ
54,000	12,551	16,054	12,051	10,650	51,306	6,074	**57,380**	106.3%	※2,606 ※2,356

※学防災とスポーツ鬼ごっこは出前講座のため、施設利用者数には含まず「受益対象者」として計上

月	27年度	※宿泊	28年度	※宿泊	前年比	29年度	※宿泊	前年比
4	3,972	26	3,156	41	79.5%	3,587	16	113.7%
5	4,003	20	4,199	37	104.9%	4,498	21	107.1%
6	4,512	50	4,020	10	89.1%	4,381	48	109.0%
7	5,550	156	4,267	86	76.9%	4,712	90	110.4%
8	5,206	176	4,613	112	88.6%	5,456	56	118.3%
9	4,602	355	3,488	41	75.8%	5,668	72	162.5%
10	4,569	38	3,927	45	85.9%	4,197	0	106.9%
11	4,551	0	3,863	15	84.9%	4,047	43	104.8%
12	4,765	0	4,189	0	87.9%	3,756	8	89.7%
1	2,740	0	2,317	17	84.6%	3,511	35	151.5%
2	4,454	60	3,593	74	80.7%	3,563	87	99.2%
3	3,366	73	3,327	9	98.8%	3,385	69	101.7%
合計	52,290	954	44,959	487	86.0%	50,761	545	112.9%

他団体施設利用者数（参考資料）

	若者サポートステーション（集中訓練プログラム事業宿泊含む）			少年愛護センター			麦笛ひろば西		
月	28年度	29年度	前年比	28年度	29年度	前年比	28年度	29年度	前年比
4	354	285	80.5%	135	124	91.9%	20	37	185.0%
5	520	332	63.8%	111	128	115.3%	82	150	182.9%
6	658	379	57.6%	111	107	96.4%	84	162	192.9%
7	331	436	131.7%	144	79	54.9%	73	66	90.4%
8	522	325	62.3%	81	108	133.3%	0	0	0.0%
9	505	321	63.6%	107	96	89.7%	93	147	158.1%
10	327	380	116.2%	120	43	35.8%	94	127	135.1%
11	385	412	107.0%	107	0	0.0%	145	209	144.1%
12	325	322	99.1%	92	0	0.0%	221	163	73.8%
1	293	261	89.1%	84	0	0.0%	158	123	77.8%
2	340	247	72.6%	115	0	0.0%	155	164	105.8%
3	491	278	56.6%	189	0	0.0%	109	63	57.8%
合計	5,051	3,978	78.8%	1,396	685	49.1%	1,234	1,411	114.3%

※少年愛護センター「子ども若者総合相談窓口」業務は、10 月から他施設へ移転

Ⅴ．まとめ

1．第 1 四半期

・豊橋市民センターから 3 名の移籍があり、新体制でスタートした。

・平成 29 年度は、利用者目標 54,000 人、自主事業主催事業は年間 60 以上、延べ 7,000 人の参加者を見込

んだ事業を計画した。

・平成 28 年度モニタリング評価調査があり、生涯学習課に提出した。

・野外教育センター・少年自然の家との協働で、若者自立支援事業「学生ボランティアスクール」を立ち上げ、市内 3 大学、市外 1 大学、市内 5 高校に説明に出向き、事業の概要・目的・趣旨を理解いただき、30 名の登録につながった。今後は、市内の公共施設や公共事業所で行われる、イベントや事業にボランティアとして参加いただき、自立した若者として成長する機会を提供する。

・「スポーツのまち」づくり課（旧スポーツ課）と協働で展開してきた「スポーツ鬼ごっこ」が、スポーツ庁の委託事業として採択され、豊橋市内全 52 小学校に運動器具の導入が決定。9 月より授業として展開されることになった。

2. 第2四半期

・生涯学習課と建築課による宿泊棟外壁工事の調査があった。

・第 2 四半期は夏休みの期間もあり、小学生対象や小学生とその保護者を対象にした主催事業や自主事業を多く開催した。

・研修棟を利用して、生涯学習課による、中学生高校生に向けた学習支援事業「地域未来塾ステップ」が始まった。

・宿泊棟利用者用スリッパ50足を購入、旧スリッパと交換した。

・子ども会主催で、第 2 回スポーツ鬼ごっこキッズ選手権が総合体育館で行われ 8 校区の代表約 100 人が参加し県大会に向けて熱戦を繰り広げた。

・運動広場利用団体が地域住民に対して迷惑行為を行ったことで、トラブルがあり住民の方の声を聞き、担当課と相談、利用団体に対し厳重な注意と再発防止の要請を行った。

3. 第3四半期

・浄化槽と排水管を結ぶ地中で、管の破損があり汚水漏れが発生し緊急工事を行った。

・台風の連続通過による被害が、施設内で散見された。特に 22 号通過後に青年団事務室、研修室などに修繕を要する事案が発生し、生涯学習課と協議し対応した。

・汐田小学校社会見学授業で、当施設に 2 年生 80 名が来館、施設内の説明と利用方法を熱心に聞き取り、後日感謝の感想文をいただいた。

・中央棟 1 階男女のトイレに暖房便座（ウォシュレット機能付き）を設置した。

4. 第4四半期

・施設利用と来館者合わせて、57,380 人となり年度目標 54,000 人を6％上回った。

・1月より3月まで、宿泊棟外壁耐震改修工事を行った。

・宿泊棟寝具の上下布団 58 組を新規購入し、利用者に快適な環境を提供した。

・予てより研修棟4階ベランダに鳩が止まり、ふん害が発生していた為、防鳥ネット及び薬品塗布による施工を行った。

・中央棟と研修棟の間は、駐車禁止スペースであることが分かるように、区域ラインを引いた。

・自転車の来館者に駐輪区画が分かるように、自転車置き場スペースのラインを引いた。

・新規事業として立ち上げた「学生ボランティアスクール」に、市内外より33名の高校生・大学生が参加し、子ども未来館ココニコ、野外教育センター、少年自然の家、青少年センター、市内小学校、「スポーツのまち」づくり課が主催する事業に、延べ100人以上がボランティア参加し、社会貢献活動をした。

■NPO・市民団体支援

NPO SUPPORT

ボランティアや市民活動を支援するセンターの管理運営を中心とする事業を行政から受託し実施していきます。特に地域内分権がより進むことが予測されるため、それぞれの行政区域の特性を活かす事業が求められています。
施設の管理とあわせて、ボランティア及び市民活動の促進のために、愛知ネットの特性やノウハウを活かした事業をさらに展開していきたいと考えます。

● 刈谷市民ボランティア活動センター

センター外観

センター概要

場　　所 ： 刈谷市東陽1丁目 32 番地 2
電　　話 ： 0566-62-8231
ファクス ： 0566-62-8232
E－mail ： kcv109box@katch.ne.jp
U R L ： http://www.katch.ne.jp/~kcv109box/
開館時間 ： 9 時～21 時
休館日 ： 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)、年末年始(12月29日～1月3日)
主な施設 ： 交流スペース、談話スペース、作業スペース、情報スペース、メールボックス、ロッカー、多目的トイレ、駐車場
使用料金 ： コピー機使用は実費負担、印刷機は無料。但し用紙は利用者が持参
※施設、ロッカー、その他機材使用は無料
談話スペース ： 登録団体が打ち合わせ、団体間の交流の場として利用。
※テーブルは 18 席が 4 島有り。72 席で利用することも可能
ロッカー ： 活動に必要な備品などを保管する場所として利用。(ロッカー数は、47 個)
メールボックス ： 各団体間の連絡、文書・チラシの配布や団体宛の郵便物、ファックスの一時保管場所として利用。(メールボックスの数は、36 個)
作業スペース ： 印刷機、紙折機、製本機、丁合機、裁断機、紙そろえ機、ラミネーターを設置。
貸出備品 ： プロジェクター、ノートパソコン、スタッフコート(10着)、クリスマスツリー(2セット)、サンタクロースの衣装、スポットライト、バルーンアート空気入れ(5本)、ビンゴマシン、布ぞうり製作台(6台)、小型プロジェクター、レーザーポインター、ハンドベル、防災カルタ、非常持ち出しゲーム、紙芝居枠、名札、腕章など

Ⅰ．センターの役割と任務

１．委託業務名・目的

（１）業務名　：　刈谷市民ボランティア活動センター管理運営委託

（２）事業の目的　：　様々な分野で活躍する市民ボランティア活動団体を支援するとともに、活動に対する市民の意識啓発を図り、市民ボランティア活動を推進する。

（３）実施期間　：　平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 34 年 3 月 31 日(木)

２．刈谷市民ボランティア活動センターの任務

（１）情報の収集・提供業務

①「かりや衣浦つながるねット」（ボランティア情報サイト）の管理運営、登録団体の入力作業、イベント情報・ボランティア募集などのコーディネート業務、サイト利用操作説明など

②刈谷市民ボランティア活動センターのHP作成及び維持管理

③メールマガジン及び情報誌（ぼらっち。）等の発行

（２）活動場所の提供業務

①談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応

②印刷機器等設備の利用に関する事務

（３）意識啓発・普及業務

①意識啓発活動の実施（業務全体を通じて）

②啓発チラシ・パンフレット等の作成・更新

（４）人材育成・交流業務

①人材育成のための研修会を企画・運営（スキルアップ講座等）

②市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワーク構築

（NPO法人・ボランティア活動に精通した講師をお呼びし、車座集会を開催）

（５）相談・連絡調整業務

①市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能（マッチング活動）

②NPO法人認証取得のための相談への対応

Ⅱ．事業計画立案にあたっての考え方

センター設立当初から管理運営の委託をうけ、「市民から愛され、信頼されるセンター」をめざして活動してきた。平成２１年２月に刈谷市共存・協働のまちづくり推進基本方針が策定、それに基づき、４月には共存・協働まちづくりの推進条例が施行された。さらに平成２２年度は市民活動支援基金制度ができ、また市制６０周年記念事業としてコラボ 60 の事業などが実施され、センターとしてもコラボの時代の幕開けを意識して取り組んできた。平成２３年度は、３月１１日の東日本大震災の発災に伴う支援をおこない、また同年は定住自立圏形成の協定が締結された。平成２５年度は、刈谷城築城４８０年記念事業をとおしてまちづくりの活性化を推進、また住民主体のまちづくりのため、「元気な地域応援交付金制度」がスタートした。これらの刈谷市の背景を活かし、今後の課題を意識して、事業を計画し、愛知ネットとしての強みを発揮して着実に推進していく。特に

１．共存・協働の時代にふさわしい支援（地域団体と市民団体とのマッチング活動）

２．衣浦定住自立圏構想をいかし地域の拡大に務める。

３．東日本大震災を風化させない、防災力アップの支援活動

４．２０２５年問題を意識した、つむぎ場などの事業計画の推進。

５．指定管理者として、企画提案内容を確実に実施していく。

Ⅲ．今年度の目標

（１）数値目標

登録団体、個人会員数、来館者数などの評価指標については、前年実績の維持向上を狙う。

（２）事業回数

指定管理者として企画提案した事業（スキルアップ5回、車座集会5回、わがまちのつむぎ場　　１回、啓発イベント3回、交流イベント1回）を確実に実施する。

Ⅳ．第四半期の目標と実績

	H27年	H28年	H29年第４四半期		H29年４四半期	
	実　績	実　績	目　標	実　績	達成率	前年比
総来館者数	21,789 人	22,887 人	22,887 人	22,596 人	98.7%	98.7%
相談件数	1,135 件	1,160 件	1,160 件	1,170 件	100.9%	100.9%
マッチング件数	116 件	116 件	116 件	117 件	100.9%	100.9%
団体登録	473 団体	488 団体	488 団体	510 団体	104.5%	104.5%
個人登録者	186 人	186 人	196 人	212 人	108.2%	114.0%

実施したイベント

１．車座集会

（１）第 73 回車座集会

「困った時はお互いさま」

誰もが活躍できる　まちづくりに挑戦

日時：2017 年 4 月 21 日（金）18：30～20：15
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：35 名
講師：山﨑紀恵子氏
認定 NPO 法人　絆　代表理事
担当：スタッフ全員
内容：2025 年問題を先取りし、助け合いの仕組みづくりに挑戦している熱い話を頂いた。

（２）第 74 回車座集会

刈谷城歴史ウォーク

刈谷と東浦を結ぶ於大ゆかりの歴史探訪

日時：2017 年 5 月 18 日（木）13：00～16：45
場所：刈谷城跡及び緒川城跡周辺
参加：26 名
講師：刈谷ふるさとガイドボランティアの会
東浦ふるさとガイド協会
担当：スタッフ全員
内容：　歴史文化に一層関心をもってもらうために、刈谷城跡及び緒川城跡周辺を見学した。

（３）第 75 回車座集会
地上国支援から考えるボランティア
日時：2017 年 7 月 14 日（金）18：30～20：15
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：40 名
講師：神谷浩司氏
刈谷地区心身障害児者を守る会　監事
歯科医師
担当：スタッフ全員
内容：カンボジアの小学校に行き、歯磨き指導の体験談を通じ、ボランティアマインドについて語って頂いた。

（４）第 76 回車座集会
子どもと共に未来を考える
日時：2017 年 10 月 27 日（金）18：30～20：15
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：29 名
講師：神谷由美子氏
ＮＰＯ法人おやこでのびっこ安城　理事長
担当：スタッフ全員
内容：こどもたちがゆたかに育つために、大人が考えなくてならないことのお話しを頂いた。

（５）第 77 回車座集会
おとなから歩み寄ってみよう！
日時：2018 年 1 月 20 日（土）13：00～14：45
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：27 名
講師：荒井和樹氏
ＮＰＯ法人全国子ども福祉センター　理事長
担当：スタッフ全員
内容：困難を抱える子ども若者と「つながり」をもつには、こちらから出向いていく必要があることなどを自分の体験話を熱く語って頂きました。

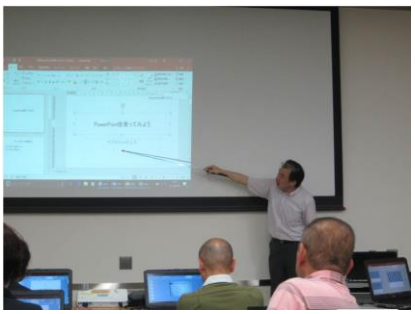
２．スキルアップ講座

（１）第 81 回スキルアップ中級講座
認知症サポーター養成講座
日時：2017 年 5 月 12 日（金）13：30～15：15
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：30 名
講師：キャラバン・メイト（大羽啓允氏）
担当：スタッフ全員
内容：　認知症の方を地域で支え合う社会をめざして、認知症サポーターの勉強会を開催した。

（２）第 82 回スキルアップ初級講座
夏休み護身術講座
日時：2017 年 7 月 28 日（金）13：30～15：00
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：22 名の親子（小学生～大人）
講師：米田　正寛氏
刈谷南道院　道院長
担当：スタッフ全員
内容：少林寺拳法の技で身を守ることと、お互いに支えあって生きていくことの大切さなどボランティアマインドについて学んだ。

（３）第 83 回スキルアップ講座
地元でできる海外支援
日時：2017 年 10 月 1 日（日）～3１日（火）
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：196 組の親子
担当：スタッフ全員
内容：海外支援をしているＮＰＯ団体が取扱っている物品を収集し、ボランティア活動のきっかけを行なった。収集品は、使用済インクカートリッジ、エコキャップ、中古本、プルトップなどであった。

（４）第 84 回スキルアップ講座
市民活動のためのプレゼンスライド作成講座
日時：2017 年 8 月 6 日（日）9:30～11：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：13 名
講師：加藤賀唯氏
ＮＰＯ法人コミニュティサポーターほっぷ
担当：スタッフ全員
内容：助成金取得など団体活動を効果的にアッピールする時のために「パワーポイント」の基本操作の習得を目的に開催した。



（５）第 85 回スキルアップ講座
かりや３．１１を忘れない　まなぼうさい
日時：2018 年 3 月 11 日（日）12:00～14：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター＆大手公園
参加：391 名
担当：スタッフ全員
内容：地元の防災団体 23 団体が出展し、炊出し訓練、感染症対策、地震の震度体験などを行った。
参加者層は、子どもから高齢者、ハンデーを持った人など一般の防災訓練に参加してない地域住民が多かった。

（６）第 86 回スキルアップ講座
かりや３．１１を忘れない　キャンドルナイト
日時：2018 年 3 月 11 日（日）１７:30～19:00
場所：刈谷駅南口　みなくる広場
参加：300 名
担当：スタッフ全員
内容：3.11 を忘れないために、防災グッツの展示、東北の商品物販、東北慰問ボランティアによるステージ及びキャンドルナイトセレモニーを行った。

３．わがまちのつむぎ場９
日時：2017 年 12 月 10（日）13：30～16：00
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：200 名（実行員 9 名、ボランティア 19 名、参加者 172 名）
担当：スタッフ 10 名
内容：事例発表 2 件（小学校、町内会）、1 分間スピーチ、交流会の 3 部構成でおこなった。
ＰＲ出展 37 団体・パフォーマンス８団体は「こんなことができます！こんなことを求めます」というアピールをしてコラボ相手を探し懇親を深めました。

４．　啓発イベント

（１）あったかハートまつりブース出展
日時：2017 年 6 月 4 日（日）10：00～15：30
場所：精成会刈谷病院
参加：450 名
担当：スタッフ 8 名
内容：ブース出展し、センターのＰＲ、かりや夢ファンドの募金、刈谷市のキャラクターかつなりくんの登場などでボランティアの啓発を行った。募金額は 8,344 円でした。

（２）七夕飾り
日時：2017 年 7 月 7 日（金）～８月 6 日（日）
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：80 名
担当：スタッフ全員
内容：センターを知ってもらうために、ロビーに来られた方（親子連れなど）に、入館してもらい短冊に願いを込める七夕飾りを行った。

（３）デンソーグループハートフルまつり出展
日時：2017 年 9 月 24 日（日）10：00～15：30
場所：デンソー本社５号館

参加：300 名の親子
担当：スタッフ全員
内容：センターの活動をＰＲするため、かりや夢ファンドの募金、防災クイズ、バルーンアートのプレゼントなどを行った。
募金額は 3,771 円でした。

（４）ひまわりプロジェクト熊本にも展開

日時：2017 年 4 月 1 日（土）～10 月 21 日(土)
場所：刈谷市内、熊本県内
参加：小袋（10 粒入）１１２０袋、大袋（1,000 粒入）５袋の種を配布、写真展示会には１７団体の出展があった。
担当：スタッフ全員
内容：東日本大震災の翌年から 3.11 を忘れないため、大船渡市のひまわりの種を譲り受け刈谷で咲かせている。今年は熊本の被災地にも展開した。

（５）来館者２０万人達成記念

期日：2017 年 11 月 1 日（水）
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：100 人
担当：スタッフ全員
内容：１１月１日に来館者 20 万人を達成した。記念品は、登録団体（さわやかＡ．Ｋ．ＫＭ）の手づくりバルーンを、前後 100 人の方にプレゼントした。

（６）ハロウィーンイベント

期日：2017 年 10 月 24 日（火）～31 日（火）
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：153 人
担当：スタッフ全員
内容：ロビーに来られた親子にセンターを知ってもらうために入ってもらい、かぼちゃのバスケットとお菓子をプレゼントするとともに、収集ボランティア活動などの説明をした。

（７）ボランティアクイズに挑戦

期日：2017 年 11 月 26 日（日）10：00～16：00
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：50 人
担当：スタッフ全員
内容：社会教育センターの学習発表会に出展参加して、センターを知ってもらうために、センターに入ってもらいクイズに挑戦してもらった。

５． 交流イベント

定住自立圏としてボランティア情報サイト（かりや衣浦つながるネット）を共同で活用している、刈谷市、知立市、高浜市、東浦町の第２回交流会を開催した。

期日：2018 年 3 月 3 日（土）13：30～15：30
場所：知立市中央公民館
参加：地域で活躍している防災ボランティア５団体
　　刈谷市は「刈谷防災ボランティア」と「ラッコちゃん親の会」がブース出展、総勢 100 人が参加した。
担当：スタッフ全員
内容：各センターのスタッフ間及び防災活躍団体のコミニュケーション作りとスキルアップを目的に活動内容の報告会などを行った。

６． 表彰制度に登録団体を推薦

（1）愛知県ボランティア活動功労者表彰受賞

平成 29 年度愛知県ボランティア活動功労者表彰に「依佐美送信所記念館ガイドボランティアの会」を推薦し受賞された。授与式は 9 月 8 日（金）に愛知県本庁舎講堂であった。

Ｖ．まとめ

１．モニタリング評価

平成２８年度から指定管理者のモニタリングを実施。刈谷市民ボランティア活動センターは、８項目のうちＡ評価３項目（適正なサービスの提供・施設の利用状況・自主事業の実施状況）、Ｂ評価５項目（法令等の遵守、施設の維持管理他）であり。３５指定管理者の中、上位クラスであった。

２．アンケート

センター登録２１０団体に対して当センターに関するアンケート調査を実施した。結果４４の要望が寄せられた。情報コーナーのチラシ掲示方法や車座集会での意見交換方法、貸出し備品に対する要望や若者の利用促進など改善推進中。（改善済３９件、次年度に反映３件、市役所へ要望２件他）

３．感謝祭（さくらまつり）の開催

愛知ネットが指定管理者として、先５年継続して管理運営させてもらえる事になり、今までの感謝、今後の意気込みを表し、４月１日～５月３１日の間、感謝祭を開催しました。来館者へのぜんざいの振舞い、キャンデーのサービス、登録団体への大型プリンターのお披露目（半額サービス）など大変好評でした。

４．利用者の利便性向上と情報活用サービス

インターネットでの談話スペース、印刷などの予約が可能になり、また予約が2ヶ月から3ヶ月先まで出来るようになった。更にホームページも見やすく、使いやすくなり利便性が向上した。また FACEBOOK を活用して市民ボランティア活動センターを身近に感じてもらうためのイベント情報等を提供した。

５．数値目標

来館者数は前年比98．7%で少し減少し目標未達成です。今後も啓発イベントなど来館者数の維持向上に努力する。

６．イベントについて

３月開催の「まなぼうさい」では、新たな会場として大手公園や刈谷駅南のみなくる広場を加えて開催。地域の方にもより多く参加してもらうために、地元中学校区内の役員会での説明会や回覧板でのＰＲを実施。来場者へ普段の備えの大切さを伝えることができた。

Ⅵ．今後の課題

１．地域団体との課題解決に向けた協働・連携の在り方

介護、防災、子育てなど多くの町内が抱えている課題があり、解決のために町内会等の地域団体との連携強化を図っていくことが必要。

（１）町内会の役員会での地域課題、問題の情報収集と検討。

（２）福祉連絡協議会の地区会議へ参加し、２０２５年問題に向けた調査と検討。

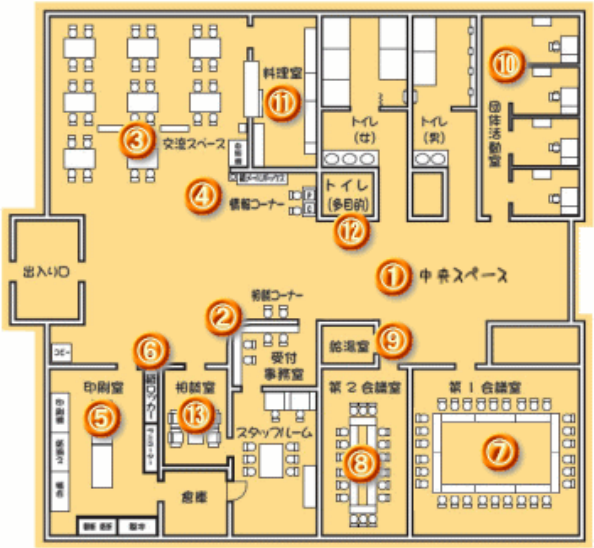
（３）刈谷市協働事例集で自治会活動のコラボ事例紹介と啓発。

●大府市民活動センター【コラビア】

活動報告

センター概　要

場　　所 ： 大府市森岡町４丁目８番地
電　　話 ： 0562-44-8500
ファクス ： 0562-44-8511
E－MAIL ： collabia@ma.medias.ne.jp
U　R　L ： http://www.medias.co.jp/~collabia/
開 館 時 間 ： 9 時～22 時
休　館　日 ： 毎週月曜日、お盆(8 月 13,14,15 日)
年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)
主 な 施 設 ：　　1. 中央ロビースペース
2. 受付・相談窓口(事務室)
3. 交流スペース
4. 情報コーナー
5. 印刷室(作業室)
6. 貸ロッカー(20区分)
7. 第1(大)会議室
8. 第2(小)会議室
9. 給湯室(会議室脇)
10. 団体活動室(4区画)
11. 料理室(ワンデイシェフ用)
12. 多目的トイレ
13. 相談室



1.中央ロビースペース:エントランスから見渡すことのできる、広々としたスペースです。絵画や写真などの作品を展示したり、ちょっとしたおしゃべりや談話スペースとしても利用できます。

2. 受付・相談窓口:コラビア・スタッフ2名が常駐します。

3. 交流スペース:だれでも自由に利用できるスペースです。昼間は「こらび庵」がオープンします。

4. 情報コーナー:中央ロビーを挟んで、受付・相談窓口の向かい側にある情報コーナーです。インターネット接続できるパソコンが１台あって、予約なしにご利用できます。

5. 印刷室(作業室):印刷室には、印刷機、紙そろえ機、裁断機、帳合機、紙折り機、製本機、およびA1サイカラープリンター(長尺印刷化)などがそろっています。印刷機は3色刷の最新鋭機です。

6. 貸ロッカー:各団体さんの持ち物(用紙、筆記用具など)を保管することができます。20区分あります。

7. 第1(大)会議室:机が10脚、イスが30脚、ホワイトボードを備えています。会議室にもインターネットへの接続口があり、どこからでもインターネットに接続できる環境が整っています。

8. 第2(小)会議室:机が6脚、イスが18脚、ホワイトボードを備えています。

9. 給湯室(会議室脇):会議室をご利用の際に必要な給湯室です。

10. 団体活動室(インキュベート・オフィス):活動を始めたばかりの団体さんに事務所の機能を提供します。パーテーションで区切られたスペースが4区画あり、机、イスとキャビネットに、インターネットの接続口と電話の接続

口があります。4区画あります。
11. 料理室:ワンデイシェフのための専用料理室です。コンロが2か所、シンクが2か所あり、いろいろな食器が30人分揃っています。数人が一度に料理することができます。
12. 多目的トイレ:電動車イスでも十分に回転できるスペースを確保した、バリアフリーデザインのトイレです。
13. 相談室:市民活動、ボランティア活動に関する相談業務に利用します。通常は貸し出しをしておりません。
14. スタッフルーム:スタッフのための事務・作業室です。ミーティングをしたり、食事をしたりすることもできます。

料 金 設 定:

使用料区分	単位	金額	利用料区分	単位	金額
第1(大)会議室	1時間	110円	白黒コピー	1枚	10円
第2(小)会議室	1時間	50円	カラーコピー(A3等)	1枚	※
団体活動室1区画	1か月	11, 300円	インクジェットプリンター	1枚	※
※団体発足後、3年以内まで		5, 650円	印刷機(マスター代)	1製版	50円
ロッカー1区分	1か月	220円	印刷機(インキ代)	1枚・色	1円

※使用料は大府市に直接納付する。利用料は指定管理者が受け取る。
※ご利用できる設備および利用料金の詳細については、スタッフまでお問い合わせください。

Ⅰ.センターの役割と任務

１. 委託業務名・目的

(1)業 務 名 : 大府市民活動センター指定管理業務

(2)事 業 の 目 的 : 大府市協働のまちづくり推進条例に基づき、市民活動の健全な発展を図る

※市民活動とは、市民等が自主的に参加して自発的に行う地域社会に貢献する活動をいう。

(3)実 施 期 間 : 平成29年4月1日～平成31年3月31日 までの3年間

2. 大府市民活動センターの業務内容

(1)市民活動の創出、拡大、継続のための研修及び学習の機会の提供

(2)市民活動に関する相談及び援助に関すること。

(3)市民活動に関する情報の収集及び提供に関すること。
①施設内における展示等による情報提供の企画・運営
②センターホームページの維持・更新
③情報誌の企画及び発行(隔月 1 回程度)
④メールマガジンの企画及び発信(月 1 回程度)
⑤各種資料・図書等の収集及び整理並びに掲示、配架
(4)市民及び市民団体等の相互交流事業の企画・運営
(5)コラビア(大府市民活動センター)まつり事業の実施

(6)大府市主催事業(講座、セミナー、講演会等)の申込受付関連業務の実施
(7)ワンデイシェフ方式による喫茶・飲食の提供
(8)施設の利用許可等に関すること。
①センターの利用登録及び施設(印刷室・会議室・ロッカー・メールボックス)の貸出し。
②使用料の収受(日々集計、市への報告、市指定口座への入金業務)に関すること。
③施設及び設備の維持管理に関する業務の適正な維持管理にあたっては、常に良好な状態を保つように努めること。
1)管理運営業務の対象となる施設の維持管理
2)機械設備等の保守管理
(冷暖房機器保守管理、自動ドア保守管理、セキュリティシステム、建物・設備保守管理)
④施設の清掃に関すること。
快適な環境を保つために、施設の清掃及び鍵の管理の日常の維持管理を行うこと。
⑤夜間・休業日における警備を行うこと。
随時施設内外を巡回し安全の確保を図ること。閉館時については、機械警備を行うこと。
⑥駐車場の管理(利用者への案内・整理等の実施)に関すること。
⑦センターの利用実績及び業務実施状況報告書の作成
⑧その他
1)緊急時対策・防災対策・防犯対策について、マニュアルを作成し職員の指導を行うこと。
2)衛生管理については、法令を遵守した対応マニュアルを作成し、職員の指導を行うこと。
3)個人情報保護については、大府市個人情報保護条例を遵守するとともに、職員に徹底を図ること。
4)大府市環境方針に従うこと。
5)その他、センター及び設備の管理に必要と認められる業務。

Ⅱ. 事業実施計画

１. 狙　い

市民活動団体からの相談に対応し、団体相互の連携・協働に寄与し、信頼されるセンターを目指す。

２. 目　標

(1)相談件数　300件以上 (H28年度相談件数468件)
(2)マッチング件数　24件以上 (H28年度マッチング件数22件)
(3)調理室、団体交流会、コラビアまつり新規参団体数　18団体
(3)NPO新規認証団体数　1団体以上(H28年度2件)
参考:来館者数　27,500人以上(H28年度27,119人)

３. 重点施策

(1)相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う
(2)団体の活動が充実・活性化するために、企業、行政、他団体との連携・協働を計り
特に地縁団体との連携を密にして市民団体との連携を促す
(3)団体の活動を充実・活性化するために、ファンドレイジングへの理解を深め、継続的に活動を
展開できる資金の調達を促す。

Ⅲ.各四半期毎の目標と実績

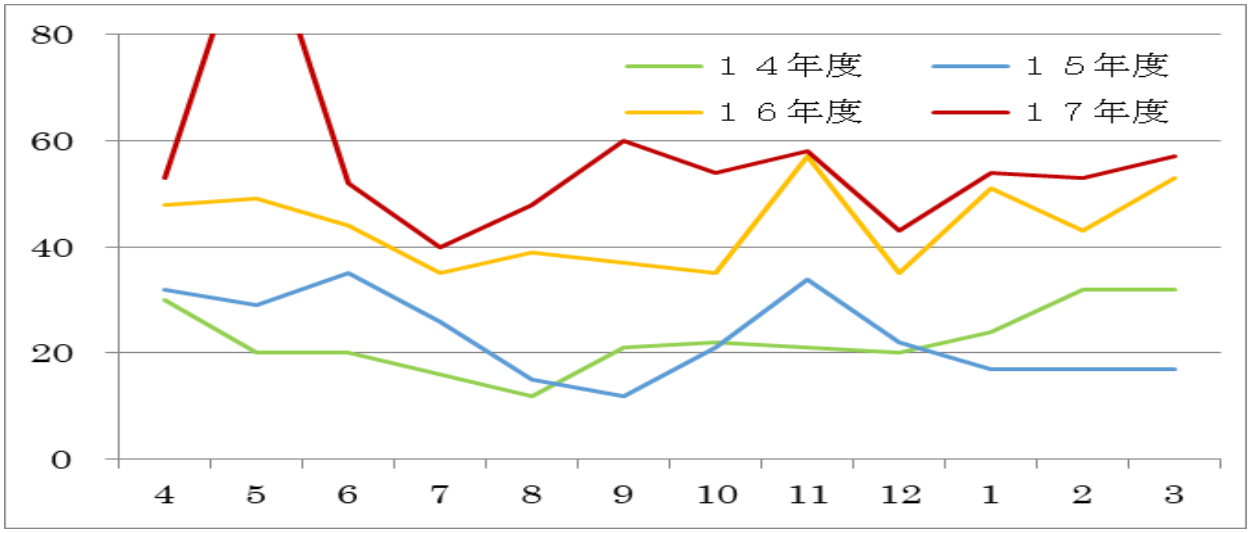
■大府市民活動センターコラビアの稼働実績

	目　標	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
相談件数	300件	184件	134件	134件	142件	594件
マッチング件数	24件	11件	7件	11件	7件	36件
新規認証団体数	1団体	0 団体	0団体	0団体	1団体	1団体
団体登録	360団体	335団体	340団体	338団体	350団体	350団体
個人登録会員	75人	16人	13人	9人	8人	46人

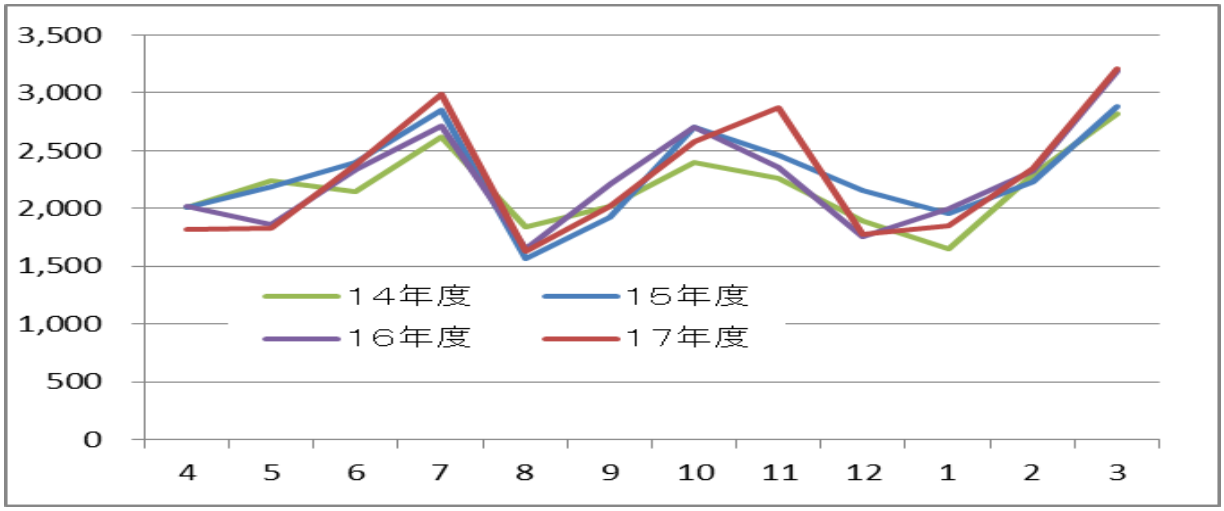
■相談組数　　■来館者数

月度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度
4	18	30	29	45	47	1,629	2,013	2,004	2,021	1,821
5	11	17	28	41	89	1,658	2,239	2,192	1,861	1,826
6	21	24	33	41	48	1,852	2,142	2,394	2,334	2,383
7	15	12	24	31	35	1,928	2,612	2,850	2,720	2,990
8	8	15	15	35	44	1,821	1,837	1,562	1,650	1,632
9	10	18	11	33	55	1,710	2,021	1,929	2,206	2,023
10	17	17	17	30	44	2,013	2,394	2,708	2,705	2,576
11	11	19	33	43	50	2,019	2,261	2,462	2,357	2,878
12	17	13	21	31	40	1,724	1,890	2,157	1,752	1,772
1	42	22	14	50	43	1,828	1,655	1,958	1,999	1,851
2	13	23	29	39	47	2,098	2,289	2,235	2,324	2,344
3	10	20	21	49	52	3,183	2,885	2,879	3,190	3,213
合計	193	230	275	468	594	23,463	26,247	27,330	27,119	27,309
					127%					101%

■相談件数の推移（2014、2015、2016年度との比較）



■来館者数の推移（2014、2015、2016年度との比較）



■実施したイベント

(1)　スキルアップ講座　(6講座)

１．支援サイトで情報発信　～大府市民活動サイト～

日時：2017 年 4 月 14 日（金）13：30～15：30
参加者：4 名
講師：大澤　里美さん（コラビアスタッフ）

17 年度　第 1 回スキルアップ講座が開催されました。日頃の活動を情報発信することで興味のある方の目に触れ、新メンバーが入会される事やまた活動報告を続けていくと自分達の活動の振り返りができる事などを丁寧に説明してもらいました。持参して頂いたパソコンで「大府市民活動支援サイト」をわかりやすく操作してもらい、参加者の方からは「今までわからず放置していたが、とても分かりやすくできました」とのお声を頂きました。

２．お金の管理を任されたあなたへ
「基礎を押さえて会計管理」

日時：2017 年 6 月 10 日(土)10：00～12：00
参加者：１６名
講師：田中　肇さん
（中小企業診断士・ＭＢＡ(経営学修士)）

基礎の基礎を中心にお話をしていただきました。わかりやすい表現で一つ一つ説明していただき、ベテランが大きなミスをする時は、この「基礎」が抜ける時だそうです。活動決算書などを見ながら数字の動きも確認し、ミスが多い場所などのポイントも教えてもらいました。参加者の方からの質問もいっぱいあり、具体的にお話をしていただきました。講師が話した内容がテキストとして配布され、後から見返しても理解できるようにと配慮された講座でした。

３．「みんなで助け合うための地域づくり」
日時：2017 年 9 月 28 日（木）13：30～15：30
講師：愛知ネット　　内藤　瑶さん
参加者：32 名
毎年防災スキルアップ講座を開催致しました。自治区・コミュニティ・一般の方々が地域ごとに分かれ、これまでの活動と課題を共有し地域の良いところを考え問題点などを話し合いました。
又講座の中で他市町の事例紹介が有り、地域に持ち帰り参考にしたいとの意見を頂きました。自分の身を、自分でまもる為の具体的な動きを考えて動き、地域のみんなで知る・考える・話し合う・対策する、を繰り返して行う事が大切だとお聞きしました。この講座を通して地域防災を考えるきっかけになれば幸いです。

４．「学んで活かそう！傾聴スキル」聴けていますか
日時：2017 年 12 月 2 日（土）10：00～12：00
場所：コラビア会議室
参加者：32 名

講師にブライトハートの渡辺愛理さんを迎え、傾聴スキル講座を開催しました。32 名の参加者が熱心に先生の話に耳を傾けました。傾聴による効果や実践を交えての分かりやすい講義に 2 時間があっという間に過ぎてしまいました。参加者からは、今日学んだことを活かしたい、もっと勉強したいなどの感想がありました。皆さんが色々な場面で傾聴スキルを活かされることを願っています！

５．「一から教わる、チラシ作り」
日時：2018 年 1 月 27 日（土）10：00～12：00
参加者：24 名
講師：広告デザイン会社「ENGAWA」竹田隆憲さん、竹田未知留さん
チラシ作りのポイントについて、2 時間たくさんのことを教えていただきました。プロジェクターに映し出されたスライドの数、なんと約 290 枚！参加者のみなさんとても熱心にメモを取っていました。
構成や考え方、キャッチコピーの付け方などの話を聞き、私が特に印象に残ったことは「チラシを作る事をゴールにしてませんか？」「楽しく作らないと読者も楽しくない」「タイトルよりもキャッチコピー（メッセージ）が重要」「そういえばそうだな、という言葉をキャッチコピーにする」です。
どうすれば読んでもらうことのできるチラシを作る事ができるか。今回の講座はそのヒントがいっぱいでした！学んだことを意識して、そして楽しみながらチラシを作ろうと思います。

６．大府市協働企画提案事業交付金制度

日時：2018 年 3 月 17 日（土）13：00～15：00
参加者：7 団体　10 名
講師：大府市役所　市民協働部　協働推進生涯学習課係長　坂野嘉昭さん
今年も助成金についての講座を開催いたしました！
最初は協働企画提案事業交付金の応募要項についての説明があり、申請における注意点や審査のポイントとなる部分のアドバイス等がありました。
後半は団体の活動理念における「目的」と「目標」の違いの話と団体ごとの 1 分間のプレゼン発表がありました。「団体としての目的を考え直す機会になってよかった」「個人としての目的を言葉にできてうれしかった」と参加者からの声も頂き、講座終了後も参加者同士でプチ交流会が行われ和やかな講座でした！

（２）　車座集会　　（５講座）

１．「わいわいトーク」

日時:2017 年 5 月 15 日(土)13：00～15：00
参加者:14 名（コラビアスタッフ 4 名含む）
開館以来初めての試みとなるコラビア座談会を「わいわいトーク」と名付けて実施しました。
登録団体の皆様 8 名、市役所協働推進生涯学習課職員 2 名、コラビアスタッフ 4 名の計 14 名での開催です。
まずはコラビアのこれまでの歩みを簡単に報告した後、今年度からの指定管理第 3 期では、どのような取り組みを重点的に行っていく予定かお話させて頂きました。その後は、フリートークで公民館とコラビアの違いや、活動における情報発信の難しさ、コラビアに対する意見や想いなどを自由に意見交換しました。

２．「農でつなぐ人と人」

日時:2017 年 6 月 4 日（日）9:30～11:30
参加者:24 名
ゲストスピーカー：深谷　泰造さん
半世紀に渡り農協マンとして農を通して人と人をつなぎ地域づくりに尽力された深谷さんをお迎えして、魅力あふれるまちづくりについて一緒に考えてみました。地産地消、農協事業の見直しとして”げんきの郷”を立ち上げたこと、農の楽しさと土に親しむことの大切さ、また、自然の恩恵などについて、お話していただきました。参加者は、農の体験のない人から専業農家まで幅広い人たちが集まり、子どもに農体験をさせたい、化学肥料を使わずにどのようにして土をつくればよいか、次世代につなげる楽しい農を考えたい、農を通じて仲間づくりが出来そう、農や食についてもう一度しっかり考えてみたいなど、農を前向きにとらえる声が多く聞かれました。

３．「大府でもママフェスがあったらいいな！」

日時：2017 年 6 月 23 日(金)13：30～15：30
参加者：19 名
ゲストスピーカー：櫻井雅美さん
(NPO 法人 SMAILY DREAM 理事長)
武豊で「MAMA ふぇすた」を長きにわたり開催している櫻井さんから、成り立ちや想いなどを話していただき、「たくさんのチャレンジと出会い、そして仲間がいれば私が私らしくいられる！」という言葉をいただきました。集客が目的ではなく、そのイベントの前後の繋がりも大事であることでした。後半は、参加者の皆さんから大府でもママフェスを開催をするとしたらと、具体的にイメージを膨らませて意見を出し合ったところ、いろいろ想いが伝わってきました。開催に向けてスタートしそうです♪

４．誰でも気軽に始められる【整膚】を広めたくて

日時：８月５日（土）１０：００～１２：００
参加者：２２名　ゲストスピーカー：川北美枝子さん
（人間環境大学看護学部）
皮膚を引っ張る健康法「整膚」のお話をしていただきました。整膚に出会ったきっかけや、自分自身の体験など事例を聞きました。実際に引っ張り方の基本を学びチャレンジします。整膚健康法は、誰でも、上手下手関係なく始められるそうです。質問もいっぱりあり、楽しくて笑いがある車座集会でした！

５．「コラビア発　ベトナム　フエ・ハノイ行き！」

日時：2017 年 7 月 23 日（日）11：30～14：00
参加者：33 名
ゲストスピーカー：地域多文化ネット「ＷＫＹ」
北井康弘さん　チャン・ティ・チンさん
ゲストスピーカーの他に７名のベトナム人が参加して下さいました。各テーブルに２名のベトナム人が入り様々な交流をしました。始めにベトナムの基礎知識をビデオを見て学びました。次はベトナム人が先生になり簡単なベトナム語を学び、ロールプレイで昼食の注文をしました。昼食はお米で作った麺「ブン」とベトナム風ぜんざい「チェー」です。そして心地良い音色のベトナム笛の演奏や女性４人による踊りの披露がありました。その後、テーブルごとに、ベトナムの暮らしについて様々な質問が飛び交いました。

（3） コラビアイベント （１４件）

１.「作って楽しい、見て楽しい庭作り」
日時:2017 年 4 月 23 日(日)13：30～16：00
参加者：８名

オープンガーデン知多半島おしゃれ園芸クラブのみなさんと、イケてるおやじ道場の３名の卒業生のみなさんで、コラビアに巨大鳥かごを作りました。コラビアにいらっしゃったみなさんに楽しんで頂けるよう、果物のなる木も寄付いただきました。さて、なんの実がなるかな？今後も定期的に手を入れて行かれるそうなので、期待してください。
まずは、一度近くで見てください。ああしたら、いやこうしたら、と楽しみながら組み立てた様子もご想像頂けると思います！

２.「こらび庵」シェフ衛生講習及び避難訓練、消火訓練、交流会を開催
日時：2017 年 6 月 19 日（月）10：00～12：00
参加者：36 名
講師：愛知県知多保健所　大参様　大府消防署

日頃こらび庵ワンデイシェフで活動してている 19 団体のシェフさんに集まって頂き、愛知県知多保健所さんから食中毒発生状況や病因物質別発生状況など分かりやすくお話しして頂きました。日頃みなさん心がけていますが、講習を受けあらためて衛生管理の再確認ができました。
今年は新しい登録シェフさんがたくさんおみえになったので、新シェフさんを中心に避難訓練・水消火器訓練を実施しました。消火器を一度も体験したことのない方もいてとても参考になったとのお声を頂きました。

３．エンジョイ！コラビア　２０１７

開催期間：7/20(水)～7/31(日)　　参加者総計　１０２５名
7/20(木)「和みパフェを作って食べよう！」ﾌｪﾘｰﾁｪ　34 名
「ちょっと変わったｽﾗｲﾑ作り」あそびの一歩 20 名
7/21(金)「おおぶ歴史道場へようこそ」　大府学研究会 27 名
「北海道赤飯で和菓子を作ろう！」梅ちゃん亭　20 名
「0 歳～絵具遊び魚は何色！？」わくわく 5ART　16 名
7/22(土)「コラビア朝市」　コラビア　120 名
「チヂミを作ろう」　キャロット　27 名
「韓国風のり巻きランチ」　キャロット　40 名

7/23(日)　「卵・乳不使用ケーキミックス作り」　TAMS　3 名
「夏休み!!プラ板昆虫採集!!」NPO 法人 TRILL　25 名
「流しそーめん食べ放題」大府めん'S ｸﾗﾌﾞ　130 名
「コラビア発ベトナムフエ・ハノイ行き」WKY　33 名
7/25(火)「アートフラワーリース作り」SYMPATHIE　CLUB22 名
「夏野菜と果物のランチを作ろう」
おおぶ野菜ｿﾑﾘｴﾍﾞｼﾞﾎﾟｯｸﾙ　18 名
「自分で作れちゃうアロマボスボム」香油　41 名
7/26(水)「自分で手作りおにぎらずﾗﾝﾁ」ﾊﾟｯﾁﾜｰｸ&ﾅﾁｭﾗﾙ 32 名
「廃油でせっけんを作ろう」
大府市生活排水ｸﾘｰﾝ推進委員　39 名

「バランスよい食事で夏バテ解消！」
大府市地域婦人団体連絡協議会菜の花ｸﾗﾌﾞ 60 名
「デコカップケーキを作ろう」まめっこくらぶ 32 名
「アメリカンランチ」　ｷｬﾝﾃﾞｨｰｽﾞ　30 名
「親子そば打ち体験」　大府めん'S ｸﾗﾌﾞ　22 名
「お菓子の家を作ろう！」　食人　174 名
「スマイルポリ袋クッキング」
あいち健康ｽﾎﾟｰﾂ応援団 12 名
「風船で陽気なタコを作りましょう！」
NPO 法人わかち・つむぎあい 46 名

４．　心肺蘇生・ＡＥＤと避難訓練

日時：2017 年 9 月 6 日（水）15：30～16：45
講師：大府市消防署
参加者：スタッフ８名、来館者４名

毎年行っている AED 講習と避難訓練。なんとなくぼんやりと覚えていても、細かいところを忘れてしまいます。今年もしっかりと教えていただきました。
救急車が来るまで、大府は８分ほど、その間、心肺蘇生をしているのには結構な体力が必要で、交代しながらでないと難しいです。ぜひみなさんにも覚えていただきたいです。ちなみに、コラビアの近くには、森岡公民館、セブンイレブン、産婦人科医院などにも AED が置いてあります。
避難訓練では今年はけが人が発生した状況を想定して実施。
地震発生時の声掛け、けが人を運ぶ、１１９番通報など。

５．　第 35 回　大府市福祉・健康フェア

日時：2017 年 9 月 24 日　9：30～15：00
場所：石ヶ瀬会館周辺

気持ちの良い晴天に恵まれ、たくさんの来場者で賑わいました。コラビアは２Ｆにブースを構え、約８０人の方に防災工作（新聞紙スリッパ）や防災クイズに参加して頂きました。こらび庵のメニュー表なども配布させて頂きました。「コラビアでランチが食べられるんだぁ」と始めて知る方もいらっしゃいました。このような機会にコラビアに興味をもち、来館するきっかけになってくれたら嬉しいです。

６．第 46 回森岡公民館まつり参加

日時：10 月 14（土）10：00～15：00
　　10 月 15（日）9：30～14：00
　場所：森岡公民館・コラビア

駐車場では、石ヶ瀬児童老人福祉センターの皆さんが竹馬や缶ぽっくりコーナーで子供たちが上手に乗って楽しんでいました。館内会議室では、大府学研究会が森岡の歴史を分かりやすくクイズ方式で説明し、正解者の皆さんにオリジナル缶バッジをプレゼントされていました。館内中央スペースでは、森岡長生会の皆さんがフロッカーを教えて頂き、思った所になかなか当てられず難しそうでした。料理室は、14 日土曜日は、BLOSSOM がシフォンケーキ、シュークリームなどを前日から準備しカフェコーナーをオープン 15 日日曜日は､いろは&ときどきが　パン、ホットケーキ、スコーンなどを作ってくれました。

７．　コラビア交流会２０１７　開催

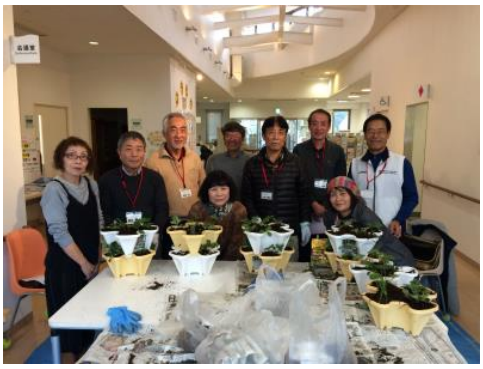
日時：2017 年 11 月 11 日（土）第一部：10：30～13：00、
第二部：13：00～15：00
会場：大府市役所多目的ホール参　加団体：43 団体 104 名

今年で 9 回目となるコラビア交流会。登録団体だけでなく、行政や企業、市民の皆様にも参加して頂けるようコラビアを飛び出して大府市役所で開催しました。広い会場にコラビアを含めて 44 団体のブースが並びました。

会場以外にもたくさんの新しい試みをしました。二部制にしたこと、また統一の PR パネルで市民活動展のようにしたこと、いいねカードを貼ってもらうこと、スタンプラリーや抽選会、無料体験ブース（企業）やワンデイシェフさんに作っていただいたお菓子が並んだ無料カフェコーナー、マッチングしたことを書いてもらうマッチングの種カードなど初めてづくしでした。

午前中は、出展団体同士の交流を目的として、レクリエーションを行いました。写真を見返しても、参加者の方が笑顔なのが印象的です。午後からは一般来場開始です。どのくらい来てもらえるかドキドキしていましたが、市民活動に興味のある方や家族連れで遊びにきてくれた方、議員さん・自治区長さん・公民館館長さん方にも来ていただき、予想以上に多くの方にご来場いただき、出展団体のみなさんと交流していただけたようです。

８．　大人の学び舎「おやじ流ガーデニングのいろは」
日時：11 月 18 日(土)13:30～16:00
場所：コラビア
参加者：５名
講師：おしゃれ園芸クラブ　戸田さん他３名



今回は”コンパニオンプランツ”に挑戦です。
いちごの苗に虫が寄り付かないように、ニンニクと分葱を組み合わせてプランターに植えました。
参加者は、来春には実るであろう苺で、お孫さんや奥さんの喜ぶ姿を思い浮かべながら熱心に、また愛情をこめて植え付けていました。
最後に、今後の水やりや肥料の与え方、プランターの設置場所、などを教わってから、にこやかな笑顔で家路に向かいました。

９．こども料理コンクール」（ビストロおぶちゃん）
日時：11 月 19 日（日）10：00～12：30
場所：共和西小学校
テーマ：「私のナンバーワン朝ベジ料理」

応募総数 701 作品の中から一次審査を通過した 8 組が共和西小学校で二次審査に挑みました。
見事、グランプリを受賞したのは石ヶ瀬小学校 6 年生と 4 年生の武田良太さんと雄太さんの兄弟。メニューは「アツアツ野菜たっぷり茶碗蒸し」でした。こちらは、こらび庵のランチメニューとなるこらび庵賞とのダブル受賞となりました。もう一組のこらび庵賞は東山小学校 6 年の滝本藍士さんと、紀夫さん(お父様)。メニューは「野菜のひつまぶし」でした。今回のこらび庵賞のメニューをコラビアで食べられる日をお知らせします。数に限りがありますので、ご予約を頂けたらと思います。
H30 年 1 月 27 日「野菜のひつまぶし」シェフ：ベジポックル 2 月 3 日「アツアツ野菜たっぷり茶碗蒸し」シェフ：食人

１０．大人の学び舎「おやじ流ガーデニングのいろは」
日時：2017 年 12 月 2 日（土）13:30～16:00
場所：コラビア第二会議室
参加者：５名
講師：おしゃれ園芸クラブ　戸田さん他

今回は、小盆栽づくりに挑戦しました。おしゃれ園芸クラブで用意して頂いた植木材（松、南天、苔など）を参加者が自分の好みに従って選び出し小鉢に植えました。参加者は初めて盆栽に触れる人からベテランまで、作品もプロ好みのものから奇抜なものまで多様なものになりました。それでも参加者からは、盆栽づくりが楽しめた上にお正月の飾りもできて良かったとの声が聞こえてきました。材料の調達から実践指導まで楽しく進めて頂いた”おしゃれ園芸クラブの皆さん”に心から感謝いたします。

１１．来館者２０万人達成セレモニー
日時：2018 年 2 月 23 日（金）9：30～10：00
場所：コラビア中央ホール

大府市民活動支援センター【コラビア】は、２００９年４月にオープンし、その年の９月に「こらび庵」もオープンしました。多くの市民の皆さんに、コラビアの会議室や印刷室、こらび庵をご利用頂いた結果、本日来館者数２０万人に達しました。
記念すべき２０万人目に来館されたのは、ANGELSMILE の代表、竹内さん。ベビーヨガや産後ヨガを通じて、親子のキズナを深めながら、ママが気楽に集まれ、交流もできる場を作る活動をされています。記念品として、焼き菓子、こらび庵ペアランチ券、花束が市役所市民協働部の丸山部長より贈呈されました。
また、前後賞のこらび庵ペアランチ券は東浦町の菅原さん、森岡町の鈴木さんに贈呈させて頂きました。

１２．コラビアまつり全体会議（説明会）
日時：2018 年 2 月 24 日（土）10：00～12：00
場所：会議室

第 9 回コラビアまつり（2018 年 3 月 4 日 10：00～15：00 開催）に向けて、全体会議を行いました。
39 団体が参加予定で過去最高の団体数です♪そこで、今年はおとなりの森岡公民館にもご協力いただき、会場を拡大して開催します。会場レイアウトも含め、準備段階からの流れを一通り確認しました。今年のまつりのテーマは「深めよう！つなぎ・つながる・みんなの手」です。まつりを通して市民と団体、団体同士の関係がより深まることを願って、スタッフもはりきっていますよ！

１３．第９回コラビアまつり開催
日時：2018 年 3 月 4 日（日）10：00～15：00
来場者：約 1000 名
参加団体：39 団体
参加ボランティア：76 名（豊田自動織機 15 名、学生 21 名、一般 10 名、北辰会館 30 名）

今年も第 9 回コラビアまつりが盛大に行われました！参加団体も来場者も過去最大規模です。開催会場もお隣の森岡公民館をお借りして 2 会場で行いました。コラビアまつりの特徴の一つ、ファンドレイジングイベントへの参加者ももちろん過去最高！とても盛り上がった、まつりでした。お天気にも恵まれたのはきっと皆さんのまつりに対する熱い想いが届いたからですね。「深めよう！つなぎ・つながる・みんなの手」が今年のテーマでしたが、どうでしたでしょうか。皆さん、お疲れ様でした！そして、ありがとうございました。まつりを通した出会いが市民活動の活性化に結びついていくことをスタッフ一同祈っています。

１４．第６回「心ひとつに　3.11」開催

日時：2018 年 3 月 10 日（土）
コラビア会場：11 時～15 時　来場者 300 名
新池会場：17 時半～19 時　来場者 240 名
主催：3.11 を忘れない大府実行委員会・
おおぶ文化交流の杜図書館

東日本大震災から 7 年目を迎えました。6 回目となる心ひとつに 3.11 のイベントは晴天にも恵まれ無事に終える事が出来ました。
お昼のコラビア会場では東北物産市、東北の食、キャンドルランタン作り、被災地の現在のパネル展示等を行い、キッチンカーでは絶品生ワカメうどん、これまた絶品の牛タンつくねの販売をしました。会議室では午後 1 時から被災地ボランティアの犬飼麻子さん、HIROMI さん、アイチカラさんによる被災地の現状や活動報告、そして今後の対策等についてリレートークを行いました。
午後 5 時からは新池で追悼式典が行われました。今年の灯火文字は「忘れないよ 3.11　一緒に進もう大府！」とてもキレイでした。追悼式典後は参加者一同ポケットパークに移動して、キャンドルランタンを手に持ち HIROMI さんによる生演奏を聞きました。生演奏後はみんなで「花は咲く」を合唱しました。
去年は風が強くたいへんでしたが、今年は風も少なく過ごしやすかったです。コラビア会場、新池会場合わせて 540 名の参加者が集まりたいへん賑わいました！
このイベントを、もっと多くの大府市民に知ってもらえるよう来年も頑張りたいと思います。

Ⅳ．まとめ

●年間を通して

指定管理者として3期目（平成29年度～31 年度）の 1 年目、コラビア設立以来 9 年目を迎えスタッフも新たな気持ちで 1 年間取り組んできました。コラビア 3 大イベントのエンジョイコラビア、ラビア交流会、コラビアまつりは、それぞれ過去最高の参加団体で盛況で終える事が出来ました。特に今年からコラビアまつりの会場を隣の森岡公民館さんもお借りして 2 会場に広げ開催し岡村市長さん、宮嶋教育長さんなどをはじめ1,000名を超す市民の方々に来場して頂きました。年間の重点的な施策として自治区とのコミュニケーションの強化も市役所市民協働部とも協力して歩ずつ進めて来ました。

また来館者数は、一昨年まで2回/月利用して頂いていた「キッズ体操クラブ」を営利団体認定での登録抹消(年間延べ400人利用)や、他の施設へ活動を移動などにより、来館者数は、27,309 名と対前年度伸び率は、101％、目標達成率99．3％とわずかに及びませんでした。

来館者数も10年目を迎え、頭打ちになってきていますが、来年度27,800人の目標に掲げ、1件1件のイベント開催に際し目標参加人数を精査して目標達成に向けて取り組んでいきます。

●碧南市市民活動センター【サポプラ】

あいくるまつり(7/2)　運営ボランティア

センター概 要

場　　所 ： 碧南市山神町 8 丁目 35 番地
　　へきなん福祉センターあいくる内
電　　話 ： 0566－42－6561
ファクス ： 0566－42－6571
E－mail:　info@hekinan-plaza.jp
ホームページ:http://hekinan-plaza.jp
開 館 時 間　火～土曜日　9時～21時
日曜日・休日 9時～17時
休 館 日 :毎週月曜日、
年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
主な施設 :ミーティングコーナー、おしゃべりコーナー、情報コーナー、印刷室

Ⅰ.センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業 務 名 ： 碧南市市民活動センター指定管理業務
(2)事業の目的:利用者をはじめとした市民ニーズの把握及びこれを十分に反映した運営・支援を実現し、市民に必要な情報提供等を行うことで、市民活動センターが市民活動、ボランティア活動、町内会活動等(以下「市民活動等」という。)を支援することを目的とする。
(3)実 施 期 間 :平成 29 年4月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
(受託期間:平成 31 年 3 月 31 日まで)

2. 碧南市市民活動センターの主要事業

⑴市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談
⑵市民活動等及び活動資金に関する助言
⑶市民活動等に関する研修会及び講座の実施
⑷市民活動等に関する活動場所及び設備の提供
⑸市民活動等を担う人材の育成
⑹市民活動等を行う市民相互の連携及び交流の促進
⑺災害時のボランティアセンター設置時における社会福祉協議会との連携および運営支援
⑻⑴から⑺に掲げるもののほか、市民活動等の推進に必要と認める支援等

Ⅱ．目標・重点施策と実績

■ねらい・目標・重点施策

ねらい
市民活動団体・個人からの相談に対応し、相互の連携・協働に寄与し、市民から信頼される。

目　標
(1)相談件数　　490件以上
(2)マッチング件数　　140件以上
※H28年度実績の5％増を目標とする

重点施策
(1)相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う
(2)団体・個人のスキル向上を積極的に支援する
(3)企業、行政、自治会、他団体との連携・協働を促す

■実績

項目	利用者合計	相談件数	マッチング件数	Met利用件数	印刷室利用件数	登録団体数
１７年度　実績値	**9,708**	**409**	**155**	**532**	**134**	**28**
16 年度　実績値	10, 068	470	131	455	99	206
15 年度　実績値	9, 271	506	148	365	109	182
14 年度　実績値	6, 777	477	140	294	135	160
13 年度　実績値	4, 896	285	116	511	125	119

※16 年度の利用者合計欄では、7 月 3 日のあいくるまつりの来場者：3,500 名を差し引いて表示してあります。

※15 年度の利用者合計欄では、6 月 28 日のあいくるまつり：3,000 名と 10 月 25 日のハロウィーンウォーク：800 名と 3.11 を忘れない＠へきなん：680 名を差し引いて表示してあります。

※14 年度の利用者合計欄では、4 月オープンデイ：360 名、6 月あいくるまつり：3,000 名、10 月ハロウィーン：856 名、3 月３．１１を忘れない＠へきなん：490 名を差し引いて表示してあります。

Ⅲ．実施したイベント

■車座集会

1．へきなん市内見どころ探訪ツアー

日　時:2017 年 5 月 8 日(月)9:30-15:00
場　所:碧南市内を巡回するバスツアー
講　師:大浜てらまち案内人の会　平野敏子氏
参加者:28 名

概　要:汗ばむくらいの晴天に恵まれ、第 2 回へきなん探訪ツアーが行われました。今年のへきなん探訪は、いつも何気なく見ているまちの随所に設置されている彫刻たちに注目しました。バラ園の鑑賞、レールパークの散策、そして市内に点在する彫刻「わらべの詩」「夏引」「碧と風の輪」など 10 か所を巡りました。その後、鷲塚のお寺を巡りました。参加したみなさんは、「地域のことはわかっているつもりだったが、こんな名所があることに驚いた。」「碧南の歴史に触れられてよかった」とおっしゃっていました。

2．多様なニーズに対応できる避難所をつくろう

日　時:2017 年 9 月 23 日(土)13:30-15:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:社会福祉法人 AJU 自立の家
わだちコンピュータハウス所長　水谷　真氏
参加者:28 名

概　要:大規模災害では、多くの人が被災者となります。様々な理由で避難所へ人が集まってきますが、避難所の収容率は約 1 割と言われています。講師の水谷さんから、東日本大震災での事例を中心に、障害をお持ちの方、またそのご家族がどんな状況になっていたかをお伺いしました。
このお話は、私たちの想像を絶するものでした。「インクルーシブ」「合理的配慮」「地域の助け合い」について、考えさせられた貴重な時間でした。

3．身近な防犯対策　わが家を守ろう！

日　時:2017 年 12 月 9 日(土)13:30-15:00
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:一般社団法人日本防犯住宅協会　柴山明輝氏
参加者:22 名

概　要:講師にお招きした柴山氏は 3 度の侵入被害に遭った事がきっかけで、侵入対策を研究。警備会社の社長宅・警察官の自宅の防犯対策や・住宅会社へのコンサルティングやセミナーを行う「防犯住宅のスペシャリスト」です。侵入されない、させないための基本的な内容を、事例を交えてお話しされました。少し工夫や気配りをするだけで、侵入が防げる事を学びました。

4. 継続できる団体活動の作り方
日　時:2018 年 1 月 27 日(土)13:30-15:00
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:中京経営資源研究所代表　田中肇氏
参加者:16 名

概　要:　中小企業診断士として、長年非営利団体の経営コンサルタントをされてきた田中先生をお迎えして、市民団体、ボランティア団体などが団体を経営する際の課題についてお話を伺った。田中先生から、継続という意味あいから「NPO化」の課題と、「仲間づくりと世代交代」の課題についてのお話があった。「NPO化」についてメリット・デメリットなどを話し合い、資金を集め団体を経営することが次へのステップであるということを、参加して皆さんが確認した。

5. 補助金を上手に使おう
日　時:2018 年 3 月 3 日(土)13:30-15:00
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講師:市民協働部地域協働課
参加者:19 名

概　要:「車座集会」碧南市の市民活動を支援する「補助金を上手に使おう」を行いました。集まった皆さんは、地域協働課の方から、補助金申請の方法や注意点の説明を熱心に聞き、不明な点などを質問していました。補助金を申請した活動団体さんから申請時の苦労したことや補助金をどの様に活用しているかの体験談やアドバイスもあり大変有意義な時間となりました。

■スキルアップ講座

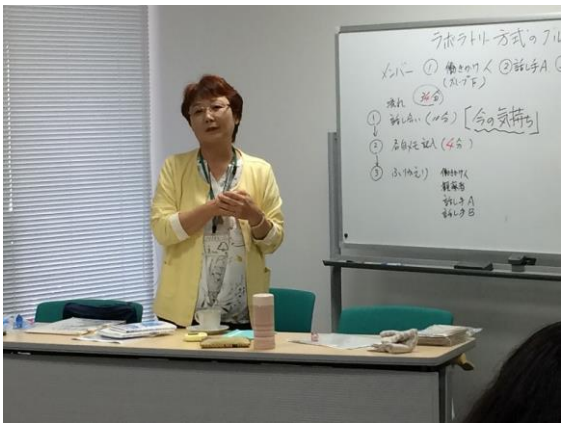
1. フェイスブックに挑戦！　～やってみよう情報発信～
日　時:2017 年 4 月 15 日(土)13:30-15:00
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:松原圭氏
　　(株式会社 meets)
参加者: 15 名

概　要:FB の登録から活用方法まで、さらには他の SNS との比較をしたお話しもしていただきました。講座終了後も、優しく受講者のみなさんの対応をしてくださった松原さんでした。

2. まちづくり担い手講座
ファシリテーター＆コーディネーター養成
ステップアップコース
第 1 回　まちづくりは人間関係づくり
日　時:2017 年 6 月 17 日(土)12:30-16:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師)
参加者:14 名

概　要:2017 年度まちづくり担い手講座全 5 回講座が開講しました。講師には昨年の担い手講座に引き続き、NPO 法人 NIED・国際理解教育センター研究員、愛知学院大学非常勤講師の平野　木惠氏をお迎えしています。1 回目の講座は、ファシリテーターとコーディネーターの違い、アイスブレイクは安心の場をもたらすことを学びました。

3. まちづくり担い手講座
ファシリテーター＆コーディネーター養成
ステップアップコース
第 2 回　学び合う仲間の関係づくり
～対等な参加と安心の場で自分を啓(ひら)く～
日　時:2017 年 7 月 15 日(土)12:30-16:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師)
参加者:13 名



概　要:2 回目のねらいは「共に学び合う仲間となるための参加型グループアクティビティを体験してみよう」です。「ラボラトリー方式」のワークを体験しました。「今の気持ち」とし、①働きかけ人、 ②話し手A、③話し手B、④観察者の役割を演じました。

4. 講師に挑戦：地元の野菜でピザを作ろう
日　時：2017 年 7 月 16 日（日）13:00-15:00
場　所：へきなん福祉センター　調理実習室
講　師：ジュニア野菜ソムリエ　芝　雅浩氏
参加者：10 名（小学生 5～6 年対象）

概　要：ピザの生地作りを悪戦しながらこねこね。トッピング、焼き入れまでの工程に戸惑いも。オーブンをのぞきながら、ワクワク感でやっと笑顔。焼きあがったピザに歓声です。お腹いっぱいになったところで、先生から野菜の話を・・・。みんな熱心に聞き満足、まんぞく！

5. まちづくり担い手講座
ファシリテーター＆コーディネーター養成
ステップアップコース
第 3 回「みんな違ってみんないい」
～多様性と心の同一性を感じてみよう～
日　時：2017 年 8 月 19 日（土）12:30-16:30
場　所：へきなん福祉センター　会議室
講　師：平野木惠氏（愛知学院大学非常勤講師）
参加者：11 名

概　要：3 回目のらいは、①人の多様性と心の多様性を感じる、②人を元気にするコミュニケーションスキルを学ぶ、③ノウハウからドゥハウへ体験的に学ぶ、④よりよいコミュニケーションのポイントとファシリテーター＆コーディネーターにとって大切なことを確認するの 4 つです。ファシリテーターにとって大切なものは何！！と指標を作ることが収縮に当たり、後から自分のファシリテートをふりかえるチェックシートになることを学びました。

6. まちづくり担い手講座
ファシリテーター＆コーディネーター養成
ステップアップコース
第 4 回「共に生き、共に創るまちづくりを参加型で！」
～共通理解を深め、合意形成のプロセスを参加型でやってみよう～
日　時：2017 年 9 月 9 日（土）12:30-16:30
場　所：へきなん福祉センター　会議室
講　師：平野木惠氏（愛知学院大学非常勤講師）
参加者：10 名

概　要：4 回目は共に生きる（地域）社会のための参加型についても学びました。実際に「みよし町中華街構想」をロールプレイし、解決方法を探りました。グループ5人になり、登場人物の役割を振り分け、役割上の立場に成りきって自由討議しました。最後に参加型の可能性とファシリテーター＆コーディネーターの役割を再確認して講座を終えました。

6. まちづくり担い手講座
ファシリテーター＆コーディネーター養成
ステップアップコース
第5回「共に生き、共に創るまちづくりを参加型で！」
～共通理解を深め、合意形成のプロセスを参加型でやってみよう～
日　時:2017 年 10 月 21 日(土)12:30-16:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師)
参加者:15 名

概　要:今年度最終回の 5 回目は、まちづくりの担い手たちのネットワークをつなげよう。参加者巻き込み大作戦でまちを生き生きと！をテーマに、サポプラで開催する団体交流会の「つなが輪」のプログラム作りを実践しました。

■その他イベント

1.　第2回避難所運営を一緒に考える勉強会
日　時:2017 年 4 月 14 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:土谷心平氏　(碧南市防災課)
　　内藤　瑶氏　(愛知ネット事務局員)
参加者:23 名

概　要:3．11を忘れない＠へきなんの実行委員会は、会の名称を「災害への備えを学ぶ会」と変え、「避難所の運営を一緒に考える勉強会」を、1年を通して開催することにした。碧南市防災課の土谷氏と愛知ネットの防災担当事務局員の内藤氏を講師に迎え、自分たちの避難所運営マニュアルを作成し、避難所運営訓練を実施することを目的に、地域の役員や学校の先生を仲間として増やして学び始めた。自分たちにとって身近な課題なので、皆さん真剣な目つきで臨んでいました。

2.　ここタイム　防災スペシャル
日　時:2017 年 5 月 19 日(金)　11:35～11:45
場　所:へきなん福祉センター　こころっくしんかわ
講　師:松原優子　(サポプラスタッフ)
参加者:23 名

概　要:今年度も、まずは「ぼうさいダック」で、小さなお友達も自分で自分の身を守るポーズを練習しました。後半は、災害時に役立つ風呂敷の使い方を一緒に勉強しました。すごく簡単な結び方で、リュックが作れるんですよ！

3. 第3回避難所運営を一緒に考える勉強会

日　時:2017 年 5 月 19 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:土谷心平氏 (碧南市防災課)
　　内藤　瑶氏 (愛知ネット事務局員)
参加者:20 名

概　要:避難所の理解を深めるために HUG(避難所運営ゲーム)を中心に学びました。また、碧南市防災課の土谷さんから、新しく発表された碧南市のハザードマップと小学生向けに刊行された「防災減災ブック」についても、詳しいご説明がありました。
　HUG に入ると、これまでに学んだ避難所についての知識を活かし、それぞれのグループで活発な議論が広がりました。あっという間の90分。皆さんしばらく残って、いろいろと質問や議論を続けていました。参加している学校の先生や地域自治会の方々、商店街のメンバーと多彩な顔ぶれですが、それぞれの課題を抱えながら･･･まだまだ勉強会が続きます。

4. 第4回避難所運営を一緒に考える勉強会

日　時:2017 年 6 月 16 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:土谷心平氏 (碧南市防災課)
　　内藤　瑶氏 (愛知ネット事務局員)
参加者:20 名

概　要:避難所運営マニュアルの事例として、講師の内藤氏が西尾市立花ノ木小学校でまとめたマニュアルを学びました。このマニュアルでは、①マニュアルの目的、②避難所の定義に始まり、③避難所委の開設から避難所閉鎖までの流れ、④避難所運営委員会の設置、⑤各運営班の業務、⑥花ノ木小学校避難所のレイアウトでまとめられています。特に、花ノ木小学校独自のレイアウトと各運営班の業務については、しっかりと検討を進め、独自のマニュアルにまとめる必要があることを、全員で認識しました。

5. あくるまつり

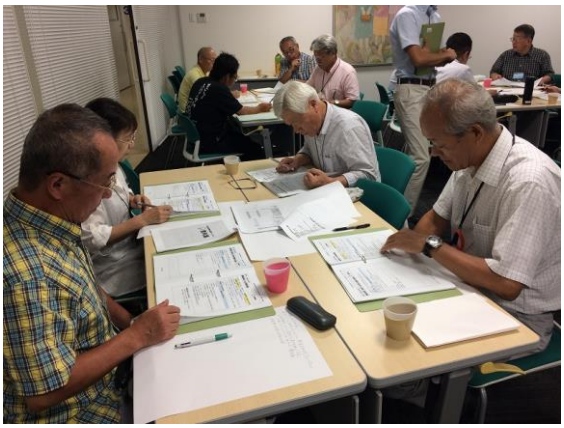
日　時:2017 年 7 月 2 日(日)10:00-115:00
場　所:へきなん福祉センター　あいくる
来場者:3500 名
出展団体:展示(42)、パフォーマンス(13)、
　　フード(11)、講座(4)
ボランティア:90 名

概　要:昨年に引き続き、あいくるまつりが開催された。来場者は昨年の上回る 3500 人と発表された。年々参加する団体・企画が増えてきている。また今年の特徴とし

ては、ボランティアさんが 90 名と、昨年を上回る方々に参加していただいた。参加する団体さんにも、「自分たちのまつり」という意識が、少しずつ出てきた結果ではないだろうか。今後も、出展団体・企画とボランティア参加者を増やしていきたいと考えている。

6. 第5回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう

日　時:2017 年 8 月 18 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:土谷心平氏 (碧南市防災課)
　　内藤　瑶氏 (愛知ネット事務局員)
参加者:20 名



概　要:愛知県防災局防災対策課がH27年に取りまとめた、「愛知県避難所運営マニュアル　避難所運営委員会及び各運営班の業務」を題材にして、実際に避難所を運営するメンバーで、運営班の業務内容をグループで分担して内容を読み合わせ、話し合った。今回は、総務班の業務、総務班(名簿係)の業務、連絡・広報班の業務、食料・物資班の業務、保健・衛生班の業務について、検討を進めた。

7. 愛フェス 2017 に碧南ブロックとして参加

日　時:2017 年 9 月 16 日(土)9:00-17:00
場　所:愛・地球博記念公園地球市民交流センター
主　催:愛フェス 2017 実行委員会
参加者:8ブロック 34 団体、15フードブース
来場者:8,705 名

概　要:9月16,17日と2日間の予定で開幕した今年の愛フェスですが、あいにくの台風で16日1日のみの開催となりました。碧南からは、ヒッポファミリークラブ へきなん、へきなん地域ねこの会、へきなん焼きそばまちおこし隊、まんまDEマルシェ、わきあいあいリンパ・メイクセラピーが参加しました。参加団体以外に、折り紙教室、ちくちくの会、ひばり会、大浜中区・鶴ケ崎山車保存会、トヨタ自動車衣浦工場、アイシン辰栄など大勢の皆さんの応援をいただきました。あいにくの台風で、地元愛グランプリには出場できませんでしたが、優勝するぞという意気込みだけは誰にも負けませんでした。

8. 第6回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう

日　時:2017 年 9 月 23 日(土)13:30-15:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:社会福祉法人 AJU 自立の家
わだちコンピュータハウス所長　水谷　真氏
参加者:28 名
概　要:AJU自立の家の水谷氏を講師にお招きして、公開講座(車座集会)として開催した。詳細は、車座集会の項を参照。

9. スポーツ鬼ごっこ体験会

日　時:2017 年 9 月 24 日(日)9:00-12:00
場　所:へきなん福祉センター　まちかどホール
主　催:認定NPO法人愛知ネット
協　力:愛知県スポーツ鬼ごっこ連盟
　　碧南市市民活動センター
後　援:碧南市教育委員会
参加者:21 名

概　要:スポーツ鬼ごっこ体験会が開催され、小学生を中心に 21 名が参加しました。まずは準備運動。もうここからして楽しいんですよ！笑顔いっぱいで体を動かしました。さて、試合はというと、以外に「両手タッチ」が難しい！そんな中、しっかり自分の役割をもって宝を守ろうとする子、敵の隙をついて、すいすいと陣地に入り宝をゲットする子・・・みんなそれぞれが活躍しました。碧南市でもこのスポーツ鬼ごっこを広めようと、関係部門が動き始めました。

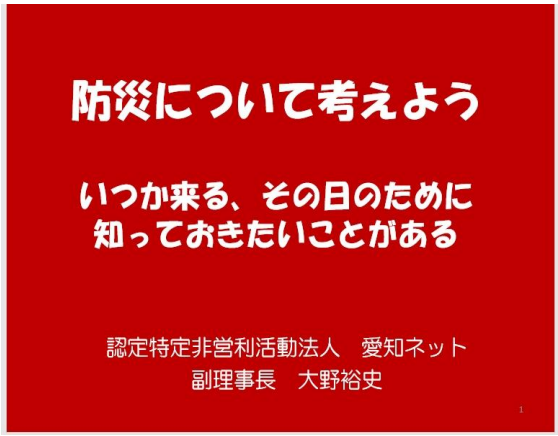
10. 第7回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう

日　時:2017 年 10 月 20 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:土谷心平氏　(碧南市防災課)
　　内藤　瑶氏　(愛知ネット事務局員)
参加者:21 名

概　要:第5回避難所運営勉強会で行った、「愛知県避難所運営マニュアル　避難所運営委員会及び各運営班の業務」の内容について、引き続きGRに分かれて検討を進めた。第5回、6回を通して、業務運営マニュアルの中身をチェックすることができたので、「おらが街の業務運営マニュアル」をまとめる作業に入ることにした。新川小学校、中学校の避難所運営マニュアルについても、検討を開始しているので、次回以降で「おらが街の避難所運営マニュアル・業務運営マニュアル」作りを、ワーキンググループに分かれて進めることになった。

11. 第8回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう
講義「防災について考えよう/いつか来る、その日のために知っておきたいことがある」

日　時:2017 年 11 月 17 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:大野裕史氏(愛知ネット副理事長)
参加者:21 名

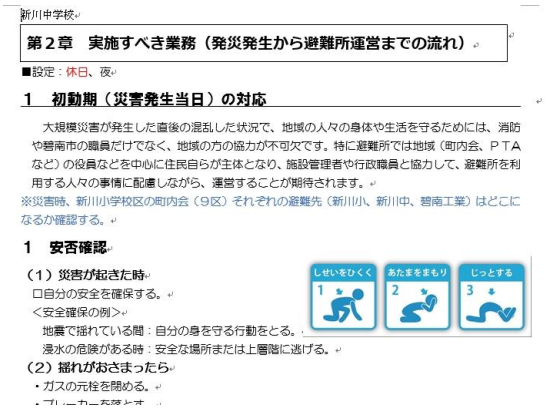


概　要:「おらが街の避難所運営マニュアル・業務運営マニュアル」の検討・作成作業がワーキンググループで続いていることが報告された。その後、日ごろから備えておくためをテーマに講義を聞いた。内容は、「地震の仕

組み」、「東日本大震災で何が起こったか、地震から学ぶべきこと」、「南海トラフ地震への備え、何をどう備えたらいいの」の3部からなっていた。避難所に入る前に、日ごろから取り組んでおかなければならないことについて確認することができた。

12. 第9回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう
日　時:2018 年 1 月 19 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:内藤　瑶氏　(愛知ネット事務局員)
参加者:20 名

概　要:新川中学校、新川小学校の避難所開設・運営マニュアルおよび避難所レイアウトについて、分科会で検討してきた内容を説明し、各委員から質問や修正、変更に関する意見を出し合った。委員の皆さんから集めた意見をもとに、マニュアルの訂正などを行うことにした。


新川中学校

第２章　実施すべき業務（発災発生から避難所運営までの流れ）

■設定：休日、夜

１　初動期（災害発生当日）の対応

大規模災害が発生した直後の混乱した状況で、地域の人々の身体や生活を守るためには、消防や碧南市の職員だけでなく、地域の方の協力が不可欠です。特に避難所では地域（町内会、ＰＴＡなど）の役員などを中心に住民自らが主体となり、施設管理者や行政職員と協力して、避難所を利用する人々の事情に配慮しながら、運営することが期待されます。

※災害時、新川小学校区の町内会（９区）それぞれの避難先（新川小、新川中、碧南工業）はどこになるか確認する。

１　安否確認

（１）災害が起きた時

□自分の安全を確保する。

<安全確保の例>

地震で揺れている間：自分の身を守る行動をとる。

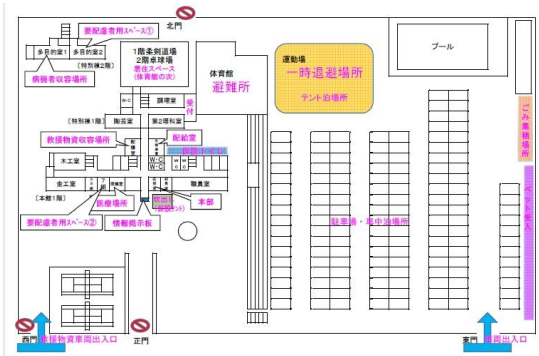
浸水の危険がある時：安全な場所または上層階に逃げる。

（２）揺れがおさまったら

・ガスの元栓を閉める。

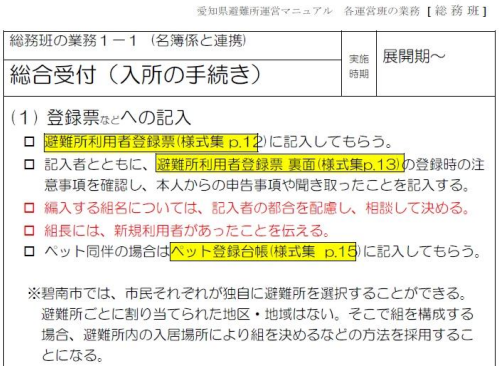
13. 第10回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう
日　時:2018 年 2 月 16 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:内藤　瑶氏　(愛知ネット事務局員)
参加者:20 名

概　要:前回検討した新川中学校、新川小学校の避難所開設・運営マニュアルおよび避難所レイアウトについて修正したものと、前回検討できなかった後半部分についての説明に対し、継続して質問や修正、変更に関する意見を出し合った。



14. 第11回避難所運営を一緒に考える勉強会
多様なニーズに対応できる避難所をつくろう
日　時:2018 年 3 月 16 日(金)19:00-20:30
場　所:へきなん福祉センター　会議室
講　師:大野裕史氏(愛知ネット副理事長)
参加者:20 名

概　要:避難所開設・運営マニュアルにつづき、各運営班の業務運営マニュアルについて、実行委員で検討した内容をもとに、愛知県の業務運営マニュアルの改訂(案)を提示した。これらの案にたいして、各委員からさらに突っ込んだ意見などが出された。これらの意見を取りまとめ、新川地区における具体的な各運営班の業務運営マニュアルに仕上げていくことにした。
今年度は、2回の休校などがあり、避難所開設・運営訓練を実施できるところまでたどり着けなかった。実行委員の皆さんから、来年度も継続して勉強会を開催し、避難所開設・運営訓練が実施できるところまで継続することになった。


愛知県避難所運営マニュアル　各運営班の業務［総務班］

総務班の業務１－１（名簿係と連携）	実施時期	展開期～
総合受付（入所の手続き）		

（１）登録票などへの記入
- □ 避難所利用者登録票(様式集 p.12)に記入してもらう。
- □ 記入者とともに、避難所利用者登録票 裏面(様式集p.13)の登録時の注意事項を確認し、本人からの申告事項や聞き取ったことを記入する。
- □ 編入する組名については、記入者の都合を配慮し、相談して決める。
- □ 組長には、新規利用者があったことを伝える。
- □ ペット同伴の場合はペット登録台帳(様式集　p.15)に記入してもらう。

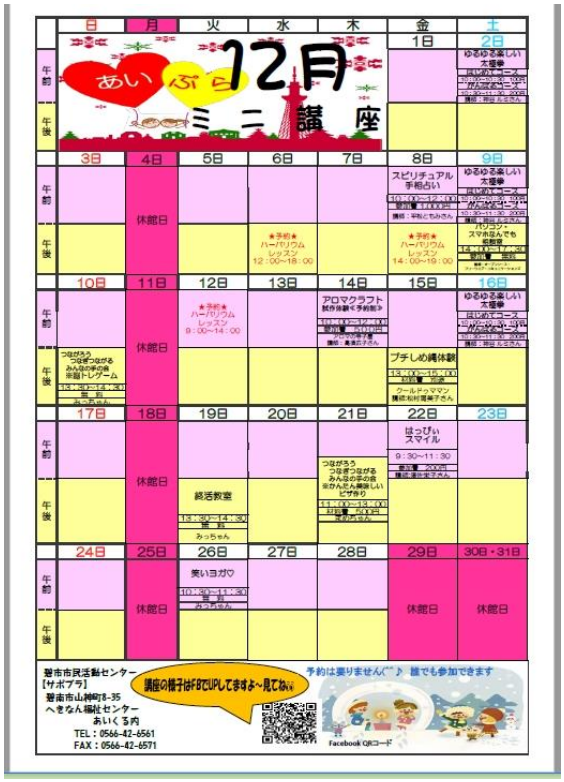
※碧南市では、市民それぞれが独自に避難所を選択することができる。避難所ごとに割り当てられた地区・地域はない。そこで組を構成する場合、避難所内の入居場所により組を決めるなどの方法を採用することになる。

15. あいぷらミニ講座

場　所:碧南市市民活動センターおしゃべりコーナー
日時とテーマ・タイトルと参加者数:

4 月 6 日　アロマの寺小屋　3
4 月 13 日　ウッドバーニング体験　8
4 月 15 日　太極拳　2
4 月 19 日　暮らしのコーディネート　3
4 月 22 日　太極拳　1
4 月 26 日　笑いヨガ　6
4 月 27 日　赤かぶ先生の料理教室　13
4 月 28 日　はっぴぃスマイル　3
5 月 13 日　太極拳　3
5 月 18 日　アロマの寺小屋　8
6 月 3 日　ゆるゆる太極拳　6
6 月 6 日　はっぴぃスマイル　6
6 月 9 日　ウッドバーニング　12
6 月 11 日　いつも絵を描く会　11
6 月 17 日　太極拳　4
6 月 22 日　TEAM　AGE　8
6 月 24 日　太極拳　3
6 月 25 日　折り紙で遊ぼう　5
6 月 27 日　笑いヨガ　5
6 月 29 日　アロマの寺小屋　5
7 月 8 日　ゆるゆる太極拳　5
7 月 12 日　はっぴいスマイル　7
7 月 13 日　おりがみで遊ぼう　3
7 月 14 日　AGE 測定会　2
7 月 15 日　ゆるゆる太極拳　3
7 月 16 日　プアナニアロハ　5
7 月 22 日　ゆるゆる太極拳　2
7 月 25 日　笑いヨガ　4
8 月 4 日　パソコン・スマホなんでも相談室　6
8 月 10 日　アロマの寺小屋　4
8 月 19 日　ゆるゆる太極拳　3
8 月 21 日　はっぴいスマイル　5
8 月 26 日　ゆるゆる太極拳　2
8 月 31 日　笑いヨガ　4
9 月 8 日　プロが教えるおそうじ教室　13
9 月 9 日　ゆるゆる太極拳　3
9 月 16 日　ゆるゆる太極拳　2
9 月 21 日　アロマの寺小屋　4
9 月 26 日　笑いヨガ　6
9 月 30 日　おそうじ教室＆ハンドマッサージ　14
9 月 30 日　パソコンスマホなんでも相談室　2
10 月 7 日　ゆるゆる太極拳　2
10 月 9 日　笑いヨガ　2
10 月 12 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会　1
10 月 14 日　ゆるゆる太極拳　1
10 月 19 日つながろうつなぎつながるみんなの手の会　認知症ゲーム　1
10 月 24 日　笑いヨガ　8
10 月 26 日　終活教室　1
10 月 26 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会

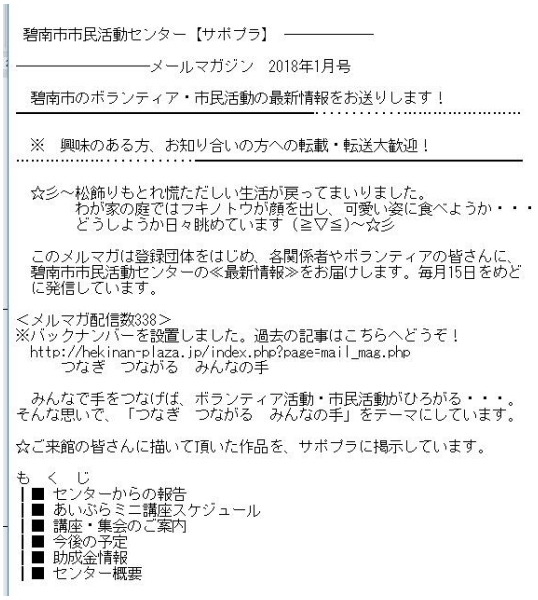
一緒に歌おう　2
10 月 28 日　ゆるゆる太極拳　1
10 月 28 日　ハーバリウム体験　8
11 月 4 日　ゆるゆる太極拳　1
11 月 4 日　パソコンスマホなんでも相談室　2
11 月 11 日　ゆるゆる太極拳　1
11 月 16 日　はっぴいスマイル　4
11 月 16 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会
防災グッズ　1
11 月 18 日　ゆるゆる太極拳　1
11 月 23 日　アロマの寺小屋　4
11 月 23 日　ハーバリウム体験　6
11 月 25 日　ゆるゆる太極拳　1
11 月 25 日　終活教室　1
11 月 28 日　笑いヨガ　14
12 月 2 日　ゆるゆる太極拳　1
12 月 8 日　スピリチュアル手相占い　3
12 月 9 日　ゆるゆる太極拳　1
12 月 14 日　アロマの寺小屋　7
12 月 15 日　プチしめ縄作り　3
12 月 16 日　ゆるゆる太極拳　1
12 月 19 日　終活教室　2
12 月 21 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会
ピザ作り教室　4
1 月 7 日　パソコン相談室　1
1 月 13 日　ゆるゆる太極拳　2
1 月 14 日　POTLUCK LUNCH PARTY　9
1 月 16 日　終活教室　1
1 月 20 日　ゆるゆる太極拳　2
1 月 21 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会
脳トレゲーム　1
1 月 22 日　はっぴいスマイル　8
1 月 23 日　笑いヨガ　7
1 月 23 日　スクラップブッキング　19
1 月 27 日　ゆるゆる太極拳　1
2 月 3 日　ゆるゆる太極拳　1
2 月 13 日　はっぴいスマイル　8
2 月 15 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会
箱寿司つくり　4
2 月 16 日　パソコン相談室　1
2 月 17 日　ゆるゆる太極拳　1
2 月 20 日　スクラップブッキング　25
2 月 22 日　つながろうつなぎつながるみんなの手の会
脳トレゲーム　1
2 月 24 日　ゆるゆる太極拳　1
2 月 27 日　笑いヨガ　3



■メルマガ・サポプラ通信の発行

1. メルマガ発行（毎月発行）

2018 年 3 月臨時増刊号　発信数：343 通
2018 年 3 月号　発信数：343 通
2018 年 2 月臨時増刊号　発信数：340 通
2018 年 2 月号　発信数：340 通
2018 年 1 月号　発信数：338 通
2017 年 12 月号　発信数：338 通
2017 年 11 月号　発信数：336 通
2017 年 10 月号　発信数：335 通
2017 年 9 月号　発信数：334 通
2017 年 8 月号　発信数：331 通
2017 年 7 月号　発信数：330 通
2017 年 6 月号　発信数：329 通
2017 年 5 月号　発信数：324 通
2017 年 4 月号　発信数：321 通


碧南市市民活動センター【サポプラ】

メールマガジン　2018年1月号

碧南市のボランティア・市民活動の最新情報をお送りします！

※　興味のある方、お知り合いの方への転載・転送大歓迎！

☆彡～松飾りもとれ慌ただしい生活が戻ってまいりました。
わが家の庭ではフキノトウが顔を出し、可愛い姿に食べようか・・・
どうしようか日々眺めています（≧▽≦）～☆彡

このメルマガは登録団体をはじめ、各関係者やボランティアの皆さんに、碧南市市民活動センターの≪最新情報≫をお届けします。毎月15日をめどに発信しています。

＜メルマガ配信数338＞
※バックナンバーを設置しました。過去の記事はこちらへどうぞ！
http://hekinan-plaza.jp/index.php?page=mail_mag.php
つなぎ　つながる　みんなの手

みんなで手をつなげば、ボランティア活動・市民活動がひろがる・・・。
そんな思いで、「つなぎ　つながる　みんなの手」をテーマにしています。

☆ご来館の皆さんに描いて頂いた作品を、サポプラに掲示しています。

も　く　じ
■ センターからの報告
■ あいぷらミニ講座スケジュール
■ 講座・集会のご案内
■ 今後の予定
■ 助成金情報
■ センター概要

2. サポプラ通信発行（隔月発行）

2018 年 2 月　第 86 号
2017 年 12 月　第 85 号
2017 年 10 月　第 84 号
2017 年 8 月　第 83 号
2017 年 6 月　第 82 号
2017 年 4 月　第 81 号

Ⅳ.まとめ

月度	利用者	利用件数				期間登録団体数
		相談	マッチング	MET コーナー	印刷作業室	
1	649	49	9	44	16	1
2	861	46	12	47	11	3
3	937	20	7	41	16	4
4/4 小計	2447	115	28	132	43	8
年度合計	9708	409	155	532	134	28
前年実績	10068	470	131	455	99	23
対前年比	96.4%	87.0%	118.3%	116.9%	135.4%	121.7%

【第1四半期】

今年度の目標には、昨年度実績の5%アップとして、相談件数490件、マッチング件数140件を設定した。昨年度は期の途中から、相談、マッチング業務の中身を充実させる方向にシフトした。

昨年度から始めた「まちづくりの担い手講座:ファシリテーター養成コース」、今年度は「まちづくりの担い手講座:ファシリテーター＆コーディネーター養成ステップアップコース」としてスタートした。参加者は全体で16名、そのうち8割が新規受講者だった。

災害への備えを学ぶ会が今年の3月から始めた「避難所運営を一緒に学ぶ勉強会」を月 1 回開催しています。新川小学校、中学校の校長先生(あるいは教務主任の先生)や地元の自治会役員、おやじの会、安城特別支援学校みどり会(碧南市から通学している父兄の会)や防災に興味のある市民団体と碧南市防災課がメンバーです。

【第2四半期】

へきなん福祉センターであいくるまつりが 7 月 3 日に開催された。来場者は昨年を上回る 3500 人と発表された。参加する団体・企画が年々増えてきている。参加する団体さんにも、「自分たちのまつり」という意識が、少しずつ出てきた結果ではないだろうか。また今年の特徴としては、ボランティアさんが 90 名と、昨年を大きく上回る方々に参加していただいた。今後も、出展団体・企画とボランティア参加者を増やしていきたいと考えている。

【第3四半期】

10月29日に計画していた第3回碧南自転車散歩は、台風22号の接近に伴い大雨となり、中止した。台風の軌道を1週間ほど前から監視してきたが、28日朝5:00の気象情報を参考に、自転車散歩実行委員会の主だったメンバーとスタッフとで検討し、中止を決定した。そのあと午前中には参加者、ボランティア、関係各位に電話で連絡した。参加申し込みをされた方、協賛していただいた方々へのフォローも、翌週行った。来年に向けて雨天対応が課題として残った。

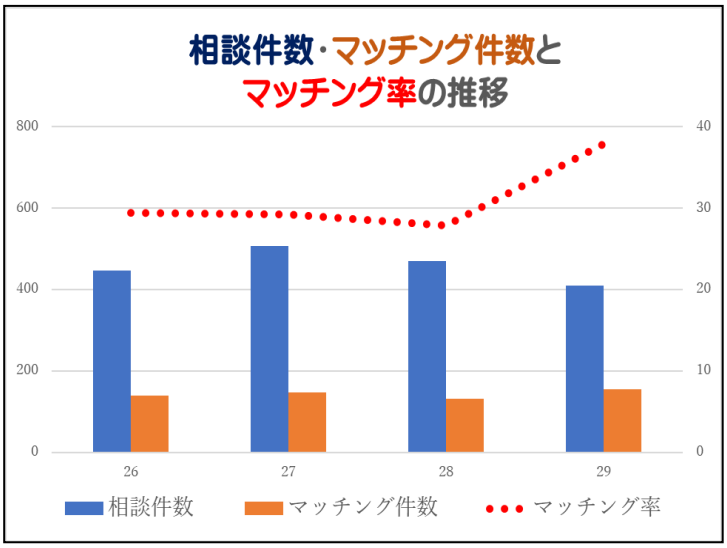
【第4四半期】

まちづくりの担い手講座として位置づけたスキルアップ講座、昨年のファシリテーター養成に続き、今年度はコーディネーターの養成に的を絞って進めてきた。その一つの成果として、「へきなんＦ＆Ｃ（ファシリテーター＆コーディネーター）」というゆるやかな組織が立ち上がった。このグループで、2月 3 日には、登録団体交流会「つなが輪」の企画と運営とを進めてもらった。スキルアップ講座が終わった後も継続してミーティングを重ねている。まちづくりの担い手の育成に着手することができた。

第 1 四半期のところでも書いたが、昨年度は期の途中から、相談、マッチング業務の中身を充実させる方向にシフトした。その結果が、H26年度以降のマッチング比率推移のグラフによく現れている（下図・表を参照）。これは、市民の皆さんが何を相談したらよいのかをきちんと識別するように意識が向上してきていることと、相談を受けるスタッフの相談対応マッチング力が向上してきたこととが原因であろう。

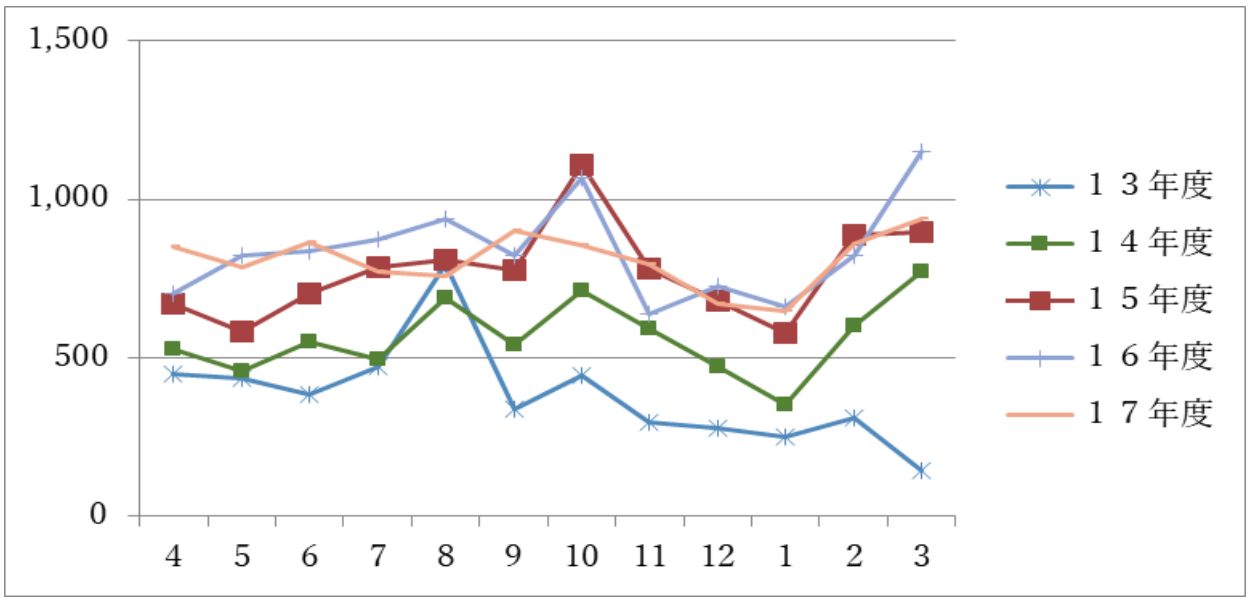
■相談・マッチングの推移

年度	相談件数	マッチング件数	マッチング率
26	447	140	29.4
27	506	148	29.2
28	470	131	27.9
29	409	155	37.9



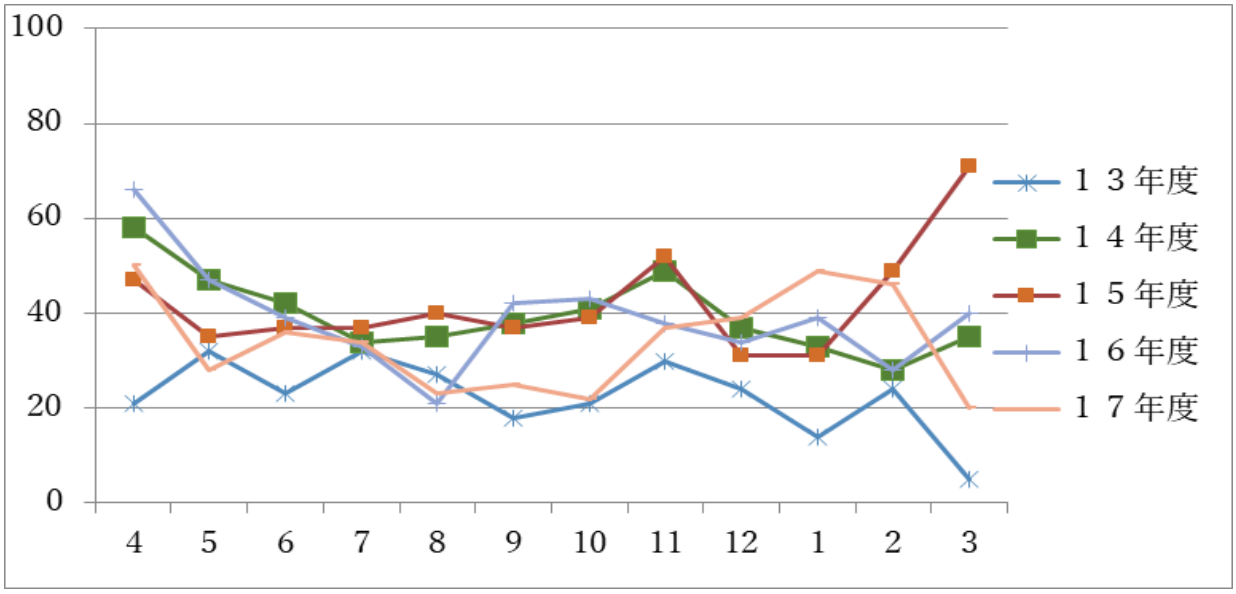
Ｖ．実績

■利用者数の月別推移

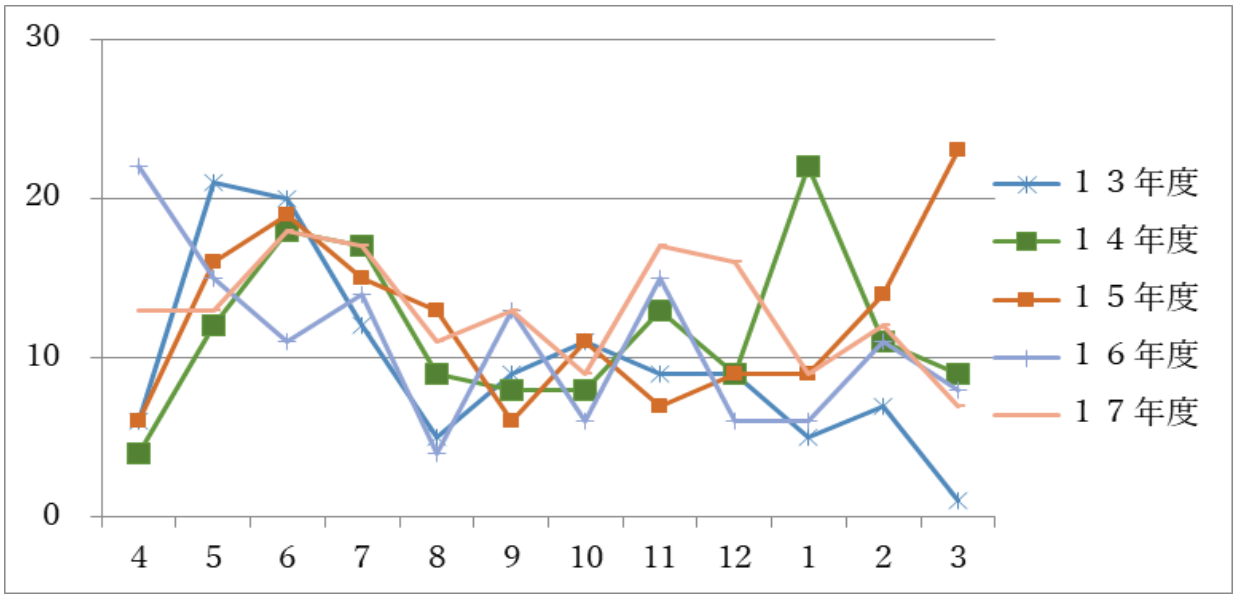


※ 7/2 あいくるまつり来場者　　3500 人を除く

■相談件数の月別推移



■マッチング件数の月別推移



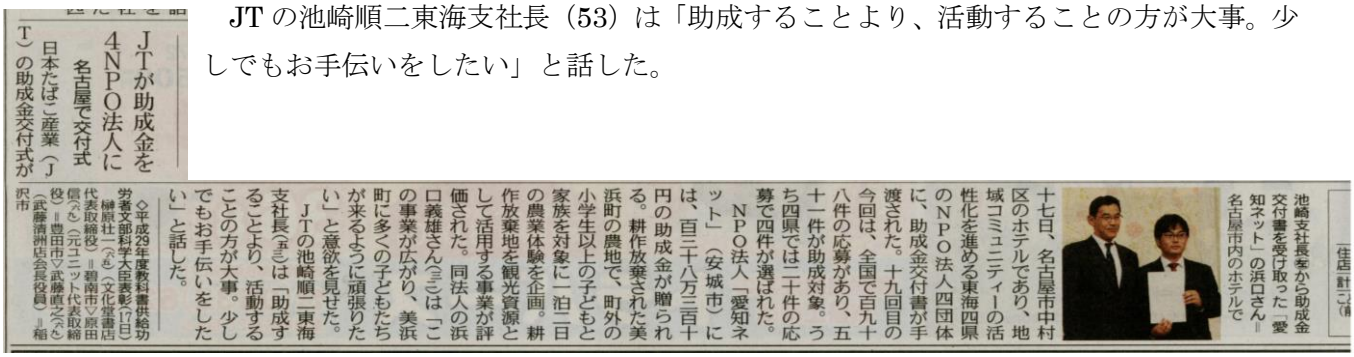
平成 29 年 5 月 18 日 木曜日　中日新聞　県内版

【JT が助成金を 4NPO 法人に　名古屋で交付式】

日本たばこ産業（JT）の助成金交付式が 17 日、名古屋市中村区のホテルであり、地域コミュニティーの活性化を進める東海 4 県の NPO 法人団体に、助成金交付書が手渡された。19 回目の今回は、全国で 198 件の応募があり、51 団体が助成対象。うち 4 県では 20 件の応募で 4 件が選ばれた。

NPO 法人「愛知ネット」（安城市）には、138 万 310 円の助成金が贈られる。耕作放棄された美浜町の農地で、町外の小学生以上の子どもと家族を対象に一泊二日の農業体験を企画。耕作放棄地を観光資源として活用する事業が評価された。同法人の浜口義雄さん（32）は「この事業が広がり、美浜町に多くの子どもたちが来るように頑張りたい」と意欲を見せた。

JT の池崎順二東海支社長（53）は「助成することより、活動することの方が大事。少しでもお手伝いをしたい」と話した。



JTが助成金を4NPO法人に
名古屋で交付式
日本たばこ産業（JT）の助成金交付式が

池崎支社長等から助成金交付書を受け取った「愛知ネット」の浜口さん＝名古屋市内のホテルで

十七日、名古屋市中村区のホテルであり、地域コミュニティーの活性化を進める東海四県のNPO法人四団体に、助成金交付書が手渡された。十九回目の今回は、全国で百九十八件の応募があり、五十一件が助成対象。うち四県では二十件の応募で四件が選ばれた。

NPO法人「愛知ネット」（安城市）には、百三十八万三百十円の助成金が贈られる。耕作放棄された美浜町の農地で、町外の小学生以上の子どもと家族を対象に一泊二日の農業体験を企画。耕作放棄地を観光資源として活用する事業が評価された。同法人の浜口義雄さん(三二)は「この事業が広がり、美浜町に多くの子どもたちが来るように頑張りたい」と意欲を見せた。

JTの池崎順二東海支社長(五三)は「助成することより、活動することの方が大事。少しでもお手伝いをしたい」と話した。

◇平成29年度教科書供給功労者文部科学大臣表彰(17日)
榊原壮一(六五)＝碧南市▽原田信(六九)(元ユニット代表取締役)＝豊田市▽武藤直之(六九)(武藤清洲店会長役員)＝稲沢市

平成 29 年 11 月 12 日 日曜日　中日新聞　知多版

【大きなイモ　笑顔の収穫　美浜で親子ら】

美浜町小野浦の社会教育施設「県美浜少年自然の家」周辺で 11 日、休耕田に植えた野菜を取って味わう「わくわく農業体験」の収穫祭が始まった。

指定管理者のＮＰＯ法人愛知ネット（安城市）が、休耕田の活用と美浜町に愛着を持ってもらうことを目的に開催。8 月には名古屋市の家族など 10 組がジャガイモの種芋の植え付けと、ニンジンの種まきをした。

この日は6組が参加し、ジャガイモの茎を引っ張ったり、手で掘ったりして収穫した。子どもたちは「大きい！」と歓声を上げて、段ボール箱いっぱいに詰め込んだ。常滑市常滑東小 1 年の山脇大知君 (6 つ) は「ポテトチップスが大好き。たくさん取れてうれしい」と笑顔だった。

続いて、施設に移動。取れたばかりの野菜を使ってカレーやポテトピザなど 3 品を料理して食べた。収穫祭は 18 日にもある。

大きなイモ
笑顔の収穫
美浜で親子ら

美浜町小野浦の社会教育施設「県美浜少年自然の家」周辺で十一日、休耕田に植えた野菜を取って味わう「わくわく農業体験」の収穫祭が始まった。

施設の指定管理者のNPO法人愛知ネット（安城市）が、休耕田の活用と美浜町に愛着を持ってもらうことを目的に開催。八月には名古屋市の家族など十組がジャガイモの種芋の植え付けと、ニンジンの種まきをした。

この日は六組が参加し、ジャガイモの茎を引っ張ったり、手で掘ったりして収穫した。子どもたちは「大きい！」と歓声を上げて、段ボール箱いっぱいに詰め込んだ。常滑市常滑東小一年の山脇大知君(六つ)は「ポテトチップスが大好き。たくさん取れてうれしい」と笑顔だった。

続いて、施設に移動。取れたばかりの野菜を使ってカレーやポテトピザなど三品を料理して食べた。収穫祭は十八日にもある。

ジャガイモの収穫を楽しむ親子ら＝美浜町小野浦で

2018 年 4 月　名古屋大学　大学院法学研究科・法学部　ニュースレターLAWING

【2017 年度インターンシップについて】

2017 年度の派遣者数は 123 名であり（昨年度 133 名）、前年比 10 名の減少となりました。分野別では、企業（法務以外）や公務員（中央省庁・地方自治体）の人気が高いという傾向に大きな変化はなかったものの、最近希望者が減少していた法律系分野（法事務所、司法書士事務所、企業法務）において、法律事務所や企業法務で、希望者が増加に転じました。一方で国際関係機関については、希望者、派遣者とも、前年比半減したことが特徴でした。

▼事前学習の実施

インターンシップ運営委員会では、夏休み期間中の実習に備え各種の事前学習を行いました。内容については、ほぼ昨年と同様で、全体研修としてパソコン（5 月 1 日）、守秘義務・個人情報保護法の研修（6 月 7 日）、ビジネスマナー研修（6 月 14 日）を実施。それに続いて、派遣分野毎（分野別研修）でも、受入先の弁護士、司法書士による「実習の心構え」と題した講演や、新聞社、テレビ局から講師を招いての実習に関する説明、また未履修の専門科目について、主に 2 年生を対象とした補講（債権法）を実施しました。

▼実習について

インターンシップの実習は 8 月～9 月の夏休み期間に原則 2 週間行われます。2017 年度も 2 年生 52 名 3 年生以上 71 名が様々な分野の受け入れ機関で貴重な経験をすることが出来ました。

NPOでの実習風景：NPO法人 愛知ネット
（愛フェスでのボランティア受付業務）

▶▶▶ 2017年度の派遣先及び派遣人数 ◀◀◀

受け入れ機関	派遣人数	備　考
法律事務所	10	名古屋市内9　愛知県内1
司法書士事務所	5	名古屋市内4、愛知県内1
企業（法務部門）	13	
企業（法務以外）	36	
マスコミ	20	新聞社・通信社13、テレビ局6、広告1
中央省庁・地方自治体	30	省庁10、地方自治体20
国際関係機関	3	国際協力機構中部国際センター（JICA中部）2、日本国際協力センター（JICE）中部支所1
NPO/NGO	4	
議員事務所	2	衆議院議員事務所2
合　計	123	

特定非営利活動法人　愛知ネットのあゆみ

１９９９年
4月　NPO愛知ネット設立

２０００年
1月　特定非営利活動法人として、愛知県より認証を受ける
4月　北海道有珠山にて災害救援活動、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄでの情報発信
9月　東海豪雨災害で災害救援活動、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄでの情報発信

２００１年
4月　安城市・知立市・刈谷市IT講習会
（一般・障がい・外国人対応開始）
6月　安城市・愛知県総合防災訓練　参加（矢作川河川敷）
9月　愛知県・新城市総合防災訓練　参加

２００２年
2月　静岡県災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ立ち上げ訓練　参加
4月　市民防災ﾌｫｰﾗﾑ2002開催（碧海５市対象）
日本財団助成事業
「外国人のための情報支援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」開始
5月　第１回　親子ふれあいﾈｯﾄﾜｰｸ　ｷｬﾝﾌﾟ開催
6月　愛知県・一宮市総合防災訓練参加
7月　大垣荒崎地区水害災害救援活動、ﾈｯﾄでの情報発信実施
9月　蒲郡市・愛知県・名古屋市総合防災訓練　参加
11月　安城市東栄町今本町防災訓練
北部小学校避難所体験　開催

２００３年
3月　あんじょう国際交流祭　「Anjo International Festival」開催
4月　市民防災ﾌｫｰﾗﾑ2003開催
日本財団助成事業外国籍住民防災講座 開始
7月　九州豪雨・宮城県北部地震に伴う情報発信実施
8月　愛知県多文化共生ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ「医療通訳ｽﾀｯﾌ要請講座」開始
愛知県・刈谷市総合防災訓練・名古屋市総合防災訓練参加
9月　十勝沖地震に伴う情報発信実施
10月　刈谷市民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動支援ｾﾝﾀｰ　運営開始

２００４年
1月　「安否確認システム」を発表
4月　「いっつもトーク」を発表
6月　経済産業省 市民活動活性化モデル事業
「災害に強い多文化共生ｺﾐｭﾆﾃｨ《安心・安全・安城》ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」開始
7月　新潟豪雨災害（新潟県三条市・中之島町・見附市）救援活動
8月　「安城地域ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ」運営開始
愛知県・豊橋市総合防災訓練 参加（豊橋市三河港）
9月　香川県高松市高潮災害救援活動
11月　あいち中越支援ﾈｯﾄｰﾜｰｸを組織、中越地震関連支援を開始

２００５年
1月　安城市「安城市民活動ｾﾝﾀｰ」運営開始
3月　経済産業省市民活動活性化ﾓﾃﾞﾙ事業支援、
電話通訳ｾﾝﾀｰ構築
4月　「愛・地球博」警備部署外国人通訳ｾﾝﾀｰ運営業務開始
8月　安城市・愛知県総合防災訓練（安城市内5箇所）参加
9月　内閣府「防災功労者防災担当大臣表彰」受賞
11月　内閣府「地域情報ｼｽﾃﾑによる安全、安心ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」開始
防災科研「災害情報ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成に関する調査事業」
12月　行政通訳養成講座 開講

２００６年
4月　刈谷市いっつもﾄｰｸ（行政通訳）ｻｰﾋﾞｽ開始
7月　経済産業省「若者と中小企業のﾈｯﾄﾜｰｸ構築」事業開始
8月　愛知県「あいち防災ｶﾚｯｼﾞ地域講座」
12月　安城市自主防災支援事業

２００７年
3月　愛知県自主防災組織ﾘｰﾀﾞｰ研修
4月　愛知県青年の家　運営開始
安城市安全安心ﾒｰﾙ配信
6月　経済産業省
「平成19年度若者と中小企業とのﾈｯﾄﾜｰｸ構築事業」
株式会社ﾃﾞﾝｿｰ　「できるｴｺDECOｽｸｰﾙ」企画・運営
7月　愛知県河川情報伝達実証実験
9月　株式会社ﾃﾞﾝｿｰ「ﾘﾕｰｽﾊﾟｿｺﾝ寄贈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ団体交流会」

２００８年
2月　愛知県知事認定
「平成19年度ｺﾐｭﾆﾃｨﾋﾞｼﾞﾈｽ優良ﾓﾃﾞﾙ事業者」
3月　愛知県自主防災組織ﾘｰﾀﾞｰ研修　開催
6月　経済産業省
「平成20年度若者と中小企業のﾈｯﾄﾜｰｸ構築事業」
岩手・宮城内陸地震救援活動
8月　岡崎市８月末豪雨災害救援活動
9月　独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「平成20年度災害NPOとのWINDS実験業務」
独立行政法人防災科学技術研究所「島田市・安城市における災害ﾘｽｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに関する実証実験」支援業務
11月　厚労省
「地域連携型障害者災害救援ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの策定に関する調査研究
愛・地球博ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ
「災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ体験におけるﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ運営」業務

２００９年
2月　安城市職員NPO研修
3月　三重県みえ防災ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修
4月　大府市民活動ｾﾝﾀｰ・豊橋市民ｾﾝﾀｰ市民活動ﾌﾟﾗｻﾞ運営開始
5月　独立行政法人宇宙航空研究開発機構
「平成21年度災害NPOとのWINDS実験業務」委託
8月　独立行政法人防災科学技術研究所
「愛知県における自主防災活動高度化ﾓﾃﾞﾙ事業」支援業務
8月　トヨタ自動車「災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ体験ｲﾍﾞﾝﾄ研修」協力
9月　「愛フェス２００９」開催

特定非営利活動法人　愛知ネットのあゆみ

２０１０年
3月　独立行政法人宇宙航空開発機構
「平成22年度災害NPOとのWINDS実験業務」
大府市緊急雇用事業受託
5月　豊田市災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成講座
7月　防災・緊急情報ｼｽﾃﾑ開発事業
9月　「愛フェス２０１０」開催
10月　愛知県における実証実験支援業務

２０１１年
3月　東日本大震災 救援活動開始
大府市緊急雇用事業開始
4月　「豊橋市青少年センター」運営開始
6月　愛知県より委託「愛知県被災者支援センター」運営開始
10月　「愛フェス２０１１」開催

２０１２年
4月　東日本大震災 救援活動継続
碧南市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｻﾎﾟｰﾄﾌﾟﾗｻﾞ　運営開始
大府市「防災ｺﾐｭﾆﾃｨ支援事業」緊急雇用事業
愛知県被災者支援センター　業務継続
7月　JAXA
「平成24年度災害NPOとのWINDS災害通信実験業務」
9月　「愛フェス２０１２」開催
11月　団体名称「特定非営利活動法人愛知ネット」と変更

２０１３年
通年　愛知県内外避難所運営・防災リーダー研修開催
2月　東日本復興フォーラム開催
3月　とよた防災フェスタ
4月　東日本大震災 救援活動継続
愛知県被災者支援センター　業務継続
7月　JAXA
「平成25年度災害NPOとのWINDS災害通信実験業務」
9月　「愛フェス２０１３」開催
11月　岩手県盛町盛青年商工会会長表彰受賞
岩手県住田町表彰受賞

２０１４年
３月　とよた防災フェスタ
４月　東日本大震災救援活動継続
愛知県被災者支援センター業務継続
６月　愛知ネット設立１５周年記念事業
「フレンドシップ防災デー」開催
JAXA
「平成26年度災害NPOとのWINDS災害通信実験」
業務実施
９月　「愛フェス２０１４」開催

２０１５年
4月　東日本大震災救援活動継続
愛知県被災者支援センター業務継続
愛知県美浜少年自然の家運営開始
５月　とよた防災フェスタ　実施
西尾市　西尾中学校区における防災事業　開始
刈谷市　刈谷市桜区・重原区合同避難所開設訓練開始
6月　碧南市「まちづくりの担い手育成講座」実施
知立市　自主防災会活動サポート委託業務

9月　「愛フェス２０１５」開催
10月　「企業における防災事業」アイシン精機株式会社
愛知県　平成27年度広域ボランティア支援本部訓練
12月　稲沢市　いなざわ地域防災リーダー養成講座
豊橋市　避難所運営ゲーム「HUG」実施

２０１６年
通年　西尾市小学校避難所運営マニュアル作成
4月　東日本大震災復興支援活動継続
愛知県被災者支援センター業務継続
熊本地震救援活動開始
7月　豊田市自主防災リーダー養成講座
知立市自主防災サポート委託業務
豊橋市市民大学トラム
9月　「愛フェス２０１６」開催
10月　稲沢市地域防災リーダー養成講座業務委託
11月　平成28年度刈谷市総合防災訓練第2会場委託運営
12月　認定特定非営利活動法人として認定を受ける

２０１７年
４月　東日本大震災復興支援活動継続
愛知県被災者支援センター業務継続
５月　知立市自主防災活動サポート委託業務
６月　刈谷市防災リーダー養成講座
７月　九州北部豪雨災害救援活動開始
豊田市防災リーダー養成講座
９月　「愛フェス２０１７」開催
10月　とよた防災フェスタ　中日サバイバルキャンプ参加
１月　とよた消防フェスタ参加
２月　みよし市防災リーダー養成講座